

平成25年4月1日発行 日本化学会「化学と工業」広告小委員会制作

別冊 INVITATION

大学院入試案内



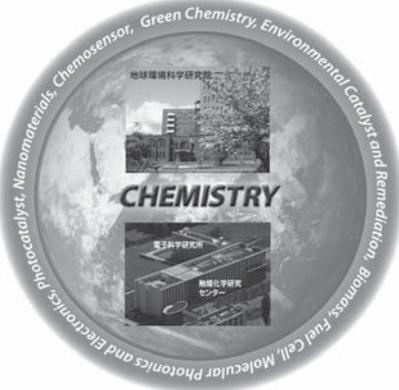
日本化学会

<http://www.chemistry.or.jp>

目次

大学院名称	ホームページ	頁
北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻	http://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/index.html	1
北海道大学大学院生命科学院	http://www.lfsci.hokudai.ac.jp/index.html	2
北海道大学大学院総合化学院総合化学専攻	http://www.cse.hokudai.ac.jp/	3
東北大学大学院生命科学研究科	http://www.lifesci.tohoku.ac.jp/	4
東北大学大学院理学研究科化学専攻	http://www.chem.tohoku.ac.jp/	5
群馬大学大学院理工学府理工学専攻物質・生命理工学教育プログラム	http://www.st.gunma-u.ac.jp/	6
筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻	http://www.pas.tsukuba.ac.jp/	7
城西大学大学院理学研究科物質科学専攻	http://www.josai.ac.jp/kagaku/bushitsu/	8
千葉大学大学院医学薬学府	http://www.p.chiba-u.ac.jp/	9
お茶の水女子大学大学院理学専攻	http://www.dc.ocha.ac.jp/	10
慶應義塾大学大学院薬学研究科	http://www.pha.keio.ac.jp/	11
首都大学東京大学院理工学研究科分子物質化学専攻	http://www.se.tmu.ac.jp/chem/	12
電気通信大学大学院情報理工学研究科先進理工学専攻	http://www.uec.ac.jp/department/ie_graduate/s/	13
東京医科歯科大学大学院(生体材料工学研究所)	http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/index.html	14
東京工業大学大学院総合理工学研究科物質電子化学専攻	http://www.echem.titech.ac.jp/index.html	15
東京工業大学大学院生命理工学研究科	http://www.bio.titech.ac.jp/out/out_others/examtest-info.html	16,17
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻	http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/	18
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻	http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/	19
東京大学大学院新領域創成科学研究科環境システム学専攻	http://envsys.k.u-tokyo.ac.jp/	20
東京大学大学院薬学系研究科(薬科学専攻・薬学専攻)	http://www.f.u-tokyo.ac.jp/	21
東京大学大学院理学系研究科化学専攻	http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/	22
東京薬科大学大学院薬学研究科	http://www.ps.toyaku.ac.jp/graduate/index.html	23
東京理科大学大学院総合化学研究科	http://www.tus.ac.jp/fac_grad/grad/sk/	24
早稲田大学大学院先進理工学研究科化学・生命化学専攻	http://www.chem.waseda.ac.jp/	25
早稲田大学理工学術院先進理工学研究科	http://www.sci.waseda.ac.jp/visitor/applicants/index06.html	26
神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻	http://kait.jp/ug_gr/	27
神奈川大学大学院理学研究科化学専攻	http://www.kanagawa-u.ac.jp/education/graduateschool/sciences/aim/	28
東京工芸大学大学院工学研究科工業化学専攻	http://www.t-kougei.ac.jp/graduate/engineering/chem/	29
横浜国立大学大学院工学府機能発現工学専攻先端物質化学コース	http://gakufu.eng.ynu.ac.jp/exam/dep/functionalrevelation/index.html	30
横浜市立大学大学院(理学領域)	http://www.yokohama-cu.ac.jp/	31
山梨大学大学院グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	http://green.yamanashi.ac.jp/	32
信州大学大学院理工学系研究科物質基礎科学専攻(化学)	http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/master/	33
信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻	http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/department/chem/index.html	34
新潟大学大学院自然科学研究科	http://www.gs.niigata-u.ac.jp/	35
長岡技術科学大学大学院工学研究科材料開発工学専攻	http://mst.nagaokaut.ac.jp/	36
富山大学大学院理工学教育部(理学領域)	http://www.sci.u-toyama.ac.jp/daigakuin/index.html	37
北陸先端科学技術大学院大学	http://www.jaist.ac.jp/gakusei/index.html	38
静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府	http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.html	39
豊橋技術科学大学大学院工学研究科環境・生命工学専攻	http://ens.tut.ac.jp/	40
総合研究大学院大学物理科学研究科構造分子科学・機能分子科学専攻	http://www.ims.ac.jp/indexj.html	41
名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻応用化学分野	http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/	42
岐阜大学大学院工学研究科応用化学専攻	http://www.gifu-u.ac.jp/eng/	43
三重大学大学院生物資源学研究科	http://www.bio.mie-u.ac.jp/	44
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科生体分子工学専攻	http://www.bme.kit.ac.jp/	45
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻	http://www.biobased.kit.ac.jp/	46
京都大学大学院工学研究科化学系6専攻	http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja	47
京都大学大学院人間・環境学研究科相関環境学専攻化学系	http://www.h.kyoto-u.ac.jp/member_web/third/nyushi/index.html	48
京都大学大学院地球環境学舎地球環境学専攻・環境マネジメント専攻	http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/cyp/modules/contents/index.php/shokai/faculty_staff/index.html	49
大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻	http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/index.html	50
大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻	http://www.c.s.osakafu-u.ac.jp/	51
奈良先端科学技術大学院大学	http://mswebs.naist.jp/	52
関西学院大学大学院理工学研究科化学専攻	http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/d_chem/index.html	53
神戸大学大学院理学研究科化学専攻	http://www.chem.sci.kobe-u.ac.jp/index.html	54
徳島大学大学院先端技術科学教育部・総合科学教育部	http://www.tokushima-u.ac.jp/	55
愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻応用化学コース	http://www.ehime-u.ac.jp/~achem/index.html	56
広島大学大学院理学研究科化学専攻	http://home.hiroshima-u.ac.jp/chemsci/	57
九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群(応用化学)	http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~appchem/	58
九州大学大学院理学府化学専攻	http://www.scc.kyushu-u.ac.jp	59
長崎大学大学院工学研究科総合工学専攻・グリーンシステム創成科学専攻	http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/index.html	60
熊本大学大学院自然科学研究科	http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/	61
沖縄科学技術大学院大学(OIST)	http://www.oist.jp/	62

北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） ■博士課程（大学院修士課程修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■特別推薦入試（修士課程4月入学）：平成25年4月22日～5月13日 ■秋季入試（修士・博士課程4月・10月入学）：平成25年7月1日～12日 ■秋季推薦入試（修士課程4月入学）：平成25年10月1日～11日 ■春季入試（修士・博士課程4月入学）：平成26年1月7日～17日 入試により対象者が異なります。詳しくは専攻ホームページをご覧ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【秋季入試（平成25年8月26日、27日）・春季入試（平成26年2月27日、28日）】（札幌会場） 1) 基礎化学選抜：英語と専門科目（物理化学と有機化学）の筆記試験および面接によって判定します。2) 自己推薦選抜：英語の筆記試験およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。3) 併願：基礎化学選抜と自己推薦選抜をともに受験することが可能です。 【特別推薦入試（平成25年5月27日）・秋季推薦入試（平成25年10月28日）】（札幌会場・東京会場） 学業成績、推薦書、およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>近年、様々な環境問題が顕在化しています。全ての自然現象の根源には化学反応が関係していますので、環境問題の解明や解決には化学的な考え方や化学を基盤とした研究が不可欠です。北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻では環境問題を化学の側面からとらえ、環境に関わる物質の分布や作用を化学的観点から調べるとともに、環境浄化や環境保全のための新たな手法に関する最先端の教育・研究を行っています。</p> <p>本専攻は、生体物質科学コース、ナノ環境材料コース、光電子科学コース、環境触媒化学コースからなっており、入学後はいずれかのコースに所属します。生体物質科学コースでは、生体が作り出す物質などの化学的特性や機能を調べるとともに、生体システムを利用・模倣した環境浄化・修復法および生体関連物質の高感度モニタリングシステムの開発に関する研究を行っています。ナノ環境材料コースでは、環境物質の環境での動態とその影響を調べる新規手法およびナノテクノロジーを利用した新規機能材料の開発に関する研究を行っています。光電子科学コースでは、有機分子や分子集合体に基づく光材料や電子材料の構築と物性解明および機能開拓を通じて、環境問題の解決への応用が可能なデバイスなどの開発を目指した研究を行っています。環境触媒化学コースでは、地球環境修復のための新規な表面機能の創製とその解明、表面機能を利用した環境修復・保全のための触媒、および新エネルギーシステムについて研究しています。</p> <p>入学後は授業やセミナーなどで環境問題に関わる化学の知識を深めるとともに、指導教員の研究室に所属して、修士論文や博士論文の作成のための研究を行います。また、授業や研究を通じて環境問題の解明と解決のための化学的手法を習得します。さらに、最先端の化学技術を修得するための実習プログラムも用意しています。</p> <p>本専攻では化学を基盤として環境問題の解明や解決に関する教育・研究を行っていますので、化学を専門とする学生諸君の出願を特に歓迎します。また、環境問題は多岐にわたる学際的研究が必要とされますので、これまで化学を専門としてこなかったとしても積極的に受け入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>5月下旬に大阪、東京、札幌で、10月下旬に東京、札幌で、さらに、12月中旬に札幌で開催いたします。詳しくは専攻ホームページをご覧ください。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻 TEL 011-706-2231 E-mail : sfmc_office@ees.hokudai.ac.jp http://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/index.html</p>

北海道大学 大学院生命科学院 生命科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■募集コース：生命融合科学コース、生命システム科学コース、生命医薬科学コース ■募集人員：修士課程（博士前期課程）132名、博士後期課程46名 ※出願資格等については募集要項に詳細な説明があります。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>■一次募集：願書受付／平成25年7月23日から29日 試験日程／平成25年8月26日、27日（予定） ※学生募集要項（6月中旬発表予定）をお取り寄せの上ご確認ください。 ■二次募集：願書受付・試験日程については、ホームページに掲載予定です。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程（博士前期課程） 【一般選抜】：筆記試験（英語、専門科目）・口頭試問の成績及び成績証明書の内容を総合して合格者を決定する。募集コースごとの出題範囲及び解答方法については、ホームページをご覧ください。 【外国人留学生特別選抜】：入学願書・履歴書・最終出身学校等の学業成績証明書・受入教員の推薦書等の出願書類の内容を総合して合格者を決定する。 ■博士後期課程 【一般選抜、社会人特別選抜】： 口頭試問の成績及び出願書類の内容を総合して合格者を決定する。 【外国人留学生特別選抜】：入学願書・履歴書・最終出身学校等の学業成績証明書・受入教員の推薦書等の出願書類の内容を総合して合格者を決定する。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>市街地に隣接した札幌キャンパス</p>  <p>北キャンパス実験棟</p> </div>	<p>生命科学専攻には下記の3履修コースを設定しています。</p> <p>■生命融合科学コース■ http://www.lfsci.hokudai.ac.jp/gakuin/information/index.html 現代の基礎生命科学の発展は、一細胞内の生化学や分子生物学における生体分子の構造や機能の研究だけにとどまらず、多彩な分子の機能や動きをリアルタイムで観測分析する研究や、情報ネットワークとしての研究、さらには生命現象から発想した新規材料の研究など多彩なものです。生命融合科学コースは生命科学に関する深い知識と展開能力を持ち、幅広い分野で活躍できる人材育成を目標としています。</p> <p>■生命システム科学コース■ http://www.lfsci.hokudai.ac.jp/gakuin/system/index.html 本コースは、分子生物学や細胞生物学などの生命体の基礎構造や基本機能の解析に関わる分野、植物・動物生理学や生殖発生生物学といったより高次の生命機能の解析に関わる分野、さらにはそれらの機能の個体レベルでの統合として存在する各種生命現象の共通原理と多様性を理解することを目指しています。本コースでは、そのための考察力と解析機能にすぐれ、高い研究意欲を持つ学生を求めます。</p> <p>■生命医薬科学コース■ http://www.lfsci.hokudai.ac.jp/gakuin/medical/index.html 生命科学・創薬科学の領域で独創性を発揮できる研究者の養成を目指しています。具体的には「創薬」をキーワードに、遺伝子発現やタンパク質プロセッシングの破綻からおこる様々な疾患の発症機構解明、複雑な生命防御システムの理解、タンパク質の構造解析や分子レベルでの構造機能相関、疾患に関与する標的分子の特定やそれらに作用する分子の設計・合成など、幅広い領域で研究・教育を行っています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>各コースで3月から8月にかけて札幌会場・東京会場で入試説明会が予定されています。日程については、ホームページに掲載予定です。</p>
<p>■問合先</p>	<p>■北海道大学 理学・生命科学事務部事務課 大学院教育担当 〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 Tel：(011) 706-3675 E-mail：daigakuinkyou@mail.sci.hokudai.ac.jp ■北海道大学大学院生命科学院 ホームページ http://www.lfsci.hokudai.ac.jp/index.html</p>

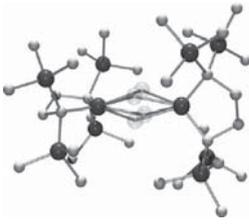
北海道大学大学院総合化学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度4月入学・平成25年度10月入学 北海道大学大学院総合化学院総合化学専攻大学院 ○修士課程（一般選抜、外国人留学生入試） ○博士後期課程（一般選抜、社会人入試、外国人留学生入試） ※最新情報・詳細はホームページを参照してください。 http://www.cse.hokudai.ac.jp/contents/exam.html</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成25年7月下旬（予定） ※詳細は募集要項（5月上旬より配付開始予定）およびホームページで確認して下さい。 ※平成26年度4月入学希望者を対象に、第2次募集を行う場合があります。 （第2次募集を行う場合の出願期間は1月下旬を予定） ※本学院ではTOEFLまたはTOEICのスコア提出を義務付けています。 出願予定者は事前にこれらの試験を受験し、事前にスコアシートを取得しておいて下さい。（詳細はホームページ・募集要項をご覧ください。）</p>
<p>■試験日および試験内容</p>	<p>○修士課程 試験日：平成25年8月22日(木)・23日(金) 試験科目：筆答試験および口頭試問 ○博士後期課程 試験日：平成25年8月22日(木)・23日(金) 試験科目：口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>HOKKAIDO UNIVERSITY</p> </div> 	<p>■国立大学唯一の理工融合で実施する化学に特化した大学院教育：本専攻は、北海道大学大学院理学院化学専攻ならびに大学院工学研究科化学系3専攻（有機プロセス工学専攻、生物機能高分子専攻、物質化学専攻）の改組・再編によって平成22年度4月に創設されました。同年にノーベル化学賞受賞に輝いた鈴木章名誉教授は、理学院化学専攻で学位を取得され、工学研究科で永年にわたり教育・研究に従事された偉大な先輩です。本専攻においては、大学院理学研究院、大学院工学研究院、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒化学研究センターに所属する理・工の化学系・生物化学系教員が密接に連携して教育研究にあたるとともに、(独)物質・材料研究機構、(独)産業技術総合研究所、(独)理化学研究所、国立循環器病研究センターに所属する研究者が連携講座教員として参画し、多角的な教育により横断的な知識の獲得をさせ、化学に求められる様々な社会的な要請に対応できる能力の育成を図っています。</p> <p>■基礎学理から生産プロセス・材料物性解析まで系統的カリキュラム：本専攻では、分子化学コース、物質化学コース、生物化学コースの3つの履修区分を設け、専門講義科目はもちろんのこと、理工系大学院専門基礎科目等英語による講義を含め豊富な授業科目を提供し、化学の諸領域における研究成果を理学系・工学系の双方の立場から俯瞰した体系的な教育を行います。化学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身につけ、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力、実務対応能力を持つ人材、並びに基礎研究および応用の研究に必要な深い知識と能力を有し、独創的な研究を行うことができる人材を育成します。</p> <p>■国際的に通用する研究能力の育成：本専攻では、「国際先端物質科学大学院（AGS）プログラム」により多くの優秀な留学生を受け入れており、日本人学生が国際感覚を磨く環境が整っています。海外短期留学・海外インターンシップの支援、外国人研究者を招聘しての集中講義や学生主体の英語によるサマースクール企画を通じて、世界に通用する次世代フロントランナーの育成を積極的に推進します。</p> <p>■優れた業績への顕彰：本専攻では、優れた業績をあげた修士・博士後期課程学生（社会人を含む）に対する短縮修了システムが整備されています。また、特に優れた内容の博士学位論文は、Springer社よりoutstanding thesesとして出版されます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成25年5～6月頃に札幌および東京で実施予定 決定次第、下記URLに掲載します。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学 総合化学院事務室 教務担当 電話：011-706-7246・7247 FAX：011-706-7298 http://www.cse.hokudai.ac.jp/</p>

東北大学大学院生命科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>◆平成25・26年度入学者 大学院入試◆ 【博士課程前期2年の課程】 自己推薦 Ⅰ期・Ⅱ期（一般選抜、社会人・帰国学生及び外国人留学生特別選抜） 【博士課程後期3年の課程】 一般選抜、社会人・外国人留学生特別選抜</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【博士課程前期2年の課程】 【自己推薦】平成25年 6月10日(月)～6月21日(金) 【Ⅰ期試験】平成25年 6月17日(月)～7月22日(月) (25年10月、26年4月入学) 【Ⅱ期試験】平成25年10月15日(火)～11月8日(金) (26年4月入学) ※詳細は学生募集要項(4月発行予定)をお取り寄せのうえ、ご確認願います。 【博士課程後期3年の課程】 【平成25年10月入学】平成25年6月10日(月)～6月21日(金) 【平成26年4月入学】平成26年1月6日(月)～1月17日(金) ※詳細は学生募集要項(H25年10月入学:4月発行予定、H26年4月入学:11月発行予定) をお取り寄せのうえ、ご確認願います。 東北大学大学院生命科学研究科HP (http://www.lifesci.tohoku.ac.jp)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程 【自己推薦】7月6日(土) これまでの学業成績・出願書類等の審査、筆記 [英語 (TOEFL-ITP)] 【Ⅰ期試験】8月2日(金) 出願書類審査のほかに 一般選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)・専門科目 (選択)] 社会人特別選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)]、口頭試問 帰国学生及び外国人留学生特別選抜…小論文、口頭試問 【Ⅱ期試験】11月18日(月)、19日(火) 出願書類審査のほかに 一般選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)]、口頭試問 社会人特別選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)]、口頭試問 帰国学生及び外国人留学生特別選抜…小論文、口頭試問 ◆博士課程後期3年の課程： H25年10月入学：平成25年7月8日(月) 面接試験 (外国語能力を含む) H26年4月入学：平成26年2月17日(月) 面接試験 (外国語能力を含む)</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>◆生命科学研究科は、「高次生命システムの解明と維持・保全」を理念・目標とし、平成13年に設立されました。生命現象の分子レベルでの理解から、生物の個体、集団レベルにおける問題解決まで幅広く取り組みます。化学系学部で学んだ多くの先輩が現在活躍しています。医療や環境問題など社会との関連を意識した研究も盛んです。 ◆平成25年4月入学から、新たに『自己推薦入試』を導入しました。本推薦入試では、「他の大学等を卒業された学生」を本研究科に積極的に受け入れ、学生の流動性を促進することにより、大学院教育の活性化を図ることを目指しています。 ◆8月に行なわれる第Ⅰ期入学試験は外国語 (TOEFL-ITP) と専門科目1科目 (たとえば有機化学)で受験できます。また、入学直後に共通科目を開講し、化学など他分野からの進学者も早期に生命科学を概観できるようカリキュラムが工夫されています。 ◆国内外の第一線研究者による生命科学特別講義や、学生の興味によって選択できる多彩な講義科目が用意されています。なお、化学に立脚した科目 (生命構造化学特論など)も開講されています。</p>
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試説明会： 【仙台会場】 平成25年4月20日(土) 10時00分～ 東北大学片平キャンパス生命科学プロジェクト総合研究棟1F ※オープンラボ (各研究室での研究内容紹介) 平成25年4月20日(土) 14時00分～18時00分、平成25年4月21日(日) 10時00分～17時00分 【東京会場】 平成25年5月11日(土) 13時30分～ フクラシア東京ステーション 会議室L 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5階 ※東京駅・大手町駅B6出口直結、東京駅日本橋口徒歩1分 ※詳細は東北大学生命科学研究科HP (http://www.lifesci.tohoku.ac.jp) をご覧下さい。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学生命科学研究科教務係 電話：022-217-5706 E-mail：lif-kyom@bureau.tohoku.ac.jp</p>

東北大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>◆平成25・26年度入学 大学院入試◆ 【博士課程前期2年の課程】 一般選抜、自己推薦入試、外国人留学生特別選考 【博士課程後期3年の課程】 一般選抜、社会人特別選考、外国人留学生特別選考</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程（修士課程） ・自己推薦入試 ・一般選抜 } 平成25年7月中旬（平成26年4月入学） ◆その他 ①平成25年7月中旬（平成25年10月入学） ②平成26年1月初旬（平成26年4月入学） <対象> ・博士課程前期2年の課程…外国人特別選考（※詳細は化学専攻事務室まで） ・博士課程後期3年の課程…一般選抜、社会人特別選考、外国人特別選考 ＊日程などの詳細情報はこちら→化学教室HP（http://www.chem.tohoku.ac.jp） ＊募集要項はこちら→大学院理学研究科HP（http://www.sci.tohoku.ac.jp）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程 【自己推薦入試】 外部受験生向けの面接重視の試験 【一般選抜】 筆記試験（英語・化学）および面接試験 【外国人特別選考】 研究概要の口頭発表および面接試験 ◆博士課程後期3年の課程 研究概要の口頭発表および面接試験</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>—2011年、化学教室は開講100周年を迎えました—</p> <p>○化学研究の世界的な一大拠点 化学科・化学専攻は5つの基幹講座（無機・分析化学講座、有機化学講座、物理化学講座、境界領域化学講座、先端理化学講座）に組織される17の研究室と学内の多元物質科学研究科・金属材料研究所・原子分子材料高等研究機構・高等教育開発推進センターに所属する14の研究室、そして学外の連携・委嘱分野を併せ全33研究室から構成されています。協力講座を含め約90名もの教員が指導にあたります。その研究内容は、生物化学、天然物化学、有機合成化学、有機金属化学、金属錯体化学、超分子化学、ナノ・バイオ分析化学、レーザー分光化学、計算化学などを含み、化学の主要分野を網羅しています。これらの研究室が、学部付属の巨大分子解析センターなどの協力を得て化学研究の世界的な一大拠点を形成しています。</p> <p>○特徴ある研究教育プログラム、グローバル化へ向けて 当専攻では21世紀COEプログラム「大分子複雑系未踏化学」（2002年～2006年）、さらにそれを引き継いだグローバルCOEプログラム「分子系高次構造体化学国際研究拠点」（2007年～2011年）によって、工学、薬学・農学研究科などとも連携が推進され、我が国最大規模のオール化学分野の協力による大学院教育・研究体制が確立されつつあります。また、大学のグローバル化に向けた取組も進んでいます。</p> <p>大学の世界展開力強化事業（日中韓のトライアングル交流事業・キャンパスアジアプログラム）「持続的社会に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成」が2011年末に採択され、東北大学のオール化学分野と日中韓五大学との間の教育・研究相互交流が進められています。</p> <p>化学専攻はますます国際化を進め、世界的に活躍する人材を輩出する世界トップの化学研究拠点としてさらなる飛躍を目指します。</p> <p>○研究環境 学内の研究室は、仙台市中心部に近い青葉山キャンパスと片平キャンパスにあります。社の都・仙台の地で、最先端の設備を使い、充実した研究生活を送ることができます。近年では、卒業後の就職に向け、就職説明会や卒業生による会社説明会の開催など就職支援にも力を入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>◆理学研究科合同入試説明会：平成25年5月11日（土）開催予定【東京】 会場：東北大学東京分室（サピアタワー10階、JR東京駅直結） ◆博士課程前期2年の課程自己推薦入試説明会：平成25年6月上旬開催予定【仙台】 会場：東北大学大学院理学研究科 化学棟（研究室見学含む） ※詳細は化学教室HP（http://www.chem.tohoku.ac.jp）をご覧ください。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号 東北大学大学院理学研究科 化学専攻事務室 TEL：022-795-3492/E-mail：chem-jm@bureau.tohoku.ac.jp</p>

群馬大学大学院理工学府 理工学専攻 物質・生命理工学教育プログラム

<p>■募集学生</p>	<p>群馬大学大学院理工学府理工学専攻 平成26年度 大学院博士前期課程（修士課程）・博士後期課程（博士課程）学生募集 博士前期課程（理工学専攻全体として）募集定員300名 （物質・生命理工学教育プログラムとして96名程度） 博士後期課程（理工学専攻全体として）募集定員39名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成25年7月中旬（予定）</p>
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程 筆記試験（基礎科目および専門科目：有機化学、無機・分析化学、物理化学、生物学・生物化学の4分野から出題）、英語および面接。英語については、事前にTOEIC、TOEFL等を受験し、出願時にスコアシートを提出。 ・博士後期課程 口述試験および面接 <p>*いずれも、平成25年8月下旬に実施予定</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>平成25年4月、群馬大学大学院工学研究科は、「群馬大学大学院理工学府」として改組され、理学と工学を融合した新たな体系に基づく教育の実施を目指す組織として出発致しました。「物質・生命理工学教育プログラム」は、従来の工学研究科応用化学・生物化学専攻の理念を引き継ぎながら、より理学を重視した教育・研究を行っている部門です。</p> <p>現在、化学分野では、従来から行われてきた分子レベルの科学的研究および新材料物質の開発に加え、最近では生命現象の解明や新薬の開発などの生物に関連した研究が盛んに行われています。一方、生物分野の先端的な研究では、分子レベルでの構造・機能解明が重要であり、化学を基盤とする生物科学の新しい展開が進められてきています。つまり、化学と生物の境界はなくなっており、これらを融合した領域は今後大きく発展することが期待されます。本教育プログラムでは、この融合領域をターゲットの一つとし、物質科学・生物科学に関する基礎から応用までの知識と最先端の技術を修得するための教育を行っています。物質科学、生物科学、計測科学に関する専門科目は言うまでもなく、理学系分野間の融合のための基礎的科目や高度実践スキルを習得するための実践実習科目などが開講されています。</p> <p>研究活動においては、研究組織である理工学研究院分子科学部門の研究室に配属されて、修士論文や博士論文の作成に向けて実践的かつ最先端の研究を行うこととなります。分子科学部門には約30の研究室が所属しています。これだけ多くの研究室が存在する化学・生物系の専攻（組織）は、全国でもあまり例がありません。また、各研究室では物質の構成原理と物性の解明、生活を豊かにする新物質・新材料の創製・開発、医学・薬学への応用を目指した生体メカニズムの解明などの多彩な研究を推進しています。様々な研究テーマの中から、皆さんの興味にもっとも合致した研究テーマを見つけることができるでしょう。さらに、年々、新たな装置や設備が導入され、研究環境はますます充実してきていますので、皆さんにとって有意義で、実り多い研究生活が送れるでしょう。</p> <p>本教育プログラムでは、以上の教育・研究活動を通して、化学に関する知識・理論を基盤として、幅広い理工学分野において、国際社会で活躍できる技術者・研究者を育てています。化学や生物化学分野に広く関心があり、従来の学問分野の壁を越えた自由な発想で新しい領域を探求し開拓していくことに興味と意欲のある学生諸君の出願を歓迎します。</p>
	
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成25年5月下旬（予定）群馬大学大学院理工学府 総合研究棟（予定）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学理工学部 学務係大学院担当 TEL 0277-30-1039 FAX 0277-30-1061 E-mail : t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp http://www.st.gunma-u.ac.jp/</p>



筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻博士前期課程および博士後期課程（およびナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻ナノサイエンス分野 博士後期課程のみ）平成26年度大学院学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期） 平成25年6月13日(木)～14日(金) 一般入学試験（8月期） 平成25年7月17日(水)～19日(金) 社会人入学試験（8月期） 平成25年7月17日(水)～19日(金) ■博士後期課程 一般入学試験（8月期） 平成25年7月17日(水)～19日(金) 社会人入学試験（8月期） 平成25年7月17日(水)～19日(金)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期）平成25年7月4日(木) 筆記試験（小論文）：100点・口述試験（面接）：100点 一般入学試験（8月期）平成25年8月20日(火)～21日(水) 外国語（英語）：200点・専門科目（化学）：500点・口述試験（個別面接）：250点 社会人入学試験（8月期）平成25年8月20日(火)～21日(水) 外国語（英語）：200点・専門科目（化学）：500点・口述試験（個別面接）：250点 第2次学生募集（2月期）を行う場合は、平成25年11月下旬に募集要項を発表します。 ■博士後期課程 一般入学試験（8月期） 平成25年8月22日(木) 口述試験（個別面接）：200点 社会人入学試験（8月期）平成25年8月22日(木) 口述試験（個別面接）：200点 第2次学生募集（2月期）を行う場合は、平成25年11月下旬に募集要項を発表します。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>化学専攻では、伝統的な物理化学、無機・分析化学、有機化学などの理学の基礎を構成する分野のほか、物理学、生物学、地球科学、薬学、工学などとの境界領域化学の研究も盛んに行っています。また、数多くの研究機関を有するつくば地区の利点を生かし、独立行政法人産業技術総合研究所との連携大学院制度を活用した新領域の研究も活発に行っています。また、独立行政法人物質・材料研究機構との連係大学院制度により、材料化学分野の研究も推進しています。</p> <p>カリキュラムは、区分制博士課程の特徴を活かしてそれぞれの特性に合わせ、実施と評価を数段階に渡って懇切丁寧に行う、きめ細かな授業編成となっています。化学専攻では専門基礎科目と専門科目で化学の基礎と専門を幅広く修得し、優れた教員の指導のもとに高度で最先端の研究を行います。これにより、前期課程では修士号を、後期課程では博士号を、無理なく取得する体制ができています。また、本研究科のナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（後期課程のみ）ナノサイエンス分野でも、化学関連の研究が精力的に行われています。</p> <p>化学専攻の過去の入学試験問題を配布しています。化学専攻事務室（TEL 029-853-6505）にお問い合わせください。</p> <p>また、本研究科では博士後期課程において、「早期修了プログラム」を実施しています。このプログラムは「一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得するプログラム」です。</p> <p>下記にて説明会を開催しますので、奮ってご参加ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>■学生募集説明会（オープンキャンパス） 平成25年5月11日(土) 筑波大学第一エリア ■社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」説明会 毎年、6月中旬と11月上旬に、つくばキャンパス（春日地区）と東京キャンパス（秋葉原地区）で、説明会を開催しています。平成25年度開催の説明会日程は追って発表しますので、下記までお問い合わせください。 早期修了プログラムに関する問合せ先：学務部教育企画課教務担当（TEL 029-853-2226）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学学務部教育企画課大学院入試担当 TEL 029-853-2230、2231 あるいは 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻長 市川淳士 TEL 029-853-4237 junji@chem.tsukuba.ac.jp</p>

城西大学大学院理学研究科物質科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度修士課程学生募集：募集人員12名</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学を卒業または平成26年3月卒業見込みの者 ●外国において学校教育16年の課程を修了または平成26年3月修了見込みの者 ●本大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 <p>なお、社会人入試においては大学卒業に加えて2年以上の社会経験が必要です。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一次入試（4月入学）：11月中旬 ●二次入試（4月入学）：2月下旬 ●社会人一次入試（4月入学）：11月中旬 ●社会人二次入試（4月入学）：2月下旬 ●学内推薦一次入試（4月入学）：9月上旬 ●学内推薦二次入試（4月入学）：11月中旬
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一、二次入試 筆記試験・英語：100点、専門科目：120点・面接 (専門科目は物理化学、有機化学、無機化学各2問の計6問中3問を選択解答) 外国人留学生については日本語の読解力・表現力もみます。 ●社会人一、二次入試 面接。なお、出願時に研究計画書の提出が必要です。 ●学内推薦一、二次入試 面接
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>当専攻では他大学からの学生を広く募集すると共に、留学生、社会人も積極的に受入れます。社会人のかたは働きながら大学院を修了できるよう6時限目を開講します。</p> <p>本専攻は建学の精神「学問による人間形成」を基本理念とし、物質科学を基盤として、高度なコンピュータスキルをもつ物質科学技術者・研究者を養成し、産業界・学会に向けて有為の人材を供給すること、また、高度なスキルをもつ中学校・高等学校の教員を養成すること、を教育目的としています。</p> <p>教育・研究分野は、情報科学部門（1研究室）、分子物性光学部門（2研究室）、物質機能部門（2研究室）、分子設計部門（3研究室）の4部門、8研究室で構成され、特に、教育カリキュラムでは全院生がコンピュータに精通することを前提とするため、情報科学部門に置かれる6教科のうち4教科が必修です。</p> <p>学生は授業やセミナーを通して物質科学の知識やスキルを修得すると共に、指導教員の研究室に所属して修士論文研究を行ないます。情報科学部門では量子化学計算に基づいたドラッグデザインを、分子物性光学部門では高温下でのみ存在する高温分子の高分解能分光の研究をしています。物質機能部門では、ナノテクノロジーに関わるナノ構造体の作成、その形成機構や機能の研究、ナノ粒子や1ヶの有機分子からの発光を使った研究、また、極低温下で生成されるファンデルワールス錯体の高分解能分光、魚類の遺伝子解析に基づく生命環境の研究を行なっています。分子設計部門では新エネルギーに関わる色素を用いた有機系太陽電池、新素材に関わる自己組織性、発光性、磁性・電導性などの特異的性質をもつ有機機能材料の研究、開発、アズレン類化合物の合成と薬理作用の研究をしています。</p> <p>本専攻では、企業において活躍できる高度専門職業人や高度なスキルをもつ理科教員の養成を主たる教育目的としていますが、同時に、昨年度から研究の重点をナノテクノロジー、新エネルギー、新素材に置いて環境を整え、新たな研究の展開を目指しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>7月上旬に本学1号館理学部棟で開催します。詳細は下記にお問合せ下さい。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 城西大学理学部事務室大学院理学研究科 TEL 049-271-7728 FAX 049-271-7985 http://www.josai.ac.jp/</p>

千葉大学大学院医学薬学府

<p>■募集学生</p>	<p>千葉大学大学院医学薬学府（薬学領域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程学生募集 平成25年10月入学および平成26年4月入学 ◆博士課程学生募集 平成25年10月入学、平成26年4月入学および平成26年10月入学
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程 現在未定、本年6月に発表します。 ◆博士課程（2回実施） 第1回目 平成25年8月上旬頃（本年6月に発表します。） 第2回目 平成26年1月上旬頃（本年6月に発表します。）
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程：筆記試験および面接試験による選抜（平成25年10月入学にも適用） 試験日：平成25年8月の予定（現在未定、本年6月に発表します。） <ul style="list-style-type: none"> ●筆記試験：400点 英語：200点（150点は当日試験、50点はTOEIC、TOEIC-IP又はTOEFLで換算） 基礎科目：200点 有機化学3問、生物化学3問、物理化学3問、医療薬学1問の計10問から4問選択 ●面接試験：100点（筆記試験の翌日に実施） ◆博士課程：4年博士課程 専門科目（筆答）、外国語、面接 後期3年博士課程 外国語（薬学英语）、面接、専門科目（口述） 試験日：第1回目 平成25年8月下旬（平成25年10月および平成26年4月入学） 第2回目 平成26年1月下旬（平成26年4月および平成26年10月入学） （試験内容等詳細は学生募集要項をご覧ください。）
<p>■インフォメーション</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">医薬系総合研究棟（千葉市亥鼻地区） I期棟（奥）、II期棟（手前）</p>	<p>当医学薬学府（薬学領域）では他大学・他分野からの学生を広く募集しています。本学府（薬学領域）は有機化学系、生物化学系、物理化学系、医療系の薬学を構成する広い研究分野に属する21の研究室（●遺伝子資源応用 ●薬品物理化学 ●分子細胞生物学 ●薬効薬理学 ●高齢者薬剤学 ●分子心血管薬理学 ●生物薬剤学 ●病院薬学 ●臨床教育 ●実務薬学 ●生化学 ●薬物学 ●薬化学 ●薬品合成化学 ●病態分析化学 ●製剤工学 ●微生物薬品化学 ●薬品製造学 ●生体機能性分子 ●分子画像薬品学 ●活性構造化学）および連携大学院2研究室（●環境リスク ●遺伝子創薬学）を有し、薬学に関連する最先端の研究・教育を行っています。この多彩な専門分野の中に自然科学系大学院を志望する皆さんの希望と一致する分野が必ずあります。（研究内容等詳細はそれぞれの研究室のホームページをご覧ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程：4年制薬学部学生はもちろんのこと、理学部、工学部、農学部等で受けた基礎教育を薬学研究へ発展させる意欲のある学生を求めています。そのため筆記試験は英語と基礎分野（有機化学、物理化学、生物化学、医療薬学から選択）とし、専門分野からの出題をなくしました。薬学部6年制学科の4年生は修士課程への出願が可能です。 ◆博士課程：創薬研究に興味のある薬学、理学、工学、農学等の修士課程修了者もしくは修了予定者を求めています。（3年制課程と4年制課程があります。詳細は学生募集要項をご覧ください。）
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成25年6月から7月頃に実施します。詳細は千葉大学薬学部のホームページをご覧ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学薬学部学務係：Tel 043-226-2941 E-mail : kae2979@office.chiba-u.jp 千葉大学薬学部ホームページ：http://www.p.chiba-u.ac.jp</p>

お茶の水女子大学大学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度（平成25年度10月入学生含む）</p> <p>■お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻 化学・生物化学コース 修士（博士前期）課程大学院生募集 （外国人留学生特別選抜を含む）</p> <p>■お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻 化学・生物化学領域 博士後期課程大学院生募集 （外国人留学生特別選抜を含む）</p>
<p>■願書受理期間（予定）</p>	<p>■修士（博士前期）課程 8月入試 平成25年7月16日（火）～18日（木） 2月入試 平成25年12月18日（水）～26日（木）</p> <p>■博士後期課程 9月入試 平成25年7月31日（水）～8月2日（金） 3月入試 平成26年1月14日（火）～17日（金）</p>
<p>■試験日程および科目（予定）</p>	<p>■修士（博士前期）課程 8月入試 平成25年8月22日（木）9：00～（専門科目、英語） 平成25年8月23日（金）10：00～（口頭試問） 2月入試 平成26年2月4日（火）9：00～（専門科目、英語、口頭試問）</p> <p>■博士後期課程 9月入試 平成25年9月5日（木）～6日（金）（口頭試問） 3月入試 平成26年3月4日（火）～6日（木）（口頭試問）</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>お茶の水女子大学 Ochanomizu University</p>  <p>女子大生の袴は、明治の初め お茶の水女子大学の前身、東京女子師範学校のころに起源があり、 大正時代にブームになりました。 いつの時代でも、ハイカラさんは時代の先端を走っていました。</p>  <p>21世紀のハイカラさんは、あなたです。</p>	<p>■研究教育内容 理学専攻化学・生物化学コース（修士課程）および化学・生物化学領域（博士後期課程）では、多岐に渡る物質を構成する分子、生体分子及び分子集合体を対象とし、構造と性質、合成と反応、機能と現象に関して、基礎に重点を置きつつ幅広い角度から教育研究を行っています。本コースおよび領域は11研究室で構成され、物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学分野を基礎とする物質科学、物質創成科学、超分子化学、複雑系科学、材料科学、ならびに生命科学などの諸分野に広がる教育研究を通して、幅広い知識と専門性を備えた研究者の育成を目指しています。</p> <p>■他大学との連携 都心にある地の利を生かし、他大学との連携を積極的に行っています。東京医科歯科大学、学習院大学、北里大学との四大学連携により「学際生命科学」をキーワードとした「化学」の周辺分野まで幅広く学ぶことができます。また、複数大学との単位互換制度により他大学の授業科目を履修することもできます。</p> <p>■研究環境 大型機器などの研究設備は全学共同利用を基本に整備が進められ、化学分野の研究に必要な様々な最新機器を自由に利用できます。実験台には局所排気装置を完備し、実験環境に配慮しています。</p> <p>■留学支援プログラム 理学専攻学生を対象に、留学費用を支援する海外派遣事業を実施しています。研修留学は主として博士前期課程学生対象で、ドイツの協定校で1セメスターの専門科目講義（英語）を受講します（取得単位認定）。この5年間に、59名を派遣しました。大学院生を研究留学に派遣する本学独自の奨学金もあります。</p> <p>■早期修了制度と長期履修制度 成績優秀者には早期修了制度が、また、特別な理由のある学生に対しては事前に申し出ることで、長期にわたる計画的履修を認め授業料を分割する制度があります。</p> <p>■理学部化学科URL http://www.sci.ocha.ac.jp/chemHP/</p> <p>■大学院理学専攻 化学・生物化学コース URL http://www.sci.ocha.ac.jp/chemHP/zenkikatei.htm</p>
<p>■大学院オープンキャンパスの開催</p>	<p>平成25年4月20日（土）に大学構内にて大学院オープンキャンパスを開催します。研究室見学も可能です。（詳細は下記URLに確定次第掲載）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>■お茶の水女子大学事務部教育支援・教務チーム大学院担当 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 電話（03）5978-5822（前期課程）、5821（後期課程） http://www.ocha.ac.jp/</p> <p>■大学院前期・後期課程入学についての問合せ先 E-mail：hp-m-chem@cc.ocha.ac.jp</p>

慶應義塾大学大学院薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度 慶應義塾大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻 前期博士課程（4年制大学卒）学生募集 後期博士課程（修士課程修了者）学生募集 薬学専攻 博士課程（6年制大学卒、修士課程修了者）学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>HP (http://www.pha.keio.ac.jp/g_school/application.html) をご確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>薬科学専攻 前期博士課程（推薦入試）6月29日（土）（詳細はHPをご確認ください） ・小論文、面接（他大学・他学部も推薦入試制度あり） （一般入試）8月1日（木）（詳細はHPをご確認ください） ・筆記試験（英語・専門科目）、面接 後期博士課程（一般入試）8月1日（木）（詳細はHPをご確認ください） 薬学専攻 博士課程（推薦入試）6月29日（土）（詳細はHPをご確認ください） （一般入試）8月1日（木）（詳細はHPをご確認ください）</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>■薬学専攻と薬科学専攻 6年制学部を基礎とする薬学専攻の博士課程においては、医療現場の臨床的な課題について研究し、その結果を医療に応用できる優れた研究能力を有する薬剤師や教育者の養成を主たる目的としています。一方、4年制学部を基礎とする薬科学専攻においては、前期博士課程と後期博士課程を通じて、創薬科学等の薬学領域における研究者や教育者の養成を主たる目的としています。</p> <p>■門戸を広げた大学院 本研究科前期博士課程では薬学はもとより、理工、農学など他学部の学生にも広く門戸を開いています（推薦入試制度あり）。</p> <p>■医学研究科と連携した特徴ある教育 医学研究科と連携して臨床的な研究能力も備えた人材の養成をしています。医学・薬学両研究科は、慶應病院での臨床体験プログラムや医学研究科のラボツアーなどの教育研究における交流により、2つの研究科が連携して創薬研究者を育成する体制をとっています。トランスレーショナルリサーチを指向した高度な医薬科学に対応できる人材の養成を目指します。</p> <p>■薬学独自のPharma Sciences教育 本研究科では創薬、治験、臨床とライフサイエンス全般で活躍する優れた人材の養成を目指しています。薬学専攻博士課程では臨床研究能力を持つ薬剤師の養成、薬科学専攻では創薬、生命科学の幅広い分野での薬科学の教育研究を通して、国民の健康増進に寄与するとともに、創薬産業をリードする国際的にも優れた人材の養成を目指しています。これまでの本研究科の前期博士課程修了者は、製薬企業、CRO、化工系企業のほか、医療行政で活躍しています。また、後期博士課程修了者は製薬企業のほか、大学や国公立の研究所などの研究員、大学病院の薬剤師として活躍しています。</p> <p>■充実した学生支援 薬学研究科では、慶應義塾の充実した奨学金制度により、大学院学生の経済的な支援を行っています。</p> <p>■都心のキャンパス 薬学研究科のある芝共立キャンパスは、東京タワーや増上寺に近く、都心の交通の便が良い場所です。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>6月1日（土）（予定） 慶應義塾大学大学院薬学研究科オープンキャンパス 会場：芝共立キャンパス （詳細はHPをご確認ください）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒105-8512 港区芝公園1-5-30 慶應義塾大学芝共立キャンパス学生課（大学院担当） TEL：03-5400-2498 FAX：03-5400-2633 E-mail：skcdaigakuin@info.keio.ac.jp http://www.pha.keio.ac.jp</p>

公立大学（東京都）首都大学東京 大学院

<p>■募集学生</p>	<p>首都大学東京 大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 平成26年度4月入学および平成25年度10月入学 博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） 募集人数：博士前期課程33名、博士後期課程9名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>○博士前期課程（修士課程） （平成25年度10月入学） 平成25年8月2日（金）～8月8日（木） （平成26年度4月入学） 1回目 平成25年8月2日（金）～8月8日（木）〔夏季試験〕 2回目 平成26年1月14日（火）～1月20日（月）〔冬季試験〕 *出願期間は郵送（消印有効）のみです。直接出願は認めません。社会人、外国人特別学生（留学生）の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。</p> <p>○博士後期課程（博士課程） （平成25年度10月入学） 平成25年8月2日（金）～8月8日（木）（郵送のみ・消印有効） （平成26年度4月入学） 平成26年1月6日（月）～1月10日（金）（郵送・消印有効） 平成26年1月14日（火）に持参可能 *社会人、留学生の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。 *募集要項は6月14日（金）及び10月8日（火）から配布します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○博士前期課程（修士課程） （平成25年度10月入学） 9月3日（火）◎筆記試験（化学・英語）：9月4日（水）◎口述試験 （平成26年度4月入学） 〔夏季試験〕 9月3日（火）◎筆記試験（化学・英語） 9月4日（水）◎口述試験 〔冬季試験〕 2月12日（水）◎筆記試験（化学・英語） 2月13日（木）◎口述試験</p> <p>○博士後期課程（博士課程） （平成25年度10月入学）9月2日（月）◎口述試験のみ （平成26年度4月入学）2月4日（火）◎口述試験のみ</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>理工学研究科の全貌</p>  <p>首都大学東京 TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY</p>	<p>当専攻は都心からほどよい距離にある緑豊かな南大沢キャンパスに位置します。修士課程の定員33名に対して、専任の教授・准教授・助教は33名（平成25年4月現在、非常勤・特任・客員教官は人数に含みません）という真の少人数教育を実践しています。当専攻では他大学、他分野、及び社会人からの学生を広く募集します。</p> <p>【研究分野・研究室】 無機・分析化学、有機化学・生物化学、物理化学など化学分野を均等にカバーしており、幅広い社会ニーズや学生の興味に対応することが可能です。</p> <p>無機化学：錯体合成化学、ナノサイエンス、スピニ化学 環境・地球化学：分析化学、分光化学 宇宙化学：地球外物質中の元素・同位体組成に関する研究 同位体化学：放射化学的手法を用いた機能性材料の解析 有機化学：高性能分子触媒による高効率合成法、新機能π電子系 有機合成化学：新規な高周期典型元素化合物の合成と有機合成への応用 生物化学：染色体機能に関する研究、プロテオーム解析 有機構造生物化学：生体高分子のNMR観測の方法論、蛋白質の高次構造 物性物理化学：分子性超伝導体、分子磁性物質 分子集合系物理化学：両親媒性分子集合体の実験、ソフトマターの理論 反応物理化学：気相反応ダイナミクス、炭素クラスターの科学 理論・計算化学：励起状態理論、相対論的量子化学、化学反応の理論解析</p> <p>【入試情報】 博士前期課程（修士課程）の〔夏季試験〕では、化学専門試験として、例年、無機・分析化学、物理化学、有機化学、生物化学の4分野から出題されており、受験生はその中から選択して解答します（平成25年度は8問中5問）。英語は2問です。〔冬季試験〕も問題数が少ないものの同様の方針で出題されます。 過去の試験問題は当専攻のウェブサイトに掲載されています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成25年度「理工学研究科大学院説明会」6月頃開催予定 また、理工毎月説明会を第一土曜日に開催していますので、理工学研究科のウェブサイトでご確認下さい。http://www.se.tmu.ac.jp/</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 事務室 TEL 042-677-1111（代表）、FAX 042-677-2525、URL http://www.se.tmu.ac.jp/chem/ 専攻長：城丸春夫（042-677-2533）、広報委員：杉浦健一（042-677-2550） 大学院入試委員：野村琴広（042-677-2547）</p>

電気通信大学 大学院

■募集学生	電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 先進理工学専攻 生体機能システムコース 平成25年度大学院博士前期課程学生募集（博士後期課程も募集しています）
■出願期間（予定）	平成25年8月
■試験内容（予定）	8月 筆記試験、面接試験 専門科目：600点、外国語（TOEICまたはTOEFL）：150点 9月 合格発表

■コース紹介

図1 生体機能システムコースの紹介

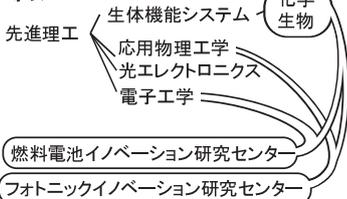
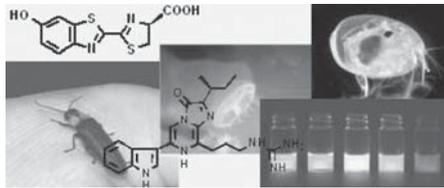


図2 生物発光の化学（平野善研究室）

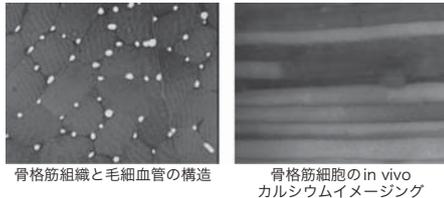


様々な生物発光基質の合成

図3 創薬システム開発（瀧真清研究室）



図4 筋肉細胞の分子動態（狩野豊研究室）



骨格筋組織と毛細血管の構造

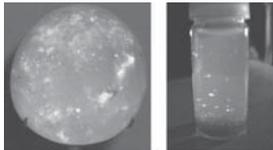
骨格筋細胞の in vivo カルシウムイメージング

図5 ナノ物質の化学（山北佳宏研究室）



分子・イオン・電子の制御とレーザー実験

図6 自己組織化の化学（曾越宣仁研究室）



見る角度により色が変化 コロイド結晶（人工真珠）

本専攻の幅広い研究・教育

電気通信大学には広く理工学の学問・研究をする環境が整っています。本専攻では図1に示すように、一般的な化学分野にとどまらず、**生命、電子工学、光学などと密接に結びついた研究**が行われています。もちろん化学と、IT、情報通信、機械工学が結びついた研究も行われています。また、電気通信大学の特徴として、それぞれの専攻は決して閉じてはいません。学内の研究室間の自由な出入りや様々な講義の受講を通して、**自分の力で新しい工学を作り出す気風**にあふれています。

本学の卒業生の中で、プレイステーションを開発した久夛良木氏やカーボンナノチューブの研究で知られる飯島氏の名前をご存知の方も多いでしょう。最近では、コンピューター将棋の開発メンバーも電気通信大学で研究しており、また本学が製作した人工衛星を打ち上げることも成功しています。これらは、電気通信大学が**世界レベルの研究に取り組んでいる**ことを示しています。

本コースの理念・内容

生体機能システムコースでは、**材料化学と生命科学が融合**した学問領域の研究・教育を行っています(図1)。現在、**有機化学、無機化学、物理化学**を含む化学専門の13人のスタッフが活動し、本専攻の他コースも含めると約35人の研究者が材料開発に携わっています。また電気通信大学には**燃料電池やフォトニック材料**など大きな目標を掲げた数多くの研究センターも活動しています。情報と通信を主とする電気通信大学の他の専攻にも多くの研究者が材料・化学に関わっており、これらの研究室から数多くの材料開発を目指す人材を社会に送り出してきました。

研究例

化学関連の研究室をいくつか紹介しましょう。

平野研究室では**ホタルやウミホタルに学ぶ光機能材料開発**に取り組んでいます(図2)。ホタルが高効率で光っているのをご存知ですか？ここではルシフェリンと呼ばれる有機化合物が酵素作用を受け、酸素と反応して光を生み出しています。しかし、この反応の仕組みの完全解明はなされていません。平野研究室では、化学的に光を生み出す仕組みの謎に挑戦して、効率良く光る材料の開発に活かそうとしています。

瀧研究室では**ケミカルバイオロジーで創薬**を目指します(図3)。生体で作る抗体の働きを小さな分子に持たせることで、**隠れた癌細胞も発見できる診断薬**や正常な細胞に悪影響を与えずに**癌細胞だけを駆除する医薬品**の研究開発を行っています。

狩野研究室では、**筋肉細胞のタンパク1分子レベルの分子動態**を研究しています(図4)。筋肉細胞は多核細胞で、神経細胞と連携して運動機能を発揮します。狩野研究室では、運動による筋肉のダメージ、回復、細胞壊死を調べるために、**バイオイメージング技術**を駆使して細胞内外でのカルシウムなどの物質動態を観察し、**筋肉の運動機能調整に関する生命メカニズム**に迫っています。

山北研究室では、**分子ビームによる孤立分子系の極限的計測**や、最先端レーザー実験を用いた**化学構造と反応性の研究**により、**機能性分子の創製と生命の分子論的理解**を目指しています(図5)。

曾越研究室では、**自己組織化、非線形、協同現象**という化学の視点から、生命の謎に挑んでいます(図6)。生命はなぜその姿や形、行動、思考を維持できるのでしょうか？この謎のキーとなる**非線形現象**や**自己組織化**を積極的に応用して、**フォトニック材料合成**について理論および実験的に研究しています。

他にも、**ナノテクノロジー材料の一つである単分子磁石**、高周期の元素を含む**有機金属化学**、触媒機能を発現する**錯体化学**、複雑な分子の構造を解明する**分子構造化学**、**超高速光物理化学**、**超音波化学**、**脳・神経系における情報伝達・情報処理のメカニズム**やそれらを担う物質などについても研究しています。

最先端の材料技術者・研究者を目指す人を歓迎します

以上のように電気通信大学では、情報や通信技術に必要な不可欠で、かつ基礎となる**材料化学分野でも活発な研究**が行われているのがお分かり頂けるでしょうか。化学を得意とし、加えて**生命、光学、通信、機械、電気**にも通じた、**一級の技術者・研究者**を目指すならば、電気通信大学大学院の**先進理工学専攻生体機能システムコース**は大変おすすです。ぜひ興味を持っていただければ幸いです。電気通信大学は京王線調布駅から徒歩5分に位置し、**都心や多摩地域からのアクセスが抜群**です。オープンキャンパスなどの機会に、ぜひ一度訪れてみてください。幅広く奥深い化学の研究に共に励みませんか。

■大学院入試ガイダンスの開催	6月5日(水) 大学院オープンラボ（全学大学院入試説明会および研究室公開）
-----------------------	---------------------------------------

■問合先	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 先進理工学専攻 生体機能システムコース 大学院入学試験担当 TEL 042-443-5490 (石田) FAX 042-443-5501 http://www.uec.ac.jp/department/ie_graduate/s/ 上記の日時等は予定です。大学のホームページなどでお知らせします。
-------------	---

国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院／生体材料工学研究所

■募集学生



平成26年度入学 大学院入試

修士課程【医歯理工学専攻】

博士課程【生命理工学系専攻】

*希望分野の教授に承諾を得た上で選抜試験に臨んで下さい。

■出願期間

修士課程 6月下旬予定（4月以降に正式アナウンス予定）

博士課程 8月上旬～中旬（4月以降に正式アナウンス予定）

■試験日および試験内容

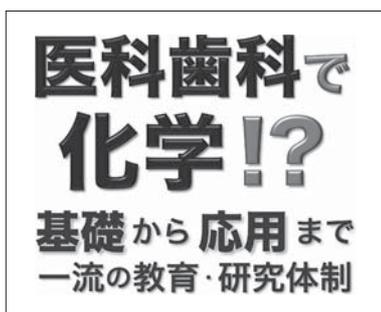
修士課程 7月29日(月)

- ・筆記試験：英語1および専門科目（英語2・生物・化学・工学から1科目選択）
- ・面接

博士課程 9月17日(金)

- ・筆記試験（英語）
- ・面接

■インフォメーション



東京医科歯科大学で化学！？

東京医科歯科大学（国立大学です！）というと、お医者さん、歯医者さんになる人たちの思い浮かべるとも思います。もちろん、その連想は正しいのですが、その一方で、医歯学だけではなく、「理学」や「工学」を修める大学院もあります。生体材料工学研究所（生材研）では、医療への応用を目指した生体材料に関わる世界最先端の研究を通して、理工学を修めることができます。

生体材料工学研究所？

医療基盤材料部門、生体機能修復部門、医療デバイス部門、生体機能分子部門の4つの部門と医歯工連携実用化施設からなる研究所です。ここでは、知の源泉となる純粋な化学（有機化学、高分子化学、無機化学、物理化学など）に関する基礎研究から、難病の克服に挑む「くすり」づくり、医療や歯科医療に革新をもたらす、夢のような分子・材料づくりといった、社会のニーズに応える応用研究まで、幅広い研究を行っています。一流の教員陣と世界最先端の研究をしてみませんか？

どこにあるの？

生材研は、御茶ノ水駅のすぐ近く、都心にある研究所です。
興味のある方は、ぜひ一度、見学にきてみて下さい！
（見学を希望される方は、Webをチェックして下さい！）

■大学院入試ガイダンスの開催

◆大学院受験者のための「生体材料工学研究所オープンキャンパス」

5月中に開催予定（Webでチェック！）

◆東京医科歯科大学「大学院入試説明会」

6月6日(木)

東京医科歯科大学M & Dタワー2階

■問合せ先



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

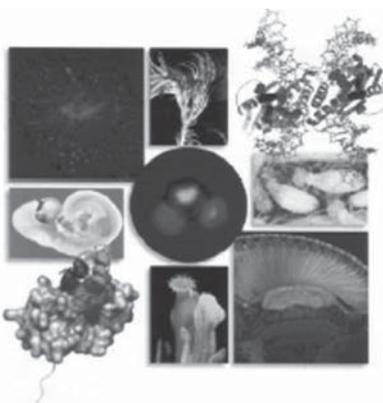
生材研で行われている研究や入試情報、オープンキャンパスなどに関する詳しい情報はWebでチェック！

（「生材研」で検索！）<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/>

東京工業大学大学院総合理工学研究科物質電子化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度大学院修士課程学生募集（H25.10月入学、H26.4月入学） 平成26年度大学院博士課程学生募集（一般・社会人プログラム）（H25.10月入学、H26.4月入学）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>【修士課程】平成25年6月24日（月）～6月28日（金）（H25.10月入学、H26.4月入学） 修士課程募集要項（冊子体）の配布は5月上旬（4月中旬にWeb版公開） 【博士課程】平成25年7月上旬（H25.10月入学）、平成26年1月中旬（H26.4月入学） 出願に先立ち、修士・博士課程共に出願資格審査が必要な場合があります。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【修士課程】 A日程：口述試験：H25年7月29日～7月31日（書類選考者） B日程：筆答試験：H25年8月20日（外国語）、21日（専門科目） 外国語：科学論文等の読解、作文（注） 専門科目：物理化学（2問）・有機化学（2問）・無機化学（2問）・生物化学（2問）から計8問出題し、合計8問のなかから5問選択して解答 口頭試問：H25年9月2日～5日（筆答試験合格者） 合格発表：平成25年9月13日（金） 【博士課程】 外国語試験：科学論文等の読解、作文（注） 修士学位論文に関する試問、学力検査及び口頭試問 （注）TOEIC等外部試験のスコア（有効期間は2年）提出により、外国語試験が免除になる場合があります。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>当専攻は、本学創設時に設立された電気化学科を母体として、総合理工学研究科の中で化学の教育・研究を行う専攻として平成9年に発足しました。「化学反応は電子の移動過程である」との理念のもとで、化学の広範な領域で、原子・分子・ナノからマクロ領域に至る様々なレベルからのアプローチによる研究とそれに関する教育を行っています。開かれた大学院として、理工系の幅広い分野で化学の基礎学力を培った学生が、本専攻で基礎・純正化学から応用・デバイス開発まで一貫した知識と経験を学び、様々な分野で将来を担う研究・技術者になることを目指しています。本専攻を修了しますと、研究内容と学生の希望により工学、理学、または学術の学位を選ぶことができます。当専攻は他大学・高専専攻科からの化学を志す学生を、化学だけでなく他分野からの学生も含め広く募集しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>【オープンキャンパス・研究室公開】 H25年3月30日（土）、5月17日（金）、5月18日（土）、6月15日（土） 専攻説明会を同日11：00～12：00に開催（於：すずかけ台キャンパス） 【進学相談会】 本専攻の担当教員が個別相談を受けます。 H25年3月24日（日）、4月13日（土）、6月8日（土） 時間：13：00～16：00（於：田町キャンパス） 【関西地区説明会】 H25年4月21日（日）（於：毎日インテシオ4階D・E会議室） 【九州地区説明会】 H25年4月21日（日）（於：リファレンス駅東ビル4階G会議室） 上記の詳細は下記専攻ホームページでご確認ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>【専攻ホームページ】 http://www.echem.titech.ac.jp/index.html 【H25年度専攻長】 東京工業大学 大学院総合理工学研究科 物質電子化学専攻 原 正彦（E-mail：masahara@echem.titech.ac.jp、電話：045-924-5437） 〒226-8502 横浜市緑区長津田町4259-G1-7</p>

東京工業大学大学院 生命理工学研究科

<p>■入学年度／募集学生</p>	<p>入学年度：平成26年4月、または平成25年10月入学</p> <p>募集する専攻：</p> <p>○分子生命科学専攻 ○生体システム専攻 ○生命情報専攻</p> <p>○生物プロセス専攻 ○生体分子機能工学専攻</p> <p>修士課程：大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること</p> <p>博士課程：大学院修士課程を修了もしくは見込みであること</p> <p>博士課程（社会人大学院プログラム）：修士の学位を有する者又は学部卒業後2年以上の研究歴を有する者等。修士の学位を有しない者が出願する場合には、出願に先立ち事前審査を要します。</p>
<p>■入試に関する重要な日程</p>	<p>募集要項の配布：平成25年5月9日ころ～</p> <p>Web(http://www.titech.ac.jp/admission/graduate/guideline.html)から入手可能。</p> <p>出願期間：平成25年6月24日(月)～6月28日(金)</p> <p>筆答試験：平成25年8月20日(火)、8月21日(水)</p> <p>口頭試問：平成25年8月下旬（募集要項で確認すること）</p>
<p>■試験内容</p> <div style="text-align: center;">  <p>東工大は2011年、 創立130周年を迎えました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">分子生命科学専攻</div> <p>生命現象の分子機構</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">↑ 生 化 学</div> <div style="text-align: center;">↑ 分 子 生 物 学</div> <div style="text-align: center;">↑ 物 理 化 学</div> <div style="text-align: center;">↑ 有 機 化 学</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">生体システム専攻</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<p>修士課程：</p> <p>○分子生命科学専攻 英語・専門分野・口頭試問 英語は外部試験のスコアシート提出。 専門分野は1) 物理化学、2) 有機化学、3) 生化学と分子生物学の3分野から各2問合計6問が出題される。このうち、4問を選択解答する。 口頭試問 学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問を行う。</p> <p>○生体システム専攻 英語 本学の指定する外部テストの成績を利用します。 TOEFL-ITP, TOEIC-IP等の団体特別受験は利用できません。 専門分野（生物化学（分子生物学、細胞生物学を含む）3題、生物学2題、物理化学1題、有機化学1題のうちから5題を選択解答） 口頭試問</p> <p>○生命情報専攻 英語（外部テスト成績利用） 専門分野（物理化学、有機化学、生化学及び分子生物学、生物学、情報の5分野から4問を選択解答） 口頭試問</p> <p>○生物プロセス専攻 英語：筆答試験を実施、科学論文等の読解、作文 専門科目1：物理化学、有機化学の2分野から出題し、全問解答する 専門科目2：生物化学、生物工学の2分野から出題し、全問解答する 口頭試問：学士論文研究等の内容、及び修士課程での研究計画を中心とした試問</p> <p>○生体分子機能工学専攻 英語：筆答試験を実施 基礎的専門科目（数学、物理） 専門分野（物理化学、有機化学、生化学） 口頭試問</p> <p>★各専攻の入試問題（英語を除く）を公開しています http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/exam.html</p> <p>博士課程（社会人大学院プログラムを含む）：</p> <p>○分子生命科学専攻 英語：外部試験のスコアシートを提出した者のうち点数によっては試験が免除される。 口頭試問：学位論文（またはこれに代わる研究業績）の試問、学力検査及び口頭試問。</p> <p>○生体システム専攻 英語、口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）</p> <p>○生命情報専攻 英語（外部テスト成績利用）、 口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）</p> <p>○生物プロセス専攻 英語、口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）</p> <p>○生体分子機能工学専攻 英語、口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）</p>

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻 修士課程 (26年4月入学、25年10月入学) 博士課程 (26年4月入学、25年10月入学) 最新情報はWebでご確認ください (http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/) またはhttp://www.t.u-tokyo.ac.jp/tpage/for_prep/index.html)。 詳細は、4月下旬から配付予定の入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成25年7月 [修士課程、博士課程 (A日程) : 予定] 平成25年11～12月 [博士課程 (B日程) : 予定]</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・ 修士課程、博士課程 (A日程) 平成25年8月26日(月)～8月27日(火) [実施予定] 試験内容：筆記試験 (英語、一般学術、専門学術)、口述試験 ・ 博士課程 (B日程) 平成26年2月 [実施予定]</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>「21世紀は応用化学の時代」～物質を自在にデザインし、新しい機能を創出～</p> <p>応用化学専攻では、化学を基礎として環境・エネルギー・情報など多岐の分野にわたる基礎・応用研究を展開しています。高度に有能な研究者、技術者を養成するために、基礎学力の充実、高度な専門知識の獲得が可能なカリキュラムを設けており、さらに修士論文・博士論文研究で実践的な能力を養います。</p> <p>応用化学専攻の17研究室では、光に応答して機能を発現する材料の開発、新エネルギー開発、半導体製造の基盤技術開発となるナノテクノロジー、超伝導や様々な機能を有する材料の開発とその物性研究、分子1個の挙動を解明する分光化学、ナノスケール化学実験プロセスの開発、環境保全のための触媒化学研究、自己組織化による物質創成研究、次世代高分子材料の開発などの多分野にわたり、基礎から応用研究まで幅広く展開されています。</p> <p>また、応用化学専攻の多くの研究室は大型プロジェクトに参画しており、さらに国際共同研究も盛んであるなど、大学院の学生が世界の第一線で活躍する研究者に成長できる研究・教育の舞台を用意しています。博士課程学生の約3割は学振特別研究員として月額20万円、このほかSEUTフェロースhipや博士課程教育リーディングプログラム、化学人材育成制度などにより、ほぼ全員が何らかの形で給与を受けています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回 平成25年3月30日(土) 13:00～ 東京大学 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所An棟2F コンベンションホール 第2回 平成25年5月18日(土) 13:00～ 東京大学 工学部5号館1階51号講義室 (本郷キャンパス)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学・生命系事務室 電話 03-5841-7211, 7361, 7213</p>

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 修士課程（平成26年4月入学、平成25年10月入学） 博士課程（平成26年4月入学、平成25年10月入学） 最新情報はWebでご確認ください（http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/）。 詳細は、5月から配付される入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成25年7月2日(火)～10日(水)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程 平成25年8月26日(月)～8月27日(火) [実施予定] 試験内容：筆記試験（英語、専門学術）、口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">   <p>東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p> </div>	<p>化学とシステムの思考の融合～化学システム工学専攻</p> <p>化学システム工学専攻では、化学に対する広範な知識をベースに、環境問題・エネルギー問題・安全性の問題に正面からシステムチックにアプローチし、化学と社会との密接な関係を築く研究を行うことができます。</p> <p>化学システム工学専攻の特徴は、単に面白いからという理由で分子や物質を合成するのではなく、ある目的・機能をもった分子・物質、材料・デバイスを開発し、さらにそれをどのように応用すれば、社会的なニーズに応えることができるかを、常に念頭において研究を行っているという点です。そのため、企業からの共同研究の申し込みも多く、学生達も積極的に研究と向き合っています。</p> <p>化学システム工学専攻の研究室では、非常に基本的な原理を追究している研究から、社会における物質循環や安全性の問題に取り組んでいる研究まで、多岐にわたった研究に取り組んでいます。そしてどの研究室においても、現実の問題にどのように取り組み、解決していくかという明確な視点をもって研究を進めています。研究が社会的ニーズに応えることになるのです。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回 平成25年5月11日(土) 13:00～ 東京大学 工学部5号館1階51号講義室（本郷キャンパス） 第2回 平成25年6月1日(土) 11:00～12:30 からすま京都ホテル（予定） 15:00～16:30 ホテルグランピア大阪（予定） 第3回 平成25年6月29日(土) 13:00～ 東京大学 工学部5号館1階51号講義室（本郷キャンパス）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 常務委員 堂免 一成 教授 電話 03-5841-1148 e-mail admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp</p>

東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度（2014年度）大学院修士・博士課程入学 学生募集 修士課程（平成26年4月入学、平成25年10月入学） 博士課程（平成26年4月入学、平成25年10月入学） 最新の情報は専攻HP（http://envsys.k.u-tokyo.ac.jp/）でご確認ください。 詳細については4月から配布される本研究科募集要項および環境学研究系入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成25年6月20日～6月26日（日程A） 平成25年11月27日～12月3日（日程B） 詳細は研究科HP（http://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/exam-ent.html）をご確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程（日程A）： (1) 英語：TOEFL；(2) 口述試験； (3) 専門科目： A：環境システムに関する知識、理解力、洞察力を見る問題（小論文形式） B：物理、化学、数学、生物、地学（各2問）の計10問の中から2問を選択</p> <p>博士課程（日程A）： (1) 英語：TOEFL；(2) 口述試験； (3) 専門科目： 環境システムに関する知識、理解力、洞察力を見る問題（小論文形式）</p> <p>*試験内容の詳細は4月から配布される環境学研究系入試案内書をご覧ください。 日程（予定）：英語（TOEFL-ITP）8月20日（修士・博士）；専門科目：8月20日（修士・博士）；口述試験：8月21日（修士）、8月19日（博士） *日程Bおよび日程Aのより詳細な情報は専攻HP（http://envsys.k.u-tokyo.ac.jp/）でご確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>東京大学大学院 新領域創成科学研究科</p> </div>	<p>環境システム学では、人間活動に伴う物質（人工物や廃棄物）とエネルギーの流れ、および自然界（大気圏、水圏、地圏、生物圏）における物質の循環を把握し、それらの相互作用を明らかにしていきます。さらに、人間社会と自然のサブシステムから構成される環境システムモデルを構築し、それに基づく環境調和型社会の創成を目指しています。</p> <p>〈カリキュラム〉本専攻で扱っている対象は多岐にわたっており、環境システム学の基礎科目に加えて、環境問題を技術で解決する仕事に携わるため、あるいは環境施策の立案や環境リスクの管理に携わるための様々な環境システム学の応用科目を学ぶことが出来ます。フィールド実習科目も準備されています。</p> <p>〈学修サポートプログラム〉外国人学生交換プログラムによる短期留学のサポート、博士課程研究奨励金支援プログラムによる研究サポートを実施しています。</p> <p>〈環境マネジメントプログラム（環境学研究系の提供プログラム）〉環境技術を総合的に学習・構想・開発し、技術移転、起業することに関心をもつ学生に対して環境MOT（Management of Environmental Technology）として当教育プログラムを提供しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年4月20日（土）12：30～ 大阪：千里ライフサイエンスセンター ・平成25年5月12日（日）13：00～ 本郷キャンパス武田ホール ・平成25年5月25日（土）13：00～ 柏キャンパス環境棟 <p>最新の情報は専攻HP（http://envsys.k.u-tokyo.ac.jp/）でご確認ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒277-8563 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻 専攻長 戸野倉 賢一 教授 電話 04-7136-4706 Email：exam@esys.k.u-tokyo.ac.jp</p>

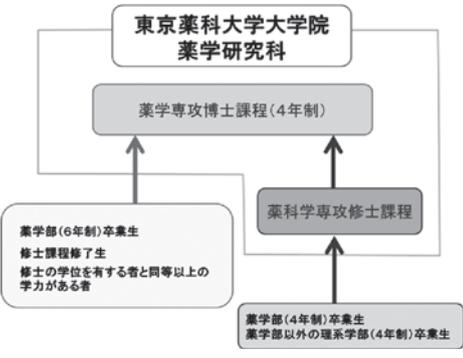
東京大学大学院薬学系研究科（薬科学専攻、薬学専攻）

■募集学生	<p>平成26年度東京大学大学院薬学系研究科学生募集（薬科学専攻、薬学専攻）</p> <p>■修士課程：大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者</p> <p>■博士後期課程（3年制）：大学院修士課程修了・修了見込みの者又はこれに準ずる者</p> <p>■薬学博士課程（4年制）：6年制大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者</p>
■出願期間	<p>【各課程共通】平成25年6月27日(木)～7月4日(木)</p> <p>■一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜（各課程共通）</p> <p>■平成26年4月入学者及び平成25年10月入学者を募集します。</p>
■試験日程等	<p>■修士課程 筆記試験：平成25年8月20日(火)・21日(水) 外国語（英語：TOEFL-ITP）、専門科目、一般教育科目 口述試験：平成25年8月21日(水)</p> <p>■博士後期課程 筆記試験：平成25年8月20日(火) 外国語（英語：TOEFL-ITP）、専門科目、小論文 口述試験：平成25年9月5日(木) 論文審査：平成26年2月上旬</p> <p>■薬学博士課程 筆記試験：平成25年8月20日(火) 外国語（英語：TOEFL-ITP）、専門科目、小論文 口述試験：平成25年9月5日(木)</p> <p>※その他の情報は、各課程の募集要項を参照して下さい。</p>
■インフォメーション	<p>薬学は、医薬の創製から適正使用までを目標とし、低分子有機化合物から生体高分子に渡る生命に関わる物質全般と、物質同士の相互作用から生じる生命現象を研究対象とします。科学の立場から人類の健康維持や増進に積極的に貢献して行ける点が薬学の大きな魅力で、皆さんの人生を賭けて追究するにふさわしい、素晴らしい学問です。本研究科は、明日の創薬生命科学のメインプレーヤーを目指す意欲的な学生を、生物、化学、物理の広い分野から募集します。</p> <p>本研究科は、薬科学専攻と薬学専攻の2専攻、34教室から成り、世界第一線の研究を行っています。また、研究に裏付けられた最高水準の学生教育により、創薬科学および基礎生命科学の発展に寄与する研究者リーダーや、医療行政に貢献する人材、さらには高度医療を担う薬剤師を、アカデミアや官公庁、製薬企業、化学メーカー、病院などに多数輩出しています。</p> <p>薬学基礎研究には、生命現象からその原因分子（主に蛋白質などの生体高分子）やメカニズムを発見するトップダウンの方式と、生物活性分子（主に天然物などの低分子）から生命現象を解明、制御するボトムアップの方式の2つの方法論が存在します。生命科学という総合学問では、2つの方法論が車の両輪のように連携しながら研究を進めていく必要があります。驚くべきことに、1つの研究科内で「病態治療」を旗印に高い水準の両輪を兼ね備えているのは、世界的に見て日本の薬学だけです。</p> <p>本研究科においてこの両輪は、博士課程教育リーディングプログラムをはじめとする統合型教育・研究プログラムによって、ますます連携を強めています。様々な学生支援体制によって、本研究科の博士後期課程学生は全員一定額のサポートを受けます。修士課程から博士後期課程への進学率は44%で、167人中97人が日本学術振興会の特別研究員に採用されています。留学生は大学院学生の8.4%、博士研究員等を含めると51人の外国人が本研究科に参画しています。約50%のセミナーに英語でのディスカッションを取り入れており、高いプロ意識と国際感覚を磨くことができます。各種支援プログラムのもと海外の研究・教育機関に短期留学し（昨年度実績67人）、更なる研鑽を積むこともできます。その一方で、陸上および水上運動会、その他のスポーツ大会を通して、学問以外の人間関係も育んでいます。</p>
■大学院入試説明会の開催	<p>平成25年6月1日(土) 午後1時～ 薬学部講堂（総合研究棟2階）</p>
■問い合わせ・連絡先	<p>東京大学大学院薬学系研究科事務部教務チーム 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話：03-5841-4704（午前9時～午後5時） Eメール：gakuin1@mol.f.u-tokyo.ac.jp ホームページ：http://www.f.u-tokyo.ac.jp/</p>

東京大学大学院理学系研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院理学系研究科化学専攻 修士・博士課程学生募集 平成25年10月入学および平成26年4月入学</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成25年7月4日(木)～7月10日(水) (修士・博士課程4月・10月入学共通)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【修士課程 (4月・10月入学共通)】 筆記試験：平成25年8月27日(火) 外国語、専門科目、作文 口述試験：平成25年9月4日(水) 合格発表：平成25年9月18日(水)</p> <p>*博士課程の試験日程等に関しては専攻HPを確認すること。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">    <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>東京大学 大学院 理学系研究科・理学部 <small>SCHOOL OF SCIENCE, THE UNIVERSITY OF TOKYO</small></p> </div> </div>  </div>	<p>東京大学大学院理学系研究科化学専攻では、12の基幹研究室(構造化学、物性化学、量子化学、化学反応学、生物有機化学、有機合成化学、天然物化学、物理有機化学、固体化学、分析化学、無機化学、生物無機化学)および、社会連携講座、スペクトル化学研究センター、超高速強光子場科学研究センター、地殻化学実験施設、物性研究所、大学院総合文化研究科、大学院新領域創成科学研究科、高エネルギー加速器研究機構、大気海洋研究所、地震研究所、JAXA宇宙科学研究所の化学関連領域の教員が研究と教育に参画しています。化学専攻がカバーする研究分野は極めて広く、化学を中核として、物理学や生物学などの他の自然科学分野との境界領域や、工学、医学、薬学、農学、環境科学などの領域につながる学際的な分野に及んでいます。本専攻では、将来、第一線の研究者として活躍するとともに、次世代の化学者の教育にあたることのできる指導者を育成することを教育の目標としています。そして、最先端領域の研究活動を通じ、新しい研究分野を開拓するとともに、従来の概念を超える自然感と物質感を創出することを研究の目標としています。私たちは、自然科学のあらゆる分野の基礎となる化学の最先端に立ち、新現象の発見や新物質の創製を通じて理学の発展に貢献することを目指しています。</p> <p>化学専攻は、教員約100人、大学院学生約210人、博士研究員約50人から構成されています。最近5年間の実績を見ると、博士課程学生の7割以上、また国内外から集まる研究員の大多数が大学や公的研究機関に就職し、先端研究に従事するとともに、後進の教育に当たっています。また、平成23年度より、「フotonサイエンス・リーディング大学院」Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)、平成24年度より「統合物質科学リーダー養成プログラム」Material Educational program for the future leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT) を推進する中核専攻の一つとして、若手人材育成に取り組んでいます。化学専攻では、大学院学生や博士研究員の生活支援を充実させるとともに、国内外各地から学生を受け入れ、国際的な環境の下で学生が勉学と研究に打ち込める条件を整えています。そして、将来、国内外の教育・研究の分野において、指導的立場に立って活躍する人材の育成に力を入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回：5月11日(土) 13:00～18:00 第2回：6月8日(土) 13:00～18:00 於：東京大学 本郷キャンパス 理学部化学本館5階講堂 第1回と第2回は同じ内容です。入試ガイダンスについては、問合先の専攻ホームページアドレスにて、随時最新情報を掲載します。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号 東京大学大学院理学系研究科 事務部大学院担当 電話 03-5841-4023 専攻HP http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/</p>

東京薬科大学大学院薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>薬科学専攻修士課程（薬学部やその他理系大学の卒業生もしくは卒業見込みの方） 薬学専攻博士課程（6年制薬学部卒業生もしくは卒業見込みの方、4年制薬学部卒業生で修士修了もしくは修士相当の方、他学部修士課程修了もしくは修了見込みの方）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>薬科学専攻修士課程：7月中旬 薬学専攻博士課程：9月上旬 締切日時は、正式に決定次第薬学研究科ホームページに掲載します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>薬科学専攻修士課程（7月下旬）：外国語（英語）と専門科目の筆記試験および面接により判定（専門科目は生物系4問、化学系4問、計8問中2問を選択）、配点は外国語50点、専門50点の計100点満点 薬学専攻博士課程：（9月上旬）：外国語（英語）の筆記試験および口頭試問により判定</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>薬学研究科の大学院生教育では、ヒューマニズムの精神に基づいて、科学技術の発展および人類の福祉と健康に貢献するための薬学研究を推進できる高度な研究能力と学識を有し、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。特に、高度医療、医薬品開発、大学教育などの高等教育に関与する薬学研究者としての視点を有する医療人および指導者の育成に主眼を置いています。</p> <p>本学は、132年の歴史の中に創薬基礎研究体系を確立した大学であり、基礎研究の考え方や手法を臨床における薬物治療や医薬品開発に応用する有力な基盤を有しています。そこで薬科学専攻修士課程では、医薬品の創製に係る研究を介し人類の健康と福祉に寄与する研究者としての素養を身につけた人材の育成を目指します。一方本学は、1981年に医療薬学専攻修士課程を日本で初めて設置した大学であり、古くから医学部附属病院等と姉妹校もしくは医薬提携を結び、その基盤を生かした医療薬学研究を推進してきました。そこで平成24年度から設置された薬学専攻博士課程では、このような基盤をもとに基礎薬学コースと臨床薬学コースの2コースを設け、疾病と薬物療法あるいは医薬品開発の基礎から臨床までの流れを理解しつつ、基礎薬学研究の知識と手法を用いて臨床応用を強く意識した研究を遂行できる研究者を育成します。さらには、将来の薬学教育を担う指導者的立場の薬剤師や大学教員の育成も本課程で推進していきます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>薬学専攻博士課程の入試説明会は、6月下旬と7月下旬の2回を予定 場所：東京薬科大学医療薬学研究棟2階医201講義室を予定</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学薬学部薬学事務課大学院担当 TEL 042-676-7312、FAX 042-676-5413 http://www.ps.toyaku.ac.jp/graduate/index.html</p>

東京理科大学大学院 総合化学研究科

<p>■平成26年度募集</p>	<p>総合化学研究科総合化学専攻 ① 修士課程（他大学等からの推薦入学を含む） ② 博士後期課程（社会人特別選抜を含む） ③ 外国人留学生（修士課程） ④ 外国人留学生（博士後期課程）</p>
<p>■願書受付期間</p>	<p>① 修士課程 平成25年7月1日(月)～7月11日(木) ② 博士後期課程 平成26年1月10日(金)～2月7日(金) ③ 外国人留学生（修士課程） 平成25年10月1日(火)～10月11日(金) ④ 外国人留学生（博士後期課程） 平成25年10月1日(火)～10月11日(金)</p>
<p>■選考日時・内容</p>	<p>① 修士課程 一般選抜：平成25年8月1日(木) 筆記試験/専門科目（物理化学2問、無機及び分析化学2問、有機化学2問、生物化学1問、化学工学1問の計8問のうちから6問を選択）8月3日(土) 面接。（出願書類にTOEICスコアシートの原紙が必要） 他大学等からの推薦入学：平成25年8月3日(土) 面接 ② 博士後期課程 平成26年2月25日(火) 一般選抜：口頭試問。社会人特別選抜：書類審査・筆記試験・口頭試問（筆記試験は免除することがある）。 ③ 外国人留学生（修士課程） 第一次選考 書類審査。第二次選考 平成26年2月1日(土)～3日(月)のいずれかに筆記試験・口頭試問。 ④ 外国人留学生（博士後期課程） 第一次選考 書類審査。第二次選考 平成26年2月1日(土)～3日(月)のいずれかに筆記試験・口頭試問。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE since 1881</p> </div>	<p>■歴史ある理学研究科化学専攻と工学研究科工業化学専攻を発展的に統合し平成21年4月に開設。 ■化学を基盤として理学の知と工学の知を融合させた全国でもユニークな化学系単独の大学院。 ■物質の性質と変化を深く理解し、社会に必要な物質・エネルギーを創製・開発する能力や地球環境、生命現象に関する高度な知識を身に付けた人材の育成。 ■現代社会が直面する環境保全・エネルギー資源の確保および難病克服等に関するグローバルな仮題の解決に向け、理学・工学の化学系研究者が個々の独創的な研究分野における先端的な技術を発展させつつ、縦割りの研究意識を排しながら結集し、互いの研究内容をよく認識しあい、バリアフリーな教育研究環境と密接な協力体制を構築します。 ■5コース35研究室： 分子集積・分子科学コース レーザー分光学、量子化学、溶液化学、物性化学、金属錯体化学、超分子化学、機能性分子化学、表面物理化学、プラズモン光化学、無機光化学、放射化学、クラスター化学、超分子錯体化学等を専門研究分野とする10研究室 合成・反応有機化学コース 反応有機化学、有機合成化学、有機金属化学、構造有機化学、有機元素化学、キラル化学、天然物化学、高分子合成化学、超分子化学等を専門研究分野とする8研究室 機能・生体材料化学コース 液晶、高分子化学、生物物理化学、構造生物学、生物有機化学、界面・コロイド化学、複合材料化学、機能性高分子、分子集積化学、生体触媒化学、分子細胞生物学等を専門研究分野とする8研究室 エネルギー・環境化学コース 太陽光エネルギー変換、無機光化学、触媒化学、電気化学、環境分析化学、環境化学、物質史等を専門研究分野とする4研究室 工業化学コース 抽出分離、物質移動、超臨界流体利用工学、界面科学、分光学、工業物理化学、コロイド化学、分析化学、X線分析等を専門研究分野とする5研究室</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>下記教務課にお問い合わせください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学 http://www.tus.ac.jp/ ■入試センター入試課 nyugaku@admin.tus.ac.jp ■教務課（化学系事務室） kagu_kagakukejimu@admin.tus.ac.jp TEL 03-5228-8246 FAX 03-5261-4631</p>

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 化学・生命化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>早稲田大学大学院 先進理工学研究科 化学・生命化学専攻 修士・博士後期課程学生募集（一般入試※） 2013年9月入学および2014年4月入学</p> <p>※社会人を対象とした特別選考入試はこちら http://www.sci.waseda.ac.jp/visitor/applicants/daigakuin/050.html</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【修士課程2013年9月・2014年4月入学共通】 2013年6月10日(月)～6月17日(月)</p> <p>【博士後期課程2013年9月入学】 2013年5月20日(月)～6月7日(金)</p> <p>【博士後期課程2014年4月入学】 2014年1月7日(火)～1月15日(水)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【修士課程】 筆記試験：2013年7月14日(日) 面接試験：2013年7月20日(土) 合格発表：2013年7月26日(金)</p> <p>【博士後期課程9月入学】 面接試験：2013年6月29日(土) 合格発表：2013年7月12日(金)</p> <p>【博士後期課程4月入学】 面接試験：2014年2月22日(土) 合格発表：2014年2月27日(木)</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div>	<p>「化学」は物質の合成、物質の機能の実現、物質の機能の解析等を分子レベルで追及する学問であり、これまで医薬品、合成繊維、プラスチック、等々を生み出して人類の福祉に大いに貢献してきました。しかしまた、それらの化学物質のいくつかのものは環境破壊の原因ともなっていますが、これらの環境を破壊する物質を除き、きれいな自然を後世に残すためにも化学は重要な役割を担っています。従来の知識や技術を踏襲するだけではなく、原子・分子から構成される物質世界を解明する新たな方法論の確立とそれに基づく新しい技術の開発が化学に課せられた最重要課題です。本専攻は、このような状況に積極的にチャレンジする創造性豊かな人材を育てることを目指しています。</p> <p>本専攻は、物理化学部門、無機分析化学部門、有機化学部門、生命化学部門の4部門11研究室から構成されています。教授10名、准教授1名、助教2名、助手5名、また非常勤講師の協力を得て原子・分子に基礎をおいた物質の反応性、構造、物性、機能について理論的で体系的な教育と研究を行っています。各教員は、研究成果の学会・論文発表の指導を通して、国際的に十分通用する自立した研究者の育成を心がけています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンス</p>	<p>日時：2013年6月15日(土) 13:00～16:00 場所：早稲田大学西早稲田キャンパス URL： http://www.waseda.jp/nyusi/daigakuin/</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>早稲田大学理工学術院統合事務所 大学院入試係 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 E-mail： gyoumu@sci.waseda.ac.jp 電話：03-5286-3808 専攻HP： http://www.chem.waseda.ac.jp/</p>

早稲田大学 先進理工学研究科 応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 応用化学専攻 大学院 一般入試（修士・博士後期課程）・社会人特別選考（修士・博士後期課程） 学生募集（2014年4月入学及び2013年9月入学を対象） 入学試験要項：ウェブページをご覧ください。 http://www.sci.waseda.ac.jp/visitor/applicants/index06.html</p>
<p>■出願期間</p>	<p>1. 一般入試 [修士課程] 2013年9月入学・2014年4月入学 出願：2013/6/10～6/17 選考：筆記 2013/7/14 面接 2013/7/20 合否：2013/7/26 [博士後期課程] 2013年9月入学 出願：2013/5/20～6/7 選考（面接）：2013/6/29 合否：2013/7/12 [博士後期課程] 2014年4月入学 出願：2014/1/7～1/15 選考（面接）：2014/2/22 合否：2014/2/27</p> <p>2. 社会人特別選考 [修士課程・博士後期課程] 2013年9月入学 出願：2013/5/20～6/7 選考（面接）：2013/6/29 合否：2013/7/12 [修士課程・博士後期課程] 2014年4月入学 出願：2013/12/11～2014/1/6 選考（面接）：2014/2/22 合否：2014/2/27</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 一般入試：筆記試験及び面接 ◆博士後期課程一般入試・社会人特別選考（修士課程・博士後期課程）：口述・面接試験 出願時に二年以内のTOEFLまたはTOEIC等の英語能力証明書のスコアカード提出有り</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">応用化学科のある理工65号館と地下鉄入口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●応用化学専攻は「役立つ化学、役立てる化学」をキーワードに、化学についてとことん学びたい方の意欲に応えます。 ●文部科学省より21世紀COE拠点に引き続いて、グローバルCOE拠点「実践的 化学知」として採択され、「英知」の構築と化学系研究者の「知力」養成を目的 とした研究教育を行ってきました。 ●本学博士キャリアセンターが、博士後期課程学生のキャリアパスをサポートし ます。 ●本学では、博士後期課程学生に対する授業料相当額の奨学金による支援制度が あります。 ●キャンパスは東京都心の東京メトロ副都心線西早稲田駅に直結しています。 ●応用化学専攻に関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 http://www.waseda-applchem.jp/
<p>■問合せ先</p>	<p>早稲田大学理工学術院統合事務所 大学院入試係 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 Email：gyoumu@sci.waseda.ac.jp 電話：03-5286-3808 Fax：03-5286-1689</p>

神奈川県立神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） 博士後期課程（大学院博士前期課程または修士課程を修了もしくは見込みであること） 平成26年4月入学 その他、「社会人入試」も行っています。</p>
<p>■出願期間（予定）</p>	<p>平成25年8月中旬頃（博士前期・後期課程共通） 平成26年1月下旬頃（博士前期・後期課程共通） 正式には4月以降に決定します。詳細は下記の間合先までご連絡下さい。</p>
<p>■試験内容（予定）</p>	<p>博士前期課程 英語と専門科目（物理化学、化学工学、分析化学、有機化学、無機化学、生物化学、微生物学、生命科学、食品・栄養学の各専門分野から2問、全18問から6問を選択して解答）の筆記試験および面接によって合格・不合格を判定します。博士後期課程 英語の筆記試験とこれまでの研究、今後の研究に関する口述試験によって合格・不合格を判定します。 詳細は下記の間合先までご連絡下さい。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>今日、地球規模での環境との調和に配慮した技術体系の確立、また日本をはじめとした先進諸国では高齢化社会を迎え食や医療に関する知識および技術基盤の整備が強く望まれています。特に、環境との調和と省資源・省エネルギーを基本とした化学プロセスの開発、高機能材料、エレクトロニクスやバイオテクノロジーの分野に於ける技術革新、新エネルギーの開発、食品の機能性の探索、生活習慣病の予防などは重要な課題であり、いずれも応用化学、バイオサイエンスが取り組むべき対象でもあります。</p> <p>本専攻では、このような社会的要請に応えるべく、諸分野にわたる幅広い基礎知識と応用力を養うことで、将来、有能な化学技術者、バイオ技術者、食と健康のスペシャリストとして活躍でき、しかも創造力と広い視野を合わせ持つ人材の輩出を目指しています。</p> <p>本学では、平成18年度から応用バイオ科学科を、平成22年度からは栄養生命科学科（管理栄養士養成課程）を開設し、化学およびバイオサイエンスを基盤とする教育と研究の充実に努めてきました。平成21年度から本専攻は2コース制（「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」）に再編し、カリキュラムの改訂、充実を行いました。</p> <p>「応用化学コース」は、主に応用化学科で応用化学に関する工学教育を受けてきた学生を対象とし、「バイオサイエンスコース」は、主に応用バイオ科学科と栄養生命科学科でバイオサイエンスや食品科学に関する教育を受けてきた学生を対象としています。これらの学科を基礎とした専攻として高度な専門教育と研究指導を実施できるように、カリキュラム面を整備してきています。</p> <p>博士前期課程の授業科目は「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」に大きく分け、自分の学びたい専門分野とこれまでの学習内容を踏まえて履修科目を選択できるように配慮しました。それぞれのコースには、必修科目としてPBL系科目である「総合プロジェクト」、選択必修科目として「特別研究」と「長期インターンシップ」を置いてあります。また、大学院生が学ぶ上で専門の基礎となる科目と応用科目を分けて配置し、さらに特定の分野の最先端を学ぶことのできる科目を配置しました。このため、両コースの科目を一定の条件の下で互換して履修できるように配慮してあります。</p> <p>博士後期課程も同様に「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」に大きく分け、単位制を採用するとともに、研究指導科目として「特別研究（博士論文）」を置いてあります。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>特別に設けておりませんので、詳細は下記の間合先までご連絡下さい。</p>
<p>■間合先</p>	<p>お問い合わせのフォームがホームページにありますので、それをご利用下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.kait.jp/ug_gr/postgraduate/ または専攻主任、局俊明の下記メールアドレス宛に直接お問い合わせ下さい。 Email : tsubone@bio.kanagawa-it.ac.jp（@を半角に修正してお使い下さい。） 神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻</p>

神奈川県立大学大学院 理学研究科 化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程 30名。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学における専門分野の基礎学力を有する人。 2. 理学部化学科の専門科目のうち無機・分析化学、有機化学、物理化学の3分野の基礎を修得している人。 3. 化学の専門分野の原理を解明し、基礎的あるいは応用的研究を推進する意欲をもっている人。 4. 英語で書かれた化学教科書が理解できる程度の英語能力のある人。 <p>博士後期課程 3名。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学における専門分野の確かな学力を有する人。 2. 化学の専門知識を教育・研究・開発に役立たせることに強い意欲を持ち、将来は化学分野での指導的立場を志す人。 3. 新たな問題を発掘して、それを解決する意欲をもっている人。 4. 英語で書かれた専門分野の学術論文が読める程度の英語読解力を有し、論文を執筆できる程度の英語作文力を修得する意欲のある人
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>博士前期・後期課程</p> <p>2013年秋季入試(2014年入学者のための)出願期間 7月1日(月)～7月5日(金)(消印有効)。試験日 8月22日(木) [筆記]、8月23日(金) [口述]。合格発表 8月28日(水)。</p> <p>2014年春季入試(2014年入学者のための)出願期間 2014年1月27日(月)～1月31日(金)(消印有効)。試験日 3月10日(月) [筆記]、3月11日(火) [口述]。合格発表 3月14日(金)。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 理学部化学科の専門科目のうち無機・分析化学、有機化学、物理化学の3分野の基礎を修得しているか、また英語で書かれた化学の教科書が理解できる程度の英語能力を持っているか、を問う。筆記試験 無機・分析、有機、物理化学の3分野から出題される化学、および化学に関する英語。口述試験 志望動機および卒業研究の内容を中心に行う。</p> <p>博士後期課程 筆記試験 英語。英語で書かれた専門分野の学術論文が読める程度の英語読解力を有するかを問う。口述試験 修士論文および志望研究領域を中心に行う。また論文を執筆できる程度の英語作文力を修得する意欲があるかを問う。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>研究室と研究主題は以下の通り：</p> <p>天野 力研究室（クラスターとナノ粒子の構造と性質）、上村大輔研究室（海洋天然物化学、医薬品リードの探索・開発）、加部義夫研究室（有機ケイ素化学、フラーレン化学）、川本達也研究室（酸化還元活性な金属錯体の合成、水の光分解のための錯体触媒の開発、酵素類似機能を有する金属錯体の開発）、木原伸浩研究室（官能基相互作用を利用した分子システム・分子触媒、有機合成反応の開発、酸化分解性高分子材料の開発）、菅原 正研究室（分子でつくる回路、ベシクル型人工細胞）、西本右子研究室（生活と環境を視野に入れた水、空気、出土土壌などの分析化学の研究）、野宮健司研究室（第4族元素含有ポリ酸塩の合成と触媒設計、貴金属錯体の合成と抗菌作用および構造活性相関、ポリ酸アニオンと貴金属クラスターカチオンによるクラスター間化合物の形成と分子構造および結晶構造）、平田善則研究室（芳香族化合物の溶液中の光物理過程、光化学初期過程、液体のダイナミクス、相転移と形態発生）、堀 久男研究室（環境有害・負荷物質の分解・無害化、再資源化反応の開発）、松原世明研究室（実在反応系の理論設計、ONIOM分子動力学法・新規分子理論の開発と応用）、山口和夫研究室（ホスト・ゲスト複合体の合成と構造解析、感光性分子集合体の開発、感光性表面修飾剤の開発）</p>
<p>■入試ガイダンスの開催</p>	<p>2013年4月5日(金) 10:30～11:30 湘南ひらつかキャンパス6号館304教室にて開催。</p>
<p>■問合先</p>	<p>野宮健司 (〒259-1293 平塚市土屋2946 神奈川県立大学理学部化学科、Tel 0463-59-4111、E-mail nomiya@kanagawa-u.ac.jp)</p>

東京工芸大学大学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度（平成25年度秋季入学を含む） 東京工芸大学大学院工学研究科工業化学専攻 博士前期課程大学院生募集 （社会人選抜を含む） 東京工芸大学大学院工学研究科工業化学専攻 博士後期課程大学院生募集 （社会人選抜を含む）</p>
<p>■願書受付期間</p>	<p>I期入試（社会人特別入学試験を含む）平成25年9月6日～9月13日 II期入試（社会人特別入学試験を含む）平成26年1月24日～1月31日</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程大学院生（募集定員20名） I期入試 平成25年9月28日、II期入試 平成26年2月15日 一般：筆記試験（英語・専門科目）・口述試験 社会人特別入学試験：口述試験 博士後期課程大学院生（募集定員2名） I期入試 平成25年9月28日、II期入試 平成26年2月15日 一般：筆記試験（英語）・口述試験 社会人特別入学試験：口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>http://www.t-kougei.ac.jp/graduate/engineering/ http://www.lssc.t-kougei.ac.jp/</p> <p>■世界水準の研究環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノ科学研究センターを拠点にグリーンナノテクノロジーを展開 ・国内外での共同研究（中国、ベトナム、タイ、ドイツ、USA等） <p>■材料化学を中心とした基礎研究重視</p> <p>■小規模大学院ならではの恵まれた研究環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い研究スペース/人 ・1教員2名までの少人数できめこまかな指導 ・恵まれた大型マシン占有時間 ・TA、RAのチャンスが豊富（学部教育（生命環境化学科）との連携） <p>■優れた大規模研究助成の実績（工学研究科4専攻協同）</p> <p>ハイテクリサーチ2件、学術フロンティア4件、21世紀COE、グローバルCOE</p> <p>■環境関連分野を重視した研究を展開するうえで最適な研究環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心に近いながらも自然豊かな落ち着いた環境 ・神奈川県や厚木市（グリーンビジネス研究会等）との連携、地域貢献 ・環境関連資格・化学関連資格取得支援 <p>■研究業績が特に優れていると認定された場合所定の年限未満学位取得可能（博士後期課程で実績あり）</p> <p>■工学研究科と芸術学研究科からなる組織ならではのユニークな研究環境</p> <p>■工業化学のコア科目に加えて特徴あるカリキュラム</p> <p>サイエンスコミュニケーター養成講座（国立科学博物館と連携） 国際コミュニケーションリテラシー</p> <p>■中学校教諭専修（理科）高等学校教諭専修（理科）免許取得課程認定大学院</p> <p>■国際学会・シンポジウム参加費用支援制度（東京工芸大学後援会）</p>
<p>■入試ガイダンス</p>	<p>特に予定なし 施設等見学希望歓迎（随時受け付け、共同研究、技術相談も可） 入試課または生命環境化学科事務室にお問い合わせください。</p>
<p>■問合先</p> 	<p>〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京工芸大学入試課（工学研究科担当） E-mail：admission.atsugi@office.t-kougei.ac.jp 電話（046）242-9520（直）FAX（046）242-3000 ・東京工芸大学工学部生命環境化学科事務室 E-mail：chemjimu@chem.t-kougei.ac.jp 電話（046）242-9513 FAX（046）242-3000

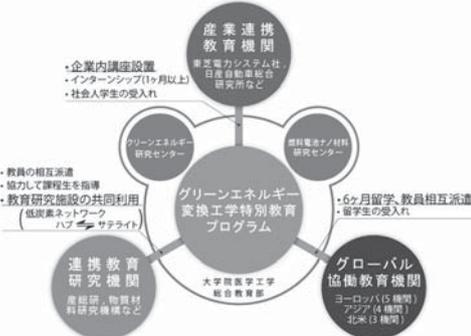
横浜国立大学 大学院工学府 機能発現工学専攻 先端物質化学コース

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度（平成25年度10月入学含む） 横浜国立大学 大学院工学府 機能発現工学専攻 先端物質化学コース 博士課程前期：一般（特別選抜・筆記）、社会人特別選抜、外国人留学生 博士課程後期：一般、社会人特別選抜、外国人留学生</p>
<p>■出願期間（予定）</p>	<p>■博士課程前期・後期（一般・社会人特別選抜・外国人留学生） 平成25年6月17日(月)～20日(木)（予定） ・募集要項および問合せ先ホームページから最新情報を必ずご確認ください。 ・あらかじめ志望先教員とよく相談した上で、願書を提出してください。 ・社会人特別選抜では、出願前に出願資格認定（申請期間（予定）：平成25年5月20日(月)～22日(水)）を受ける必要がありますので、志望先教員と相談の上、資格認定の申請を行ってください。</p>
<p>■試験内容（予定）</p>	<p>■博士課程前期 一般（特別選抜）：<u>平成25年7月16日(火)～17日(水)（予定）</u> 口述試験 一般（筆記）・外国人留学生：<u>平成25年8月20日(火)～22日(木)（予定）</u> 外国語（英語）^{※1}・学科試験Ⅰ・学科試験Ⅱ・日本語^{※2}・面接 社会人特別選抜：<u>平成25年8月20日(火)～22日(木)（予定）</u> 面接 ※1 筆記試験は実施せず、TOEICまたはTOEFLのスコアに基づいて評価します。 ※2 外国人留学生のみ実施 ■博士課程後期 一般・外国人留学生：<u>平成25年8月20日(火)～22日(木)（予定）</u> 英語^{※1}・学科試験・日本語^{※2}・口述試験 社会人特別選抜：<u>平成25年8月20日(火)～22日(木)（予定）</u> 面接 ※1 筆記試験は実施せず、TOEICまたはTOEFLのスコアに基づいて評価します。 ※2 外国人留学生のみ実施 ・募集要項および問合せ先ホームページから最新情報を必ずご確認ください。 ・第2次学生募集を行う場合は、平成25年11月頃に募集要項を発表します。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>YNU 横浜国立大学 <small>YOKOHAMA National University</small></p> </div> </div> 	<p>■先端物質化学コースでは他大学・他分野からの学生を広く募集しています。 ■先端物質化学コースでは、生体関連物質を含む広範な物質の分子・材料設計を行い、その合成方法を確立し、さらにその機能解析を行うことにより、健康で快適かつ持続可能社会を支える先端物質化学に関する体系的な教育を行っています。 分野のキーワード：合成有機化学、高分子化学、有機材料化学、有機金属化学、物理有機化学、生体物質構造学、光化学、触媒化学、固体化学、固体物性、電気化学、量子化学、表面処理工学、大気化学、分析化学・アストロバイオロジー、理論計算シミュレーション 教員紹介：http://gakufu.eng.ynu.ac.jp/staff/dep1/index.html ※各教員の詳細な研究内容については、当コースの教員が兼担している「理工学部 化学・生命系学科 化学教育プログラム」の教員紹介ページをご覧ください。 http://chem.ynu.ac.jp/laboratory.php ■先端物質化学コースでは、研究能力・開発能力の育成を主眼としたTEDプログラムと、基礎知識を総合し応用技術を構築する能力の育成を主眼としたPEDプログラムの2つの教育プログラムを施行しています（詳細は志望先教員または入試委員にお問い合わせください）。</p>
<p>■相談窓口</p>	<p>志望先教員に随時ご相談ください。全般的なご相談は、問合せ先ホームページに記載の入試委員にご連絡ください。事務的なご相談は、問合せ先に記載の大学院係にご連絡ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号 横浜国立大学大学院工学研究院等大学院係 TEL 045-339-3817, 3818 FAX 045-339-3829 http://gakufu.eng.ynu.ac.jp/exam/exam/index.html</p>

横浜市立大学大学院（生命医科学研究科・生命ナノシステム科学研究科）

<p>■募集学生</p>	<p>■生命医科学研究科 生命医科学専攻 博士前期課程40名 博士後期課程20名</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 物質システム科学専攻30名 生命環境システム科学専攻30名</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科 博士後期課程 物質システム科学専攻10名 生命環境システム科学専攻10名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■生命医科学研究科博士前期課程 一期募集 平成25年6月19日(水)～平成25年6月25日(火) 二期募集 平成25年9月13日(金)～平成25年9月19日(木) 三期募集 平成25年11月11日(月)～平成25年11月15日(金)</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科博士前期課程 一期募集 平成25年7月中旬頃 二期募集 平成25年11月上旬頃 決まり次第、大学ホームページに掲載します。 http://www.yokohama-cu.ac.jp/ ※博士後期課程は両研究科ともホームページでご確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■生命医科学研究科博士前期課程 一期募集 平成25年7月8日(月) 書類審査、筆記試験（英語）、面接試験 二期募集 平成25年10月1日(火) 書類審査、筆記試験（英語）、面接試験 三期募集 平成25年11月26日(火) 書類審査、面接試験</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科博士前期課程 決まり次第、大学ホームページに掲載します。 ※博士後期課程は両研究科ともホームページでご確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>■生命ナノシステム科学研究科《物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻》 生命ナノシステム科学研究科は、「生命・物質機能を中心とした自然現象を分子・原子を基盤としたシステムとして解明する」ことを目標とします。 《物質システム科学専攻【金沢八景キャンパス】》 電子・原子・分子レベルのナノスケールシステムにおける物質科学を展開し、生命を構築する複雑な高分子物質の構築原理の解明を目指す。 《生命環境システム科学専攻【金沢八景キャンパス・舞岡キャンパス】》 生物が外環境に適応して生命活動を営むシステムや、生命の内環境の恒常性を維持するシステム、また生命が自らの発生プログラムに基づいて生命体を形成する発生システムの分子基盤を解明する。</p> <p>■生命医科学研究科《生命医科学専攻》【鶴見キャンパス】 生命医科学研究科は生命科学と医科学の融合により総合的かつ戦略的展望のもとに系統的に研究を展開し、それを基盤とした先端的かつ実践的な教育体制によって、21世紀に求められる生命医科学研究のエキスパートの養成を目指します。また、理化学研究所と産業技術総合研究所との連携により教育・研究を行います。</p>
<p>■大学院入試説明会の開催</p>	<p>■生命医科学研究科：6月、9月、11月に鶴見キャンパスで開催予定 ■生命ナノシステム科学研究科：5月、10月に金沢八景キャンパスで開催予定</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>■生命医科学研究科《生命医科学専攻》 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29 横浜市立大学学務・教務課鶴見キャンパス担当入試担当 TEL 045-508-7201 FAX 045-505-3531 http://www.mls.tsurumi.yokohama-cu.ac.jp/</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科《物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻》 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学アドミッションズセンター大学院担当 TEL 045-787-2054 FAX 045-787-2057 http://www.yokohama-cu.ac.jp/</p>

山梨大学大学院グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム

<p>■募集学生</p>	<p>山梨大学大学院グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム 修士・博士課程 平成26年4月入学（10月入学も可能）</p>
<p>■試験日／出願期間</p>	<p>・修士課程前期：試験日 H25. 7. 6(土) / 出願期間 H25. 6.10～ 6.14 ・修士課程後期： H25.11.30(土) / H25.11.11～11.15 ・博士課程前期： H25. 7.13(土) / H25. 6.24～ 6.28 ・博士課程後期： H26. 2. 1(土) / H26. 1. 6～ 1.10</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者の選抜にあたっては、筆記試験（基礎及び専門科目、外国語）、口述試験等を実施します。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>「電力とその貯蔵媒体としての水素を如何に“低炭素”に作り安定供給するか？」グリーンエネルギー変換・貯蔵は人類が直面している最も大きな課題の一つです。本プログラムではこの課題解決のために種々のエネルギー変換のベストミックスを実現しグローバルに活躍できるリーダーを、産官学が理念を共有した教育体制により育成します。</p>	<p><u>グローバルに活躍するリーダーを養成するための体制</u></p> <p>世界トップクラスの教育研究拠点であるクリーンエネルギー研究センター、燃料電池ナノ材料研究センターをはじめとした本学の多彩な教員と、連携教育研究機関（産業技術総合研究所、物質・材料研究機構など）、産業連携教育機関（東芝電力システム社、日産自動車など）、グローバル協働教育機関の教員が一体となって、専門性・実践性・国際性の質を保証する博士課程教育を行っています。世界的に卓越した実績を持つ12機関（北米3、欧州5、アジア4）と連携した国際的ネットワークが形成されています。グローバルに活躍するリーダー養成のために、連携機関教員による相互協働教育、国際サマーセミナー、連携機関への留学やインターンシップの単位化などの取り組みも実施しています。</p> <p><u>カリキュラムの特色と学修研究環境</u></p> <p>本学と連携教育機関から約50名の教員が参加し、教員一人当たりの学生数約1.5人のきめ細かな少人数教育を行っています。また優秀な外国人留学生や社会人学生を積極的に受け入れています。グローバル協働教育機関にはサテライトオフィスや、産業連携教育機関には“企業内講座”を設置しています。本プログラムの学生と教員全員が参加する月例研究発表会、自由に集う「カフェ」の設置の他、インターンシップ・海外留学などの全額補助、優秀学生への奨励金支給などの経済的支援も充実しています。</p> <p>学生は入学時に「燃料電池分野」、「太陽エネルギー分野」、「エネルギー変換材料分野」、「新エネルギー工学分野」の4分野から主専門分野と副専門分野を選定し、複数分野の教員によるきめ細かな指導を受けます。前期1年次には基礎科目群により基礎学力を充実させ、多彩な応用科目群および外国人教員による対話形式英語教育を行っています。後期課程からは他機関、異分野の教員や学生等と討論する“他流試合”により広い見識と討論能力を育成します。</p> <p><u>修了生のキャリアパスの確立</u></p> <p>本学のこれまでの共同研究、連携教育、研究指導などにより、国内外の産業界、大学、研究所との間にすでに太いパイプが形成されています。修了生は国内外の自動車、電機、エネルギー供給、化学材料メーカー、電子機器・分析機器メーカーのほか、公的研究・教育機関、官公庁などでの活躍が期待されます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>施設見学歓迎します。入試相談含め下記までご連絡ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p><本プログラムホームページ> http://green.yamanashi.ac.jp/ <問合せ先>グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム事務局 TEL：055-220-8621、FAX：055-220-8621 本プログラムの内容と入試に関する情報は山梨大学公式サイト内の入試情報にて随時更新を行い掲載します（昨年度までの入試問題も含む）。 <山梨大学公式サイト／入試情報> http://www.yamanashi.ac.jp/modules/admission_top/</p>

信州大学大学院理工学系研究科物質基礎科学専攻（化学）

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■1次第Ⅰ期入試（修士課程4月入学）：試験は6月下旬の予定 ■1次第Ⅱ期入試（修士課程4月入学）：試験は10月中旬から下旬の予定 ■2次入試（修士課程4月入学）：試験は1月中旬の予定</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■1次第Ⅰ期入試（修士課程4月入学）：口述試験 ■1次第Ⅱ期入試（修士課程4月入学）：筆記試験は専門科目（分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、各1題出題で全問解答、計算機貸与）と英語（辞書貸与）、口述試験 ■2次入試（修士課程4月入学）：筆記試験は専門科目（分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、各1題出題で全問解答、計算機貸与）と英語（辞書貸与）、口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>物質基礎科学専攻（化学）には、分析、無機、有機、物理化学の4つの研究室があり、教育と研究を行っています。特に実験を重視し、実験データをもとに指導教員と親密な議論を行いながら研究を進めています。分析では電気分析化学に、超音波、電気化学発光、液液界面、レーザーを用いて新しい電気分析法の開発を行い、高感度・高選択性の分析法を目指しています。無機では、中性子捕捉療法に有効な腫瘍集積性ホウ素化合物の合成と性質の研究、イオン交換樹脂による同位体の分離・濃縮の研究、X線回折・核磁気共鳴による結晶構造と分子運動に関する研究、生体親和性無機化合物の合成と性質の研究を行っています。有機では、分子、イオン種の認識やエレクトロクロミズム等、新たな機能性の発現をもくろみ、新規酸化還元系有機化合物、新奇π電子系化合物、特異的に安定化された有機イオン種等の合成研究を行なっています。化合物の設計には化学計算の手法を駆使し、化合物の合成では効率的な方法を検討し、合成した化合物は構造化学的・分光学的な諸性質を明らかにします。物理化学ではコロイド化学を中心として「強磁場化学」と「微小空間」の2つのキーワードにより研究を展開しています。磁場は高い物質透過性を持つ、クリーンなエネルギーです。これを用いて、磁場中での特異なコロイド現象の発見と解明や新規機能性物質の創生を行っています。また、X線回折を用いた新規測定法を開発し、微小空間や固体界面での分子現象の解明にも取り組んでいます。教員一同、当専攻での教育や研究を盛り上げるために努力しています。信州の自然に囲まれた当専攻での教育や研究は、君の人生においても素晴らしい経験となることでしょう。なお、当専攻修了後に引き続き博士後期課程（総合工学系研究科物質創成科学専攻）にて研究を行うこともできます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>特になし。必要があれば問合先に問い合わせして下さい。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学理学部内信州大学大学院理工学系研究科入試事務室 TEL 0263-37-3320、http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/master/</p>

信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻

■募集学生	■修士課程 （大学学部卒・専修専門課程修了もしくは見込みであること）
■出願締切	<p>■平成26年度（4月入学）：6月中旬（予定） ・一般選抜</p> <p>■平成25年度（10月入学）：6月中旬（予定） ・一般選抜 ・外国人留学生特別選抜</p> <p>■平成26年度（4月入学）：12月上旬（予定） ・一般選抜（2次募集） ・外国人留学生特別選抜 ・社会人特別選抜</p> <p>■平成26年度（4月入学）：12月上旬（予定） ・学部3年次を対象とする特別選抜</p> <p>締切日時は正式に決定次第、大学ホームページに掲載されます。また、募集要項をご確認ください。</p>
■試験内容	<p>【一般選抜4月入学（7月）】 専門科目の筆記試験、英語、面接、出願書類を総合的に評価して判定。英語はTOEICあるいはTOEFLの点数により評価</p> <p>【一般選抜10月入学（7月）】 専門科目の筆記試験、英語、面接、出願書類を総合的に評価して判定。英語は口述試問により評価</p> <p>【特別選抜4月入学（1月）、10月入学（7月）】 詳細は、募集要項をご覧ください。</p>
■インフォメーション	<p>現代の豊かな社会生活は“物質”を巧みに利用することで成り立っています。生活の中で使っているモノのほとんどは自然界から得た原料を変換・加工して作られており、その過程にはさまざまな形で“化学”が活かされています。例えば、テレビやパソコン、様々な電子機器の液晶ディスプレイは、色を出す液晶分子、きれいに映すためのフィルム、電気を通す透明電極、さらにはバックライトなど、化学反応、化学プロセスを経て作られた多くの“物質”や“材料”を使って作られています。また、携帯電話などの精密電子機器の製造にも“化学”は欠くことができません。</p> <p>本専攻では、新機能を持つ高付加価値物質及び新素材としての化合物の新規開発、材料の複合化、評価・解析等に関わる研究教育を通じて、現代の先端物質・材料技術のレベルに対応できる専門知識と共に柔軟な発想と応用力を持つ高度技術者及び研究者の育成を目的としています。また、同時に、化学物質が関わる様々な問題（環境問題、エネルギー問題など）を解決し、持続可能な社会をめざして物質と社会・環境との調和を考えることができる技術者及び研究者の育成を目指しています。</p> <p>本専攻は、一般コース、食品科学コースからなっており、学生はいずれかのコースに所属します。いずれのコースでも、指導教員の研究室に所属して、修士論文作成のための研究を行います。一般コースでは、無機材料化学、機器分析化学、有機合成化学、生物化学、集合体化学、触媒化学、高分子化学、電気化学、分子化学工学、材料表面工学など、幅広い分野を学ぶことができます。食品科学コースでは、食品バイオテクノロジー、応用食品プロセス工学、食品科学などを学ぶことができます。教室での授業に加え、セミナーやインターンシップへ参加して、実践的な知識を得る機会があります。また、地域産業の発展に貢献するため、地域の自治体や企業と連携して研究を進めています。</p>
■大学院入試ガイダンスの開催	入試ガイダンスは実施しておりません。指導を希望する教員に直接お問い合わせいただくか、下記にお問い合わせください。本専攻の教員、研究内容、入試に関する情報は、専攻ホームページをご覧ください。
■問合せ先	<p>〒380-8553 長野市若里4-17-1 信州大学工学部大学院入試事務室 電話 026-269-5056 E-mail : innyushi@shinshu-u.ac.jp http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/master.html</p>

新潟大学大学院自然科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度（平成25年度10月入学含む） 新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース 博士前期（修士）課程 一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試 博士後期（博士）課程 一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p> <p>募集要項は5月下旬発行予定ですが、自然科学研究科ホームページでも同時に公開します。要項はホームページから請求できます。</p>	<p>○博士前期（修士）課程 第1次募集 平成25年6月下旬予定 第2次募集 平成26年1月中旬予定</p> <p>○博士後期（博士）課程 第1次募集 平成25年7月下旬予定 第2次募集 平成26年1月初旬予定</p> <p>博士後期課程では第3次および第4次募集を行う場合もあります。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○博士前期（修士）課程 筆記試験および面接：第1次募集8月中旬予定、第2次募集2月中旬予定 専門科目（化学）、外国語（英語） ただし、外国語（英語）の筆記試験は実施せず、TOEICまたはTOEFLのスコアに基づいて評価します。 第1次募集には筆記試験を免除する口述試験の制度もあります。 （内容については募集要項および自然科学研究科ホームページを確認してください）</p> <p>○博士後期（博士）課程 口述試験：第1次募集8月下旬予定、第2次募集1月下旬予定 （社会人特別入試の実施日は募集要項を確認してください）</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>化学コースでは、『自立と創生』の全学理念に基づく最先端の理学研究と少人数制による高度な化学教育を行っており、他大学、他分野からの学生を広く募集しています。</p> <p>○化学コースの概要 化学コースには、分析化学、核・放射化学、溶液化学、物理化学、量子化学、有機化学、生化学の研究室があり、多彩な研究が行なわれています。原子核から無機物質、有機物質、生体高分子におよぶ様々な物質の化学的性質、構造や反応を原子・分子レベルから解明する研究を通して、指導的立場で活躍できる人材の育成と新しい物質科学を切り開くことを目指しています。微量金属イオンの溶液内反応と構造に基づく分離・濃縮定量法の開発、熔融塩・イオン液体や液体金属などの構造と物性の解明、超重元素の核的・化学的性質の解明、スピン操作による光反応制御、新規な光機能物質の創出と機構解明、有機化合物の構造と反応機構に基づく新合成法開発と機能物質創製、ゲノム情報を利用した生体高分子の機能解析と生体組織の高次機能解明について高度な教育研究を行います。</p> <p>○特色ある制度 自然科学研究科では海外の大学との連携を深めるグローバル人材育成を進めています。これにより、海外からの留学生の受け入れとともに、海外の大学との交流や共同研究への発展を目指しています。また、海外での学位取得（ダブルディグリー）も視野に入れています。また、化学コースでは、グリーンケミストリー連携教育研究センターを中心に、持続可能な社会形成のための化学教育も行い、幅広い知識を備えた化学の専門家の育成に努力しています。その他に、博士後期課程には研究費、論文投稿や国際会議での発表を支援する制度があります。</p> <p>○化学コースの教育研究は理学部化学科教員が担当しています。 理学部化学科ホームページhttp://chem.sc.niigata-u.ac.jp/</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学大学院自然科学研究科学務係 TEL (025) 262-7387 自然科学研究科ホームページ http://www.gs.niigata-u.ac.jp/</p>

長岡技術科学大学大学院工学研究科 材料開発工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程</p> <p>(1) 大学を卒業した者及び3月（9月入学にあつては8月）までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学評価・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び3月（9月入学にあつては8月）までに授与される見込みの者</p> <p>(3) 本学大学院の個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び3月31日（9月入学にあつては8月31日）までに22歳に達する者（高等専門学校専攻科修了者（学士の学位取得者は除く）又は3月までに修了見込の者）</p> <p>■博士後期課程</p> <p>材料開発工学専攻の修了者は、博士専攻（材料工学、エネルギー・環境工学）への進学ができます。また修士―博士一貫コース（異分野チーム編成融合型グローバルリーダー養成コース、環太平洋グローバル人材養成コース）があり、持続型社会を支え、牽引できるグローバル社会に即応した実践型博士の養成を目指しています。</p> <p>(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び3月（9月入学にあつては8月）までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者</p> <p>(2) 本学大学院の個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び3月31日（9月入学にあつては8月31日）において、24歳に達する者</p>
<p>■入試日程</p>	<p>■修士課程</p> <p>9月入学 ・一般・社会人・外国人入試 募集：平成25年5月28～31日 試験：平成25年6月20日</p> <p>4月入学 ・高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試 募集：平成25年6月3～6日 試験：平成25年7月2日</p> <p>・一般・社会人・外国人入試 (1次募集) 募集：平成25年6月3～6日 試験：平成25年7月1日 (2次募集) 募集：平成26年1月20～23日 試験：平成26年2月3日</p> <p>一貫コースへの参加は材料開発工学専攻1年次4月頃に募集を行なっています。</p> <p>■博士後期課程</p> <p>9月入学 ・一般（外国人含む）・社会人入試 募集：平成25年5月28～31日 試験：平成25年6月20～21日</p> <p>4月入学 ・一般（外国人含む）・社会人入試 (1次募集) 募集：平成25年8月15～20日 試験：平成25年9月18～19日 (2次募集) 募集：平成26年1月20～23日 試験：平成26年2月3～4日</p> <p>一貫コースでは修士・博士の研究計画のプレゼンテーションにより参加可否が決められます。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程</p> <p>・高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試 面接及び提出された書類の各結果を総合して行います。面接は個人面接です。</p> <p>・一般・社会人・外国人入試 口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。</p> <p>■博士後期課程</p> <p>・一般（外国人含む）・社会人入試 学力試験及び提出された書類の各結果を総合して行います。ただし、海外在住者においては、本学大学院の判断により、本学試験場での試験を免除する事があります。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology</p>	<p>本学大学院では、活力（Vitality）、独創力（Originality）及び世のための奉仕（Services）を重んじるVOSの精神をモットーとして、実践的・創造的能力を備え国際的に通用する指導的技術者・研究者を養成することを目的としています。</p> <p>材料開発工学専攻では、物質・材料に係わる知識の徹底的習得とエンジニアデザイン能力の育成と共に、研究プロジェクトへの参画による創造的研究の遂行、研究成果を強い印象で伝えるプレゼンテーション能力の養成等の項目に重点を置いたVOS教育を行います。これにより、産業の主役となる最先端材料を自ら開発できる実践的能力と、国際的に活躍できる指導的能力を備えた技術者・研究者を輩出し、社会の持続的発展に貢献できる挑戦的な人材の育成を目指しています。</p> <p>材料開発工学専攻は、材料解析工学大講座、無機材料工学大講座、有機材料工学大講座、および分子設計工学大講座の4つの大講座で構成されており、それらの中に現在19の研究室が開設されています。入学した院生は、各自希望する何れかの研究室に所属し、指導教員の研究指導を受け特別実験を直ちに開始します。そして、研究室ごと又は専門の近い複数の研究室で合同して実施されるセミナーの他に、共通科目（修士課程のみ）と専攻科目を履修します。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1 長岡技術科学大学 入学試験第1係 TEL：0258-47-9271/9273 FAX：0258-47-9070 http://www.nagaokaut.ac.jp/</p>

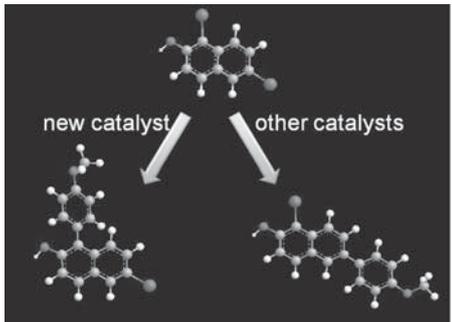
富山大学大学院理工学教育部（理学領域）化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年度（平成25年度10月入学を含む） 富山大学大学院理工学教育部（理学領域）化学専攻修士課程大学院生</p>
<p>■出願期間</p>	<p>GPA 特別入試については平成25年6月中旬予定。 一般入試（H25年10月、H26年4月入学）については平成25年7月下旬予定。 詳細は、GPA 特別入試については5月末までに、一般選抜については6月末までにHP（http://www.sci.u-toyama.ac.jp/ex/index.html）において公開します。 ※詳細日程は学生募集要項（5月・6月発行）をお取り寄せの上ご確認願います。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>GPA 特別入試 口述試験のみ、ただし、以下の式で定義される院試GPAが2.5以上であること。 $\text{院試GPA} = \frac{(\text{秀あるいは優の総単位数}) \times 3 + (\text{良の総単位数}) \times 2 + (\text{可の総単位数})}{\text{修得単位数}}$ 一般入試 筆記試験（専門科目、英語）、口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>富山大学</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>富山大学五福キャンパスユリノキ通り</p> </div>	<p>理工学教育部は、自然界の未知なる仕組みの解明や、その仕組みを応用する独創的な研究に取り組むとともに、研究をバックボーンとした教育を行うことによって、これまで幾多の人材を社会に輩出しています。修士課程では、学部教育を土台とした幅広い基盤を持つ学生を受け入れ、研究活動を通じた教育により、知識と技術を生かし社会で活躍する人材育成を目指します。少人数教育により、きめ細やかな教育や研究指導を行っています。研究棟の増築、改修により、教育研究環境も大変良くなっています。さらに、研究者として社会への貢献を志す学生は、博士課程へ進学することもできます。</p> <p>化学専攻には大きく分けて、反応物性化学、合成有機化学、水素同位体科学の3つのグループがあり、合わせて7つの研究分野から構成されています。</p> <p>反応物性化学：反応物性化学の主題は、物質を原子分子の集合体として巨視的に理解することや、個々の微視的振る舞いを理解することです。光化学分野では、有機化合物や遷移金属錯体の光励起状態の性質や光電子移動などの素反応について、レーザー分光法と量子化学計算を用いた基礎的研究を行っています。物理化学分野では、分子レベルの視点と速度論的手法を用いて、触媒の活性発現機構の解明と新規触媒の開発を行っています。無機分析化学分野では、遷移金属化合物の構造や性質を、錯体化学的および分析化学的手法により研究しています。特に、生体内金属の機能や構造の解明につながる基礎的研究に重点を置いています。錯体化学分野では、発光性や外部応答性など、機能性を示す新規錯体の合成と物性解析を行っています。</p> <p>合成有機化学：大半の有機分子の立体構造および個々の物理化学的性質は、炭素・炭素結合に関するσおよびπ結合様式の組合わせに基づいています。有機化学及び天然物化学分野では、実験的および理論的指針を検討・考察しながらσおよびπ-性炭素・炭素結合形成のための新しい反応および試薬の開発を行い、それらを用いて期待する物性を効率よく発現する分子構造を構築し、より有用な有機化合物を探索するという基礎的かつ合目的合成研究を幅広く行っています。</p> <p>水素同位体科学：次世代の高密度エネルギー源として有望な核融合炉で必須とされているトリチウム安全取扱技術の確立や新しい計測法の開発、また核融合炉材料中の水素同位体挙動の解明などの研究を行っています。さらに、独自に開発した粉体表面修飾法を用いて、燃料電池用電極触媒など新規な機能性粉体材料の開発を行っています。</p> <p>立山連峰を仰ぎ見ることのできる富山大学のキャンパスで皆さんが理学を学んで将来のための力を養われることを切望しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>下記の理学系支援グループにお問い合わせ下さい。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>富山大学理学部 理学系支援グループ 〒930-8555 富山市五福3190番地 電話：076-445-6546 FAX：076-445-6550</p>

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

<p>■募集学生</p>	<p>北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科 平成26年度大学院博士前期及び後期課程学生募集（平成25年度も含む）</p>
<p>■出願メ切（年間予定）</p>	<p>博士前期課程（平成26年4月入学・第1回入試には平成25年10月入学を含む） 【一般選抜】 第1回 平成25年7月9日(火) [当日消印有効。以下同じ] 第2回 平成25年9月24日(火) 第3回 平成26年1月21日(火) ※推薦入学者選抜、飛び入学等の出願メ切、試験内容等については下記のURLにてご確認ください。 http://www.jaist.ac.jp/gakusei/index.html</p> <p>博士後期課程 【一般選抜】 平成25年10月入学 平成25年6月4日(火) [当日消印有効。以下同じ] 平成26年4月入学 平成25年11月12日(火)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 (選抜方法) 入学者の選抜は、筆記試験を課さず、志願者から提出された小論文に基づく質疑応答を中心とする面接を重視した選抜方法です。この面接の結果と学業成績証明書等を総合判定し、合格者を決定します。 (面接方法) 面接時間は30分です。その中で出願時に提出した小論文の内容の口頭発表を行い、それに関する口述試問、キーワード（志願者が関心を有する事項等）を基にした口述試問、基礎的な英語の口述試問（英文を提示し、それについての試問）及び出身専攻分野を考慮した基礎的な専門知識に関する口述試問を行います。</p> <p>博士後期課程 (選抜方法) 入学者の選抜は、次の事項により行います。 ① 学位論文、研究概要等に関する試問及び面接 （必要に応じて筆記試験を課すことがあります） ② 学業成績証明書 ③ TOEFL又はTOEICの成績</p>
<p>■大学について</p> 	<p>国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）は、学部を置くことなく、独自のキャンパスと教育研究組織を持つ我が国最初の国立大学院大学として1990年に創設されました。JAISTは、最高水準の学問的環境を創出し、次代の科学技術創造の指導的役割を担う人材を育成することによって、世界的な高等教育研究機関として文明の発展に貢献することを目指しています。マテリアルサイエンス研究科の教員陣は、物理・化学・バイオの各分野における世界的な研究者で構成されており、相互に協力し合って、研究・教育活動を活発に行っています。一例を挙げれば、教員一人当たりの研究論文数や外部資金獲得額は、日本の大学の中で常にトップを争う位置にあります。</p> <p>JAISTは出身学部・学科を問わず、社会人、留学生などあらゆる分野から意欲ある人材を求めています。一人一人のキャリア目標の実現を支援するために、修学目的に対応した教育プログラム、コースワークを重視した実践的カリキュラム、各種給付型奨学金、研究留学やインターンシップ等の経費補助等の多彩な支援をしています。</p> <p>キャンパスに隣接し、学内の情報環境と直結した学生寄宿舍を低廉な価格(月額12,000円程度から)で用意しています。また、本学向けに特別に設定された安価なカーシェアリングシステムも導入されています。</p>
<p>■大学院説明会の開催</p>	<p>春季、夏季、秋季、冬季と開催しています。詳しい日程については、下記のURLにて随時ご案内しています。 http://www.jaist.ac.jp/gakusei/index.html</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 入学支援課 TEL：0761-51-1966、FAX：0761-51-1025 Email：nyugakuk@jaist.ac.jp http://www.jaist.ac.jp/</p>

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府

<p>■募集学生（予定）</p>	<p>平成26年度 博士前期課程（修士課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●薬科学専攻（推薦、1次、2次） ●食品栄養科学専攻（推薦、1次、2次） ●環境科学専攻（自己推薦、1次、2次） <p>平成26年度 博士課程・博士後期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ●薬学専攻（1次、2次）（4年制博士） ●薬科学専攻（1次、2次） ●薬食生命科学専攻（1次、2次） ●食品栄養科学専攻（1次、2次） ●環境科学専攻（1次、2次） <p>平成25年度秋季（平成25年10月）入学 博士課程・博士後期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ●薬学専攻 ●薬科学専攻 ●薬食生命科学専攻 ●食品栄養科学専攻 ●環境科学専攻
<p>■出願期間</p>	<p>平成26年度入学者用の日程は随時ホームページに掲載予定です。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>試験内容は専攻および募集形態（推薦、1次、2次）によって異なります。ホームページに随時掲載される募集要項でご確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p>  	<p>薬食生命科学総合学府は、「薬」の領域の薬科学専攻と、4年制博士である薬学専攻、「食・環境」の領域の食品栄養科学専攻と環境科学専攻に、薬食生命科学専攻（博士後期課程）を加えた5専攻からなります。</p> <p>薬科学専攻、薬学専攻、そして薬食生命科学専攻の半数の講座・研究室は薬学を基盤としており、静岡薬科大学大学院以来の伝統を背景に、医薬品の創製や化学合成をはじめとする創薬科学や生命科学の分野で社会をリードする研究者・技術者を育成しています。なお、薬学専攻は主に6年制薬学部卒業生を受け入れる医療薬学を中心とした専攻です。食品・栄養・環境科学を基盤とする食品栄養科学専攻、環境科学専攻、そして薬食生命科学専攻の半数の講座・研究室では、人間の生存基盤となる食と環境の観点から健康を統合的に探求し、食品・栄養・環境のエキスパートを育成しています。</p> <p>本学府では化学の教育および研究に力を入れています。有機化学、分析化学、物理化学、生化学など、化学の様々な分野を多面的に学べるとともに、それぞれの専門分野での先端研究に参加することができます。</p> <p>超高齢社会に直面し、メタボリックシンドロームなどの慢性疾患、がん、アルツハイマー病など克服すべき多くの課題があり、健康長寿への社会的要請が強まっています。薬学と栄養学の連携は、健康長寿の実現に必要な不可欠な要素であり、双方の理念と方法論を習得し技術を活用できる人材が求められています。本学府では、高い資質と倫理観を有し問題発見・解決型能力を有する国際的に通用する人材の輩出を目指しています。</p> <p>なお、上記の専攻による分類とは別に、薬食生命科学総合学府には研究組織として「薬学研究院」と「食品栄養環境科学研究院」があります。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学学生部入試室 TEL (054) 264-5007 FAX (054) 264-5199 メールアドレス：nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp 大学ホームページ：http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/ 入試情報：http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate_school/index.html</p>

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 環境・生命工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程 環境・生命工学専攻 平成26年4月入学</p> <p>博士後期課程 環境・生命工学専攻 平成25年10月入学および平成26年4月入学</p>
<p>■入試日程および内容</p>	<p>I. 博士前期課程 環境・生命工学専攻 (平成26年4月入学)</p> <p>① 高等専門学校専攻科修了生特別推薦入試 事前審査出願期間：平成25年5月8日(水)～5月14日(火)</p> <p>② 一般入試(第1次募集)、社会人入試(第1次募集)、高等専門学校専攻科修了生推薦入試 出願期間：平成25年7月23日(火)～7月30日(火) 入試実施日：平成25年8月29日(木)</p> <p>③ 一般入試(第2次募集)、社会人入試(第2次募集)、外国人留学生入試 出願期間：平成25年12月9日(月)～12月13日(金) 入試実施日：平成26年2月12日(水)</p> <p>II-1. 博士後期課程 環境・生命工学専攻 (平成25年10月入学)</p> <p>① 一般入試、社会人入試、外国人留学生渡日前入試 出願期間：平成25年6月24日(月)～6月27日(木) 入試実施日：平成25年7月16日(火) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ]</p> <p>II-2. 博士後期課程 環境・生命工学専攻 (平成26年4月入学)</p> <p>① 一般入試(第1次募集)、社会人入試(第1次募集)、外国人留学生渡日前入試(第1次募集) 出願期間：平成25年8月2日(金)～8月8日(木) 入試実施日：平成25年8月30日(金) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ]</p> <p>② 一般入試(第2次募集)、社会人入試(第2次募集)、外国人留学生渡日前入試(第2次募集) 出願期間：平成26年1月6日(月)～1月10日(金) 入試実施日：平成26年2月3日(月) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ]</p> <p>*入試科目・日時等については、募集要項をご確認下さい。 *「環境・生命工学専攻」は、一般の入試のほか、高専専攻科修了生に対する特別推薦入試、推薦入試を設けています。 *「環境・生命工学専攻」では、長期履修制度を実施して、一般社会人の皆さんの学位と高度専門知識の取得を支援しています。これは、就職している方、育児・介護等の事情がある方など、標準修了年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)での修了が困難な方が、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して修了・学位取得する制度です。この場合の授業料は、標準修業年限分と同額です。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>「環境・生命工学専攻」(大学院博士前期課程)は、平成22年度の大学内の組織再編により、それまであった物質工学専攻とエコロジー工学専攻が母体となって発足しました。環境・生命工学専攻は、環境と生命の双方に密接に関わる科学分野および関連する先端環境技術の教育・研究を行い、自然との共生を基礎にした人類の幸福・発展に貢献できる人材、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。</p> <p>環境・生命工学専攻は「生命・物質工学コース」および「未来環境工学コース」からなり、入学した学生はいずれかのコースに所属します。いずれの教育コースとも、狭い専門にとらわれない幅広い視野と思考能力をもち、国際的に活躍できる指導的技術者を養成します。「生命・物質工学コース」は分子機能化学分野および生命工学分野から構成され、基礎化学、応用化学、生命科学、バイオテクノロジー等に関する基礎・専門科目の修得と実験・研究を通じて、応用化学分野や生命科学分野で活躍できる人材の養成を目指します。「未来環境工学コース」は生態工学分野、先端環境技術分野から構成され、基礎化学、応用化学、化学工学、生態工学、先端エレクトロニクス応用技術等に関する基礎・専門科目の修得と実験・研究を通じて、社会の持続的発展に貢献する環境科学の素養を備えた人材の養成を目指します。本専攻は、化学、化学工学、工業化学、物質工学、生命科学の化学関連分野を学んだ皆さんの能力をさらに発展させるためのカリキュラム、指導体制が整っており、また、学内の他専攻・センター・研究所はもとより国内外の大学・研究機関と連携して研究活動を展開しています。入学後は、直ちに各研究室に所属し、指導教員の指導を受けて特別研究を開始します。研究室ごとに実施する演習を行うとともに、共通科目と専攻科目を履修します。</p> <p>「環境・生命工学専攻」(大学院博士後期課程)は、科学技術をより高度な水準へと発展させてゆくため欠かすことが出来ない、より優れた高性能・高機能な新規物質・材料の開発を推進するために、物質・材料に関連する学内の研究者を従来の学術分野の枠組みを越えて組織されています。こうした物質・材料の設計・合成・解析・応用に関する開発研究・教育を通じて、国際社会で活躍できる人材を養成しています。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学入試課入試係 TEL：0532-44-6581；FAX：0532-44-6582 電子メールアドレス：nyushi@office.tut.ac.jp ホームページアドレス：http://www.tut.ac.jp/</p>

総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学・機能分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学専攻・機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程および博士後期課程（3年次編入学）学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>【5年一貫制博士課程】 ◆平成26年4月入学：平成25年8月30日(金)～9月5日(木)</p> <p>【博士後期課程（3年次編入学）】 ◆平成25年10月入学：平成25年7月26日(金)～8月1日(木) ◆平成26年4月入学：第1回 平成25年7月26日(金)～8月1日(木) 第2回 平成25年11月29日(金)～12月5日(木) 上記はいずれも予定で、正確には下記HPまたは問合せ先に確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【5年一貫制博士課程】 ◆平成26年4月入学 試験日：平成25年9月30日(月)～10月1日(火) ◆選抜方法：書類選考、筆記試験、面接。筆記試験は英語(60分)と専門科目(120分)。英語は、TOEFLまたはTOEICのスコアが要求得点（TOEFL-CBT：173、TOEFL-PBT：500、TOEFL-iBT：61、TOEIC：586）以上の場合、免除。専門科目は、物理化学、有機化学、無機化学、生物化学、物理学A（古典力学、電磁気学）、物理学B（量子力学、熱統計力学）の6科目から2科目を出願時に選択し、その2科目4題のうちから試験時に任意の3題を選択解答。</p> <p>【博士後期課程（3年次編入学）】 ◆平成25年10月入学試験日：平成25年8月26日(月)～8月27日(火) ◆平成26年4月入学試験日：第1回 平成25年8月26日(月)～8月27日(火) 第2回 平成26年1月27日(月)～1月28日(火) ◆選抜方法：書類選考、面接。 面接では、これまでに行った研究及び今後志望する研究の内容を中心に行う。</p> <p>上記はいずれも予定で、正確には下記HPまたは問合せ先に確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p>国立大学法人 総合研究大学院大学 THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="text-align: left;"> <p>大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 Institute for Molecular Science</p> </div> </div> <p>総合研究大学院大学（総研大）は学部をもたない大学院のみの大学です。学部卒から入学する5年一貫制博士課程、修士修了から入学する博士後期課程（3年次編入学）が設けられています。物理科学研究科の構造・機能分子科学専攻の学生は基盤機関の一つである自然科学研究機構・分子科学研究所において、最先端の研究施設を用いた高いレベルの博士研究を進め学位を取得できます。分子科学における世界の最先端研究技術・研究者の交流拠点であるため、幅広い視野や独創性、国際性が身に付きます。また、コース別教育プログラムにおいて、短期海外留学の他、国内の大学・公的研究機関・民間企業へのインターンシップに対する援助、学生主導のセミナー開催など、さまざまなユニークな教育を行っています。</p> <p>構造分子科学及び機能分子科学専攻では全年次の大学院生にRA（リサーチアシスタント）などによる経済的支援(博士後期課程で年額100万円程度)を行っており、また、分子研特別奨学生制度を設けて博士後期課程の優秀な学生に奨学金（RAとあわせて年額250万円程度）を支給しています。</p>	
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>◆オープンキャンパス・分子研シンポジウム：平成25年5月31日(金)～6月1日(土) ◆夏の体験入学：平成25年8月5日(月)～8月8日(木)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部国際研究協力課 大学院係 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地 電話 0564-55-7139 E-mail：r7139@orion.ac.jp http://www.ims.ac.jp/indexj.html</p>

名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻 応用化学分野

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年4月入学および平成25年10月入学 名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻 応用化学分野 博士前期課程（修士課程）募集（留学生入試を含む） および 博士後期課程学生募集（留学生入試を含む）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>願書受付期間 平成25年7月16日(火)～18日(木) ※詳細日程は学生募集要項（5月発行）をお取り寄せの上ご確認願います 名古屋大学大学院工学研究科HPからも確認できます (http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/admission/graduate.html)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【博士前期課程】 平成25年8月27日(火)～8月30日(金) 筆記試験（基礎科目、専門科目）および面接 英語についてはTOEICまたはTOEFLのスコアを提出 基礎科目：基礎物理化学、基礎有機化学、基礎無機化学、基礎分析化学、数学から4科目選択 専門科目：物理化学2問、有機化学2問、無機化学2問、分析化学1問のうち4問選択 過去の試験問題をホームページに掲載しています</p> <p>【博士後期課程】 平成24年8月27日(火)～8月30日(金) 筆記試験（英語、専門科目）および口頭試問 英語についてはTOEICまたはTOEFLのスコア提出により代替可 専門科目：物理化学2問、有機化学2問、無機化学2問、分析化学1問のうち2問選択 口頭試問はこれまでの研究についてのプレゼンテーション</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>IGER NAGOYA UNIVERSITY</p> </div>	<p>◆「幅広い化学分野の専門知識を習得するために必要な基礎学力をもち、新しい化学の探求と化学を通じた社会への貢献に強い意欲をもつ人」を他大学・他分野から広く募集しています。</p> <p>◆当分野は、次世代の化学界を担う研究者を育成することをめざしています。このため、高度な専門知識と関連分野の幅広い知識を習得できるよう、基礎から最先端の教科を組み入れたカリキュラムで教育を行っています。さらに、各研究室では世界の第一線で活躍する教員がマンツーマンによってきめ細かく指導し、実践的研究能力の向上をはかっています。当分野の大学院生の多くのが、在学中に優れた研究成果をあげ、学会や一流学会誌にその成果を発表しています。外国からの学者の訪問や講演も頻繁に行われ、外国人留学生の数も増加しています。充実した研究環境のもと、世界最先端の研究に思う存分に打ち込めます。</p> <p>◆応用化学分野は基幹講座を構成する9つの研究室と物質制御工学専攻、結晶材料工学専攻、エコトピア科学研究所に所属する9つの研究室の計18研究室から構成されています。その研究内容は、機能高分子・機能触媒・機能性有機物質・ファインセラミックス・固体機能物質などの合成や解析、生体分析や環境・エネルギーに関連する化学技術、さらに分子シミュレーションなど多岐にわたっており、化学に関わる幅広い分野を網羅しています。</p> <p>◆本教室では、博士課程教育リーディング大学院プログラムを推進しています。本プログラムにより、優秀な博士後期課程学生に対する教育研究環境の整備や経済的支援を充実させ、次世代を担う国際的なリーダーを育成します。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>説明会を平成25年5月25日(土)に開催します ※詳細は下記URLに確定次第掲載します</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科I系事務室 TEL 052-789-4276 FAX 052-789-3180 http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/</p>

岐阜大学大学院工学研究科応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程応用化学専攻（大学卒業もしくは見込みであること。推薦による出願者は、化学系の学科の出身であること）：平成26年4月入学 博士後期課程物質工学専攻（修士の学位を取得もしくは見込みであること）：平成25年10月もしくは平成26年4月入学</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成25年6月20日(木)・21日(金)（博士前期（推薦）、博士後期（平成25年度秋期入学）） 試験日 7月6日(土) 平成25年7月17日(水)～7月19日(金)（博士前期（一般、社会人、社会人プログラム、外国人留学生1次募集）、博士後期（一般、社会人、外国人留学生1次募集）） 試験日 博士前期 8月28日(水)・29日(木)、博士後期 8月30日(金) 平成25年12月12日(木)・13日(金)（博士前期（一般、飛び入学、社会人、社会人プログラム、外国人留学生2次募集*）、博士後期（一般、社会人、外国人留学生2次募集）） 試験日 博士前期 1月27日(月)・28日(火)、博士後期 1月28日(火) *但し、一般・社会人は1次募集で欠員が出た場合にのみ行う。</p>
<p>■試験内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 博士前期（推薦）：推薦書、成績証明書、志望理由書に基づいて面接（口述試験等を含む）を実施し合否を判定します。推薦要件は出身大学の化学系学科内で原則として上位20%以内の学業成績を有し、かつ大学の学長、学部長、または学科長から推薦を得られる者で、合格した場合は、入学を確約できる者。 2) 博士前期（一般）：英語100点、専門科目300点（物理化学・無機化学・有機化学各100点）の筆記試験によって合格・不合格を判定します。 3) 博士後期：学業成績証明書、修士論文概要又は構想および研究（希望）計画書に基づき、面接（口述試験、プレゼンテーション等を含む）し、合否を判定します。
<p>■インフォメーション</p>	<p>応用化学専攻では、将来の技術革新に対処できるように、分子設計工学、物質変換工学、および物質機能工学の講座を配置し、広く学際領域の教育と研究を行っています。</p> <p>分子設計工学講座では、種々の物質の分子レベル・電子レベルにおける設計（分子デザイン）に始まり、それらを作るための反応の設計（反応デザイン）、これに基づく新しい物質の合成、そしてその性質の検討に至るまで、包括的な研究を手掛けています。軌道理論とコンピュータ計算による分子デザインと反応設計、理論に基づく新しい分子の創製、コロイド粒子の結晶化と機能化、レオロジー、新しい液晶物質や超分子系のデザインとその構造・性質の評価、金属イオンを含むポリマーの性質の検討等、基礎から応用に至る研究・教育を行っています。</p> <p>物質変換工学講座では、分子・物質の形・骨組みを変える新しい学問を創ることを目指しています。資源を循環させ、自然と共生できる社会を築くためには、身の回りの様々な化学物質を自在に効率的に別の物質やエネルギーに変換できる画期的な方法の出現が望まれています。またその技術は、環境と調和できるものでなければなりません。私たちは、特に化学物質に対する元素の特徴を生かした理論の構築とその実践から超効率物質変換法の創製、ならびに化学物質の高効率エネルギー変換法を研究・教育しています。</p> <p>また、物質機能工学講座では、物質や材料を作り上げている分子・錯体の構造を精密にデザインすることによって、これまでにない優れた性質・機能を持つ材料の開発を目指しています。生理活性物質の合成やそれを可能にするための高効率、高選択的な有機反応の開発を手掛けており、またナノメートル（百万分の一ミリメートル）からマイクロメートル（千分の一ミリメートル）サイズの微小空間を精密にデザインすることによって化学反応や物質移動をコントロールし、新しい機能の発現や材料の高機能化、分析の簡易化・迅速化・省資源化を目指し研究・教育を行っています。</p> <p>これらの研究・教育を通じて、遷移金属錯体や液晶・超分子などの集合体物性を利用した電子材料及び新機能性材料、有機金属化合物及びその他の有機化合物を用いる有機機能材料、高機能高分子材料等の開発、生物的な生産技術と環境改善技術の開発、さらにこれら新素材の合成に関する基礎研究と工業化に対して優れた創造力を持つ研究者と高度の技術者の育成を目指しています。</p> <p>学外からの入学を希望する受験者には、推薦入試の制度がありますので、受験を考えている学生諸君は研究・教育の指導を希望する教員に連絡をしてみてください。</p> <p>応用化学専攻に所属の教員は、博士後期課程では物質工学専攻に所属しています。岐阜大学には平成22年度にイノベーション創出若手人材養成センターが設置され、実践プログラムとして、学内外から公募した若手研究者（毎年24名程度）にイノベーションスキルプログラム（アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語）を行った後、海外派遣（国際教育研究プログラム）または企業派遣（産学連携教育研究プログラム）を行っています。また、工学研究科では、博士後期課程に入学する方で、入学金の支払いが必要な方に対し、申請により入学料相当額を奨学金として給付しています。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部入試係 電話 058-293-2371/2372/2828 FAX 058-293-2379 http://www.gifu-u.ac.jp/eng/</p>

三重大学大学院生物資源学研究科



<p>■募集学生</p>	<p>三重大学大学院生物資源学研究科 平成26年4月入学博士前期課程学生募集・博士後期課程学生募集 平成25年10月入学博士前期課程・博士後期課程</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>博士前期・後期課程（平成26年4月入学第1次募集および平成25年10月入学） 平成25年7月9日(火)～7月11日(木) 9時～17時 博士前期・後期課程（平成26年4月入学第2次募集） 平成25年12月10日(火)～12月12日(木) 9時～17時</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 平成26年4月入学の第1次募集および平成25年10月入学の試験:平成25年8月20日(火) ★一般選抜:外国語 (TOEICスコアの提出)、専門科目 (筆記試験)、面接 ★社会人特別選抜:小論文と面接 ★外国人留学生特別選抜:外国語 (筆記試験) と面接 平成26年4月入学の第2次募集の試験:平成26年1月21日(火) (試験科目は1次募集と同じ) 博士後期課程 平成26年4月入学第1次募集および平成25年10月入学の試験:平成25年8月21日(水) ★一般選抜:外国語 (TOEICスコアの提出)、専門科目 (筆記試験)、口述試験 ★社会人特別選抜:外国語 (TOEICスコアの提出) と口述試験 ★外国人留学生特別選抜: 外国語 (筆記試験) と口述試験 平成26年4月入学第2次募集の試験:平成26年1月22日(水) (試験科目は1次募集と同じ) 詳細は募集要項をご覧ください。(http://www.bio.mie-u.ac.jp/)</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>中部地区唯一の練習船熱水丸。平成21年1月に新しく生まれ変わりました。</p>  <p>東に伊勢湾、西に布引山地。まさに山の頂から海の底に至る幅広い研究を行うにはぴったりのキャンパス。</p> 	<p>本研究科は、衣・食・住に関わる生物資源の生産・利用および環境の保全と修復を中心課題として、自然の調和に配慮した教育・研究を展開することを目標としています。これによって、深い専門知識と目標達成能力および学際的・創造的視野をもつ先端的高度技術者と研究者を養成し、同時に生物資源学の確立と発展を目指しながら、その学術的・技術的成果を積極的に社会に還元することを目的としています。</p> <p>このような目的を達成するために、本生物資源学研究科には、資源循環学専攻・共生環境学専攻・生物圏生命科学専攻の3専攻があり、それぞれ博士前期課程と博士後期課程が設置されています。</p> <p>博士前期課程の講座 資源循環学専攻には物質循環学、循環生物学、循環社会システム学講座があり、資源循環の立場から、生物資源の生産・加工・流通・情報・利用に関する分野を研究しています。共生環境学専攻には地域保全工学、環境情報システム工学、森林資源環境学、自然環境システム学講座があり、地球環境や地域環境を対象とし、自然との共生関係を構築するための科学や技術を研究しています。生物圏生命科学専攻には生命機能科学、海洋生物学、陸圏生物生産学、水圏生物生産学講座があり、生物資源の生命原理を生態系、群集、個体群、個体、器官、細胞および分子レベルで理解し、その成果を生物多様性の維持、持続的食料生産ならびに健康増進へ役立てることを目的に、基礎的、応用的科学を研究しています。</p> <p>博士後期課程の講座 資源循環学専攻:循環バイオ科学・物質循環システム学の2講座 共生環境学専攻:環境保全学・環境創成学の2講座 生物圏生命科学専攻:分子機能生命科学・生物資源応用科学の2講座</p> <p>連携大学院 共生環境学専攻には独立行政法人森林総合研究所関西支所、生物圏生命科学専攻には独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所と独立行政法人水産総合研究センター増養殖研究所があります。</p> <p>ダブル・ディグリー制度 インドネシアのスリウィジャヤ大学およびパジャジャラン大学との間で、ダブル・ディグリー（共同学位）修士プログラムを実施しています。</p> 
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成25年4月26日(金) 三重大学大学院生物資源学研究科にて (時間等の詳細は三重大学生物資源学研究科HP http://www.bio.mie-u.ac.jp/ で案内)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学大学院生物資源学研究科事務室 TEL 059-231-9631 FAX 059-231-9634</p>

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 生体分子工学専攻

<p>■人材育成の目標</p>	<p>本専攻は、生体関連物質の化学と工学に関して十分な基礎知識と応用能力を修得した人材、具体的には、生命体がその生命維持のために備えている機能と、その基となる生体分子の科学と模倣、応用により、生命活動や生存水準の向上に貢献する物質や材料を開発する能力をもつと共に、プロの高度研究技術者としての倫理的判断力を持ち、将来の技術革新に対応できる国際レベルの人材の育成を目指します。</p>
<p>■募集学生</p>	<p>博士前期（修士）課程 35名。 博士後期課程は生命物質科学専攻として15名。</p>
<p>■試験日程</p>	<p>推薦入学特別入試（大学卒業見込者・高等専門学校専攻科修了見込者）平成25年6月22日（土） 一般入試（第Ⅰ期）（学部3年次学生を対象とした募集を含む）平成25年8月22日（木）・23日（金） 一般入試（第Ⅱ期）（学部3年次学生を対象とした募集を含む）平成25年9月27日（金） 社会人特別入試 平成26年2月7日（金） 社会人特別入試 秋期入学 平成25年8月22日（木） 外国人留学生特別入試 平成26年2月7日（金） 外国人留学生特別入試 秋期入学 平成25年8月22日（木）・23日（金）</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>BME Biomolecular Engineering</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>京都工芸繊維大学 KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY</p> </div>	<p>生命科学の成果を化学の力で活かすことのできる高度研究技術者の育成</p> <p>生命科学（Life Science）の進歩により、化学が対象とする多くの分子が生物体由来したり関連したりするものとなってきました。一方、物質科学の進歩も著しく、分子を創る化学も非常に高度なものとなっています。</p> <p>本専攻の掲げる「生体分子工学」とは、生体分子（Biomolecules）の分子工学（Molecular Engineering, Molecular Manufacturing）を意味します。つまり、生体分子を理解し、生体分子を活かして利用する化学を探究することは勿論、人工分子を生体に取り入れて生体機能を補うこと、さらには生体の持つ精緻で巧妙な機構を、人工分子組織で創り出すことも大きな探求対象です。</p> <p>その成果は、エネルギーや食糧の生産、さらには特殊な物質や材料の効率的な生産にまで応用でき、応用化学、材料科学、資源工学はもちろん、農学、医学、薬学にまで広がる、広大かつ深遠な学問領域となっていますが、私たちの考える「生体分子工学」とは、「化学」の視点を軸として、分子レベルで生体の機能や構造を捉え、探り、さらにはそれを「工学」的に利用することに重点を置いた学問であります。</p> <p>“生物”や“生命”あるいは“生体”を専攻名に含む専攻は世の中には他にもありますが、私たちの生体分子工学専攻は工学系の研究科に属する専攻として、生命現象のメカニズムそのものを解明することよりも、生体が有する分子の作用機序を基盤として、人間社会に役立つ新しい物質や材料の創成のための新しい概念を提唱することに重点を置いています。このために本専攻では、生体の機能や生体を形作る物質の構造を深く追求し、それらを応用したり模倣したりすることで、人に役立つ新しい物質だけでなく、生体と環境に負荷の少ない有機材料・高分子材料を開発することを目指しています。</p> <p>生体分子工学専攻は4つのカテゴリー：(1) 生体分子の機能解析 (2) 生体由来分子の応用化学 (3) 人工分子の生体応用工学 (4) 生体のプロセスや機能を人工的に創り出す模倣化学、を教育・研究の中心軸と捉えています。本専攻では、これらの軸に関わる化学と工学に関して十分な基礎的知識と応用能力技術を身につけた、21世紀の社会、環境を支える科学技術の創造をめざし、次代のライフサイエンスを展開開拓する化学者として、人間的に広く深い素養と倫理観、さらに自覚を併せもつ人材の育成を教育目標としています。</p> <p>このために、本専攻では有機化学・物理化学・高分子化学・生体関連化学の4つを基礎的な学問領域として、大学院において、これらの領域の知識・理解力の深化を目指すばかりではなく、さらに洞察力と問題解決力を身につけた高度な研究技術者を育成すべく、(1) 自然科学と人文社会科学における素養、(2) プロフェッショナルな高度研究技術者としての能力と倫理的判断力、ならびに (3) それらを基本とする応用化学の高度な能力、を涵養する国際レベルの教育を行っています。</p>
<p>■大学院入試説明会</p>	<p>平成25年12月20日（金）に開催。 詳しくは http://www.kit.ac.jp/02/02_020200.html を参照。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 ■京都工芸繊維大学入試課大学院入試係 TEL 075-724-7162 FAX 075-724-7160 http://www.kit.ac.jp/02/02_020200.html ■京都工芸繊維大学生体分子工学部門／高分子機能工学部門事務室 TEL 075-724-7866 FAX 075-724-7800 e-mail polymoff@kit.ac.jp</p>

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻 博士前期課程：定員22名 一般入試、社会人対象入試、留学生対象入試を実施。 大学卒業見込者、高等専門学校専攻科修了見込者対象の推薦入試を実施。 博士後期課程：定員6名 一般入試、社会人対象入試、留学生対象入試を実施。</p>
<p>■試験日程と内容</p>	<p>博士前期課程（修士課程） ■平成25年度（10月入学） 【社会人特別入試】 平成25年8月22日(木) 外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成25年8月22日(木) 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 ■平成26年度（4月入学） 【推薦入学特別入試】 平成25年6月22日(土) 口述試験 【一般入試】 第Ⅰ期 平成25年8月22日(木) 23日(金) 外国語（英語）、基礎科目（*）、小論文、口述試験 第Ⅱ期 平成25年9月27日(金) 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 第Ⅲ期 平成26年2月7日(金) 外国語（英語）、基礎科目（*）、小論文、口述試験 【社会人特別入試】 平成26年2月7日(金) 外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成26年2月7日(金) 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 （*）基礎科目は有機化学、物理化学、生化学、高分子化学の4科目のうちから1科目を選択！ 博士後期課程 ■平成25年度（10月入学） 【一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試】 平成25年8月22日(木) 外国語（英語）、口述試験 ■平成26年度（4月入学） 【一般入試・社会人特別入試】 第Ⅰ期 平成25年9月27日(金) 外国語（英語）、口述試験 第Ⅱ期 平成26年2月7日(金) 外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成26年2月7日(金) 外国語（英語）、口述試験 各入試の出願受付期間は本専攻あるいは本学のホームページをご覧ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>人類が今直面している大きな課題は、地球環境の保全と豊かな社会の発展の両立をいかにして実現するかにあります。「ものづくり」の立場からは、地球環境を守るために、石炭・石油を出発原料とする非循環型工業材料から生物資源由来の循環型材料へ生産を転換することが急務です。そのため、生物資源を基にした循環型材料（バイオベースマテリアル素材）の開発が世界中で行われており、そのいくつかの素材については電気製品や輸送部品などにも利用され始め、用途が拡大しつつあります。しかしながら、バイオベースマテリアル素材に対する研究開発は黎明期にあり、社会的認知も不完全であり、その研究・開発・啓蒙する人材が求められています。バイオベースマテリアル素材の分野で、我が国のものづくりが世界をリードするためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①バイオベースマテリアルに関する基礎ならびに応用研究の推進、 ②バイオベースマテリアルに関する我が国独自の技術開発、 ③コストに代表される経済的要素の克服、 ④バイオベースマテリアル素材ならびに製品に対する人々の理解、 ⑤バイオベースマテリアル素材の利用拡大、 <p>などを総合的に進め、それらをリードできる人材の育成が必要です。本専攻では、これらに意欲的に取り組める人材を、独自カリキュラムの下に育成します。</p> <p>世界的レベルにある本学のバイオベースマテリアル技術を基盤とした教育研究を展開し、これからの世界で主力となるバイオベースプロダクトに関する基礎研究、実用的な再生可能材料の開発などに取り組めます。</p>
<p>■本専攻の紹介ガイダンスの開催</p>	<p>■平成25年5月頃、研究室見学を含むガイダンスを開催します。 詳細が決まり次第、バイオベースマテリアル学専攻ホームページ (http://www.biobased.kit.ac.jp/) に掲載します。 また、本専攻の活動や詳細も随時更新しますのでご覧ください。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 ■京都工芸繊維大学入試課入試第三係 TEL 075-724-7162 FAX 075-724-7160 http://www.kit.ac.jp/ ■京都工芸繊維大学バイオベースマテリアル学部門事務室 TEL & FAX 075-724-7887 http://www.biobased.kit.ac.jp/</p>

京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群

<p>■募集学生</p>	<p>京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群 平成26年度学生募集</p> <p>修士課程 <input type="radio"/>創成化学専攻群 <input type="radio"/>先端化学専攻群 <input type="radio"/>化学工学専攻</p> <p>博士後期課程 <input type="radio"/>材料化学専攻 <input type="radio"/>分子工学専攻 <input type="radio"/>合成・生物化学専攻</p> <p><input type="radio"/>物質エネルギー化学専攻 <input type="radio"/>高分子化学専攻 <input type="radio"/>化学工学専攻</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>出願期間 平成25年6月下旬を予定。</p> <p>修士課程試験日程 <input type="radio"/>創成化学専攻群 平成25年8月26～27日（予定） <input type="radio"/>先端化学専攻群 平成25年8月26～27日（予定） <input type="radio"/>化学工学専攻 平成25年8月26日（予定）</p> <p>博士後期課程試験日程 平成25年8月22～23日（予定）</p> <p>※平成26年度修士課程外国人留学生の学生募集も予定しております。出願期間は平成26年1月上旬、試験日程は平成26年2月中旬の予定。 ※詳細は学生募集要項(4月末頃から配布予定)あるいは下記URLをご参照願います。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程 <input type="radio"/>創成化学専攻群 英語・物理化学（高分子物性を含む）・有機化学（高分子合成を含む）・専門科目・面接（予定） <input type="radio"/>先端化学専攻群 英語・基礎科目・専門科目・面接（予定） <input type="radio"/>化学工学専攻 英語・専門科目1・専門科目2・面接（予定）</p> <p>博士課程 <input type="radio"/>学生募集要項（4月末頃から配布予定）あるいは下記URLをご参照願います。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>京都大学桂キャンパスAクラスター</p>  <p>Aクラスター中庭とA4棟</p>	<p>創成化学専攻群</p> <p><input type="radio"/>材料化学専攻 無機材料、有機材料、高分子材料、ナノマテリアルを中心に、それらの構造と性質・反応性を分子およびナノレベルで解明しながら、新しい機能や性質をもった材料を化学的に設計するとともに、その創製方法を確立することを目指した研究・教育を行っている。</p> <p><input type="radio"/>高分子化学専攻 人々の生活から産業、医療に至るまで、幅広い分野に展開して豊かな人類社会と先端技術を支える高分子について、精密合成、反応、集合構造、さらに物性、機能の基礎研究と教育を行うとともに、高分子を基盤とする新たな先端学際領域の創成を目指して活動している。</p> <p>先端化学専攻群</p> <p><input type="radio"/>物質エネルギー化学専攻 物質の成り立ち、物質の構造・化学的性質、化学的エネルギー変換などに関する教育と研究を行う。化学の基礎知識・基盤技術に立脚し、機能物質の創造と解析、物質の合成とエネルギー生成の新しい触媒反応、エネルギーや資源の有効利用に関する研究を推進する。</p> <p><input type="radio"/>分子工学専攻 分子・原子・電子の微視的描像に基づき、生体関連機能性物質、高機能性の有機・高分子・無機材料、高機能性触媒、エネルギー・情報変換素子等の設計・開発を理論・実験両面から行う。分子論的視野を持って基礎から応用への展開ができる人材を育成している。</p> <p><input type="radio"/>合成・生物化学専攻 物質とその機能を創り出す学問である合成化学と、生物の機能を解明し利用する生物化学に関する教育・研究を行い、あわせてそれらの学際領域を開拓し、総合精密科学としての創造性豊かな化学分野の確立を目指す。</p> <p>化学工学専攻 高機能な物質や材料を化学的変換によって創出し、環境に優しく高効率に物質やエネルギーを生産する方法論について教育、研究を行う。化学工学の特徴は、対象とするプロセスから普遍的な要素を抽出し、動的特性を定式化し、最適システムを構築することにある。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>創成化学専攻群 平成25年4月2日(火) 午後1時 京大桂キャンパス 平成25年4月13日(土) 午後1時 京大東京オフィス(品川)</p> <p>先端化学専攻群 平成25年4月2日(火) 午前9時30分 京大桂キャンパス</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒615-8510 京都市西京区京都大学桂 京都大学桂Aクラスター事務区教務掛 TEL：075-383-2077 EMAIL：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp</p> <p><input type="radio"/>創成化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fro/ja/admission/top <input type="radio"/>先端化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fun/ja/admission/top <input type="radio"/>化学工学専攻：http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja</p>

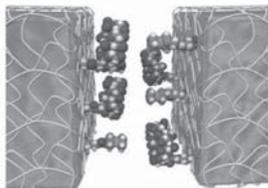
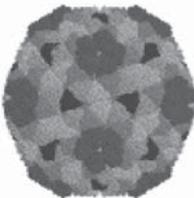
京都大学大学院人間・環境学研究科 相関環境学専攻 化学系

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒業もしくは見込みであること）</p> <p>■博士後期課程（大学院修士課程を修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■入試日程</p>	<p>■修士課程は年2回入試を行っています。</p> <p>第1回入学試験 平成25年9月中旬</p> <p>第2回入学試験 平成26年2月中旬</p> <p>■博士後期課程編入学試験 平成26年2月上旬</p> <p>詳しい日程は決まり次第ホームページに掲載します。 http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/entrance/</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程入学試験は初日に一次試験を行い、合格したものが翌日の専門筆答および口述試験を受験する。</p> <p>一次試験：第一外国語*80点、第二外国語*20点、専門科目300点 二次試験：専門科目筆答試験および口述試験</p> <p>*当専攻では第一および第二外国語として英語のみの選択も可である。</p> <p>■博士後期課程編入学試験 提出した修士論文を中心として口頭発表及び試問を行う。必要な場合は専門科目及び外国語等に関する筆答試験を行うことがある。</p>
<p>■インフォメーション</p> <p style="text-align: center;">相関環境学専攻 化学系</p>  <p style="text-align: center;">自然と人間の共生を目指して</p>  <p style="text-align: center;">KYOTO UNIVERSITY</p>	<p>当専攻では他大学・他分野からの学生を広く募集しています。</p> <p>人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の連携を通じて、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、人間と環境のよりよい関係を構築するための新たな文明観、自然観の創出に役立つ学術研究を推進することを目指します。本研究科は共生人間学専攻、共生文明学専攻および相関環境学専攻からなります。中でも相関環境学専攻では、人間と自然環境の関わりを包括的に理解することを目指した基礎研究を展開するとともに、自然と人間の調和を図るために必要な新しい社会システムの確立に、高度な見識と科学的・論理的判断力をもって貢献することのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指します。相関環境学専攻内の自然科学系には分子・生命環境論、自然環境動態論および物質相関論の各講座があり生命、環境、物質、エネルギー等をキーワードとした化学に深く関わった研究を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ケミカルバイオロジー：蛍光プローブの創成・分子イメージング ◆キラル有機化学：対称性の破れ・超分子結晶・磁性ソフトマテリアル ◆構造有機化学：有機分子性結晶・分子認識・クリーンエネルギー気体 ◆有機合成化学・有機金属化学：遷移金属錯体触媒・グリーンケミストリー ◆光機能性材料：固体化学・LED蛍光体・太陽電池・ガラスセラミックス ◆電気化学エネルギー変換：次世代蓄電池・燃料電池・量子ビーム解析 ◆触媒・光触媒：太陽エネルギー変換・人工光合成・新規合成反応の開発 ◆磁性化学：電子スピン共鳴分光・フラーレン化学・超分子・分子磁性 ◆水圏化学・環境分析化学：生元素/微量元素の生物地球化学・環境動態変動 ◆大気環境化学：光化学オキシダント・大気反応・レーザー計測・酸性雨 <p>相関環境学専攻の詳しい情報は以下のホームページを参考にしてください。 http://www.h.kyoto-u.ac.jp/member_web/third/nyushi/index.html</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>■京都大学吉田キャンパス 平成25年7月6日(土) および12月7日(土) の予定</p> <p>■京都大学東京オフィス (品川) 平成25年6月29日(土) および11月30日(土) の予定</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛 Tel: 075 (753) 2951/2952 E-Mail: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp</p>

京都大学大学院 地球環境学舎 地球環境学専攻・環境マネジメント専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒業もしくは見込みであること） ■博士後期課程（大学院修士課程を修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■入試日程</p>	<p>■修士課程入学試験 平成25年8月下旬 ■博士後期課程入学試験 平成25年8月下旬 平成26年2月上旬 詳しい日程は決まり次第ホームページに掲載します。 http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/cyp/modules/contents/index.php/recruit/index.html</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程入学試験（平成25年度入試情報：改訂されることがあります。） 英語能力（満点100点）、地球環境に関する知識（筆答試験で満点100点）、志望分野に関する基礎知識（筆答試験で満点100点）、口頭試問（出願書類の内容を含む満点200点）の総得点（満点500点）により分野ごとに合否判定を行う。 ■博士後期課程入学試験（平成25年度入試情報：改訂されることがあります。） 入学者の選抜は、出願書類の内容、語学（英語）能力、学力検査（口頭試問）の成績を総合して行う。 平成26年度入試の試験内容は決まり次第ホームページに掲載します。 http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/cyp/modules/contents/index.php/recruit/index.html</p>
<p>■インフォメーション</p> <p style="text-align: center;">地球環境学舎</p>  <p style="text-align: center;">グローバルな人材を目指して</p>  <p style="text-align: center;">KYOTO UNIVERSITY</p>	<p>地球環境の保全や持続的発展のためには、広域にわたって整合性のある複合施策の発案・実施ができる実務者が必須であり、同時に、それを支援し、かつ、あらたな生活文化をも創出するような統合的学術研究分野の構築とその人材が緊急に求められています。大学院地球環境学舎では、地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的問題を解決しうる高度な実務者や、地球環境問題の複雑性と広がりを超えて従来の基礎科学の上に立って展望し、学問としての先見性、深さと広がりを持った新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な研究者の養成を目指しています。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視しています。</p> <p>地球環境学専攻（博士後期課程） 博士課程の後期3年の課程が設置されています。地球環境問題の複雑性と広がりを超えて従来の基礎科学の上に立って展望し、学問としての先見性、深さと広がりを持った新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な研究者の養成を目指しています。</p> <p>環境マネジメント専攻（修士課程、博士後期課程） 博士課程の前期2年の課程（修士課程）と、博士課程の後期3年の課程（博士後期課程）が設置されています。本専攻では、地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的問題を解決しうる高度な実務者の養成を目指しています。</p> <p>本学舎は地球益学廊、地球親和技術学廊、資源循環学廊から構成されており、その中には生命、環境、物質、エネルギー等をテーマとした化学に深く関わった研究を行っている研究室があります。是非とも以下のサイトをご参照ください。 http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/cyp/modules/contents/index.php/shokai/faculty_staff/index.html</p>
<p>■大学院入試説明会の開催</p>	<p>■京都大学吉田キャンパス 平成25年4月27日(土) ■京都大学東京オフィス（品川） 平成25年5月11日(土)</p>
<p>■問合先</p>	<p>京都大学大学院地球環境学舎事務室 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合研究5号館1階 TEL：075-753-9167 FAX：075-753-9187</p>

大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>大阪大学 大学院 理学研究科 高分子科学専攻</p> <p>◆博士前期課程（修士課程）平成26年4月入学</p> <p>◆博士後期課程（博士課程）平成25年10月入学および平成26年4月入学</p> <p>募集人数：博士前期課程24名、博士後期課程11名</p>
<p>■試験日</p>	<p>◆博士前期課程（修士課程） 平成25年8月8日(木) 筆記試験、8月9日(金) 口頭試問</p> <p>◆博士後期課程（博士課程） 平成25年10月入学：平成25年8月上旬予定 平成26年4月入学：平成26年2月上旬予定 (専攻ホームページにて最新情報をご確認ください。)</p>
<p>■出願期間</p>	<p>◆博士前期課程（修士課程） 平成25年7月上旬予定</p> <p>◆博士後期課程（博士課程） 平成25年10月入学：平成25年7月上旬予定 平成26年4月入学：平成26年1月上旬予定 (専攻ホームページにて最新情報をご確認ください。)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士前期課程（修士課程） 筆記試験：外国語、化学I（基礎物理化学・基礎有機化学）、化学II（物理化学・有機化学・高分子物理化学・高分子有機化学・生化学・生物物理化学より2科目選択）、口頭試問</p> <p>◆博士後期課程（博士課程） 口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>分子認識に基づいてマクロスケールで刺激に応答する自己修復材料</p>  <p>右巻らせん高分子鎖と左巻らせん高分子鎖</p>  <p>イネ萎縮ウイルスの構造</p> </div>	<p>大阪大学の高分子科学専攻の特徴は、「理学」という基礎科学の立場から高分子物質を徹底的に理解することを目指している点にあります。全国でも唯一、理学研究科に所属する高分子研究機関であり、「基礎的研究に徹した高分子研究のメッカ」の1つとして世界にその名を馳せています。</p> <p>高分子科学専攻は3つの基幹講座と2つの協力講座からなり、各講座がそれぞれ複数の研究室から構成されています。基幹講座には、高分子合成化学、高分子反応化学、高分子物理化学、超分子科学、高分子機能化学、高分子固体構造論、高分子集合体科学の各研究室、協力講座には蛋白質構造形成、蛋白質結晶学、超分子構造解析学研究室、環境安全化学の研究室があります。高分子の合成から、構造、物性、機能、さらには生命現象との関わりまで、幅広い領域を深くバランスよく網羅しています。</p> <p>平成14年には21世紀COEプログラム「自然共生化学の創成」、平成17年には魅力ある大学院教育イニシアティブ「インタラクティブ大学院教育」、平成19年には「インテグレート大学院理学教育」とグローバルCOEプログラム「生命環境化学グローバル教育研究拠点」に採択され、先端教育を実践してきました。さらに平成25年4月には博士課程教育リーディングプログラムの1つである「インタラクティブ物質科学・カデットプログラム」における支援が開始されます。高分子科学専攻では、常に新しい化学をめざした大学院教育に力を注いでいます。</p> <p>高分子科学専攻では、他大学出身者にも広く門戸を解放しており、毎年博士前期・後期課程とも多数の他大学からの入学者を受け入れています。博士前期（修士）課程への入学は、毎年前年の8月に入学試験を実施しています。博士後期課程への入学は、10月入学については8月、4月入学については2月に入学試験を実施しています。詳しくは、専攻ホームページ（http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/index.html）をご覧ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成25年6月上旬予定（専攻ホームページにて最新情報をご確認ください。)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻 山口浩靖 TEL：06-6850-5460、FAX：06-6850-5457 E-mail：hiroyasu@chem.sci.osaka-u.ac.jp 専攻ホームページ： http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/index.html</p>

大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成26年4月入学 博士前期課程学生募集（外国人留学生特別選抜を含む） 平成25年9月入学・平成26年4月入学 博士後期課程学生募集（社会人特別枠を含む）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>願書受付期間 秋募集：平成25年7月5日(金)～7月9日(火)（土日を除く） 冬募集：平成26年1月27日(月)～1月29日(水)（土日を除く）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 秋募集：平成25年8月20日(火) 筆記試験、21日(水) 口述試験 冬募集：平成26年2月17日(月) 口述試験 博士後期課程 秋募集：平成25年8月20日(火) 口頭試問 冬募集：平成26年2月17日(月) 口頭試問 入学試験における英語の得点は、博士前期課程ではTOEICの得点を、博士後期課程ではTOEIC、TOEFL iBT、TOEFL PBTのいずれかの得点を換算して決定します。</p>
<div style="text-align: center;">  <p>公立大学法人 大阪府立大学 OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サイエンス棟</p> </div>	<p>■理念・目的 大学院分子科学専攻博士前期課程では、学部教育を基盤とし分子科学のより深い専門知識を修得し、分子・物質に関連する真理探究を可能とするとともに、新分野や学際領域にも踏み込んでいくことのできる確固とした基礎力を養成する。世界レベルの最先端分子科学研究に携わることを通して、物質や事象の本質を理解する能力と洞察力、英語によるコミュニケーション能力を重点的に鍛錬し、問題解決能力を備えた人材の養成を目指す。 分子科学専攻博士後期課程では、教員の個人指導のもと、各自が個別のテーマを設定して最先端の分子科学研究を遂行することを通して、物質や事象の本質を理解する能力と洞察力、英語によるコミュニケーション能力を重点的に鍛錬する。研究の遂行能力に加え、新たな研究計画の立案と評価を行うための能力とディスカッション能力を鍛錬し、自立した研究者・高度専門職業人として社会に貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>■組織 3分野10研究グループよりなる。</p> <p>◎分子創製科学分野 有機化学：有機分子を合成するための新しい方法論の開拓、新しい反応メディアを活用した環境にやさしい化学反応の開拓。 有機合成化学：次世代型医薬品になり得る生物活性天然物の全合成と、効率合成に必要な新しいタイプの反応の開発。 物理有機化学：高度にフッ素化された化合物の合成と応用。</p> <p>◎分子機能科学分野 有機金属化学・錯体化学：同一分子内に複数の遷移金属中心を有する分子である「金属クラスター錯体」の合成・構造の解明・化学反応性を中心とするそれらの機能開拓。 機能分子設計学：遷移金属の特長を活かした精密有機合成反応、特に不斉合成法の開発、高度な不斉環境を有する化合物の合成・構造制御と機能開拓。 機能物質科学：導電性、光応答性、磁性等の機能性を有する新しい有機分子材料の開拓と物性解明。 マイクロ化学・生体触媒化学：化学反応を行なう新しい装置「マイクロフロー式反応装置」を活用した効率的・選択的な化学反応の開拓、生体触媒を利用する有機合成・糖質や金属錯体からなり超分子構造を発現する両親媒性分子の開発。</p> <p>◎分子解析科学分野 理論化学：化学反応を解析するための理論構築と理論計算と、光機能性分子における電子運動の理論的解析。 物理化学：パルスレーザーや高速測定法を活用した、光を吸収してエネルギーが高くなった分子の性質や化学反応の解明、新しい質量分析法を活用した、原子・分子・イオンが衝突しておこる現象の解明。 計算化学：分子集合体、生体分子や光機能性材料の理論的研究。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>予定なし</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 ■大阪府立大学大学院理学系研究科 電話 072-254-9202 HP http://www.s.osakafu-u.ac.jp/ ■大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻 電話 072-254-9751 HP http://www.c.s.osakafu-u.ac.jp/</p>

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期（修士）課程 平成26年度春学期入学 大学学部卒・高専専攻科修了若しくは修了見込みであること 博士後期（博士）課程 平成26年度春学期（平成25年度秋学期）入学 大学院修士課程を修了若しくは修了見込みであること</p>
<p>■出願期間</p>	<p>博士前期（修士）課程 第1回：平成25年6月10日～6月12日 第2回：平成25年9月17日～9月19日 第3回：平成26年2月12日～2月14日 博士後期（博士）課程 第1回：平成25年7月29日～7月31日 第2回：平成26年2月12日～2月14日 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認願います。 http://www.naist.jp/admission/d01_04_j.html</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期（修士）課程 面接により実施。 提出した小論文に基づく口述発表、物質科学関連の試問。 博士後期（博士）課程 面接により実施。 専門知識、英語能力の試問及びこれまでの研究概要、これからの研究計画の試問。 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認願います。 http://www.naist.jp/admission/d01_04_j.html</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>物質創成科学研究科では、出身分野にとらわれず、広く全国から志の高い学生を受け入れ、「光ナノサイエンス」に基づく体系的な教育システムを組み、これからの産業界、学界を先導する優れた技術者、研究者を組織的に養成しています。「光ナノサイエンス」とは光と物質の相互作用を基礎として物質科学をとらえ直したもので、「光で観る」、「光で創る」、「光で伝える」という観点から、物質の仕組みを電子、原子、分子のレベルに立ち返って深く理解し、これに基づいて新しい物質、構造、機能を創り出すことを目指すものです。</p> <p>本研究科には、物理・デバイス・化学・バイオという幅広い分野、および社会的要請の強い特定の分野の優秀な研究者が集まっており、「光ナノサイエンス」を基軸として、物質科学の新しい先端融合領域を切り拓いています。その成果は情報通信・エレクトロニクス分野、環境・エネルギー分野、バイオテクノロジー、医療にわたる広範囲な分野で、次世代の産業の創出や豊かでクリーンな社会を実現する基礎技術を提供し、人類の持続的な発展と幸福な未来社会を支える新しい素材、機能材料の創成に貢献しています。</p> <p>本学は、法人化後の6年間の研究・教育レベルその他で日本一の評価を受けました。これからも本研究科では、国際的にも高い評価を得る研究・教育を推進していきます。学生の皆さんを対象にした海外の大学での科学英語研修や海外研究室滞在、自発的提案と自主運営の国際セミナーの開催などを通して、自学・自習の精神を涵養するとともに、新領域を切り拓き国際社会で活躍する研究者の輩出を目指しています。物質科学の新しい先端融合領域に果敢に挑戦できる学生の皆さんを歓迎します。そして、恵まれた研究・教育環境の下で、優秀なスタッフとともに物質創成科学研究科の新しい伝統を築き上げて行きましょう。</p>
<p>■学生募集イベントの開催</p>	<p>受験生のためのオープンキャンパス 平成25年5月18日(土) 開催（於：奈良先端科学技術大学院大学） 学生募集説明会 5月、8～9月、1～2月に全国各地で開催します。詳細は下記URLで随時掲載します。 http://www.naist.jp/admission/d01_05_j.html</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科事務室 電話：0743-72-6006 E-mail：ms-exam@ms.naist.jp HP： http://mswebs.naist.jp/index.html</p>

関西学院大学大学院理工学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■博士前期課程【正規学生、特別学生（社会人、外国人、外国大学卒業生）、外国人留学生】</p> <p>■博士後期課程【正規学生、特別学生（社会人、外国人、外国大学卒業生）、外国人留学生】</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>2013年秋学期入学</p> <p>■正規学生（一般：後期課程）：2013/7/9(火)～7/17(水)</p> <p>■正規学生（一般 編入：後期課程）：2013/7/9(火)～7/17(水)</p> <p>■特別学生（社会人、外国人、外国大学卒業生）：前期・後期課程）：2013/7/9(火)～7/17(水)</p> <p>■特別学生（国際修士プログラム：前期課程）：2013/6/19(火)～6/26(水)</p> <p>2014年春学期入学</p> <p>■正規学生（一般 第一次：前期課程）：2013/7/9(火)～7/17(水)</p> <p>■正規学生（一般 第二次：前期・後期課程）：2014/2/7(金)～2/13(木)</p> <p>■正規学生（一般 編入：後期課程）：2014/2/7(金)～2/13(木)</p> <p>■特別学生（社会人、外国人、外国大学卒業生）：前期・後期課程）：2014/2/7(金)～2/13(木)</p> <p>■特別学生（国際修士プログラム：前期・後期課程）：2014/2/7(金)～2/13(木)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>正規学生（一般：前期課程）：外国語（英語）、基礎科目（無機・分析化学、物理化学、有機化学、生命科学、物理学、各1題の計5題から4題を選択）、専門科目（無機・分析化学、物理化学、有機化学の3分野各3題のうち、志望する専門分野の3題から2題、他の分野の6題から2題、合計4題を選択）、口頭試問</p> <p>正規学生（一般、一般編入：後期課程）：外国語（英語）、口頭試問</p> <p>特別学生（社会人、外国人、外国大学卒業生）：前期・後期課程）：口頭試問</p> <p>特別学生（国際修士プログラム：前期・後期課程）：書類選考</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>【アドミッションポリシー】</p> <p>関西学院大学理工学研究科では「自然科学の基本理念とその応用について先端的研究を行い、自然科学の発展と人類の進歩に貢献する」という理念のもとに、次の目標を掲げています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 数学、物理学、化学、情報科学、生命科学の幅広い分野にわたり、それぞれの分野が有機的に連携しながら、基礎的研究から応用的研究まで、常に最先端の高いレベルを教育に反映する。 (2) 専攻分野における深い知識と高度な研究能力を身につけるとともに、専攻分野を超えた幅広い知識を修め、広い観点に立って研究を行うことができる研究者や高度専門職業人を育成する。 (3) 教育と研究は社会との繋がりの中にあることを常に意識し、研究成果を学界、教育界、産業界等、社会に広く還元していくことを目指す。 <p>これらの人材育成の目標を達成するために社会人学生や外国人留学生等多様な入学者選抜方法を採用し、多彩な能力と適性を有した学生を受け入れる方針をとっています。</p> <p>【化学専攻案内】</p> <p>化学は、基礎さらにその応用も包含する幅広い学問領域として物質文明の発展を力強く支えてきました。物質・エネルギー・環境・生命といった現代社会のキーワードはすべて化学と密接に関わり、化学分野における研究成果に熱い期待が寄せられています。本専攻は「無機・分析化学」・「物理化学」・「有機化学」の三つの分野で構成されます。三分野それぞれの切り口から化学の最先端の教育研究を行っています。</p> <p>「無機・分析化学」では新しい特性や多様な構造をもつ無機化合物の合成・機能解明、そして地球環境物質の分析を主な研究テーマとしています。</p> <p>「物理化学」では、光・エレクトロニクス技術を担う機能性材料や生体物質の構造と機能に関する研究、および光エネルギー変換に関する研究を行っています。</p> <p>「有機化学」では、生理活性天然物の合成や機能性有機化合物の合成、さらに環境調和型有機合成反応の開発に関する研究を行っています。</p> <p>入学後は、授業を通じて最先端の化学の知識を深めるとともに、指導教員の研究室に所属して専門性の高い課題に主体的に取り組み、問題解決の際に要求される基礎概念の理解と基本的な手法を修得します。また、選択した研究分野においてオリジナルな研究論文を書くのに必要な知識と研究手法を習得します。</p> <p>本専攻では、原子・分子スケールの基礎的理解に立脚して新物質の創成や未解明現象の解明を行う自然科学の基礎ならびに応用としての化学教育・研究を推進しており、化学に興味のある学生諸君からの出願を歓迎します。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地 関西学院大学大学院理工学研究科 電話 (079) 565-8300 (直通)</p>

神戸大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>神戸大学大学院理学系研究科化学専攻 博士前期(修士)課程・博士後期(博士)課程 平成26年度4月入学 および 平成25年度10月入学</p>
<p>■出願期間および試験日程(年間予定)</p>	<p>■博士前期(修士)課程(平成26年4月入学、平成25年10月入学) 出願期間:平成25年7月中旬、入学試験:平成25年8月下旬</p> <p>■博士後期(博士)課程</p> <p>(1)平成26年4月入学(第1期)、平成25年10月入学(第3期) 出願期間:平成24年7月中旬、入学試験:平成24年8月下旬</p> <p>(2)平成26年4月入学(第2期)、平成26年10月入学(第1期) 出願期間:平成25年11月中旬、入学試験:平成25年12月初旬</p> <p>(3)平成26年4月入学(第3期)、平成26年10月入学(第2期) 出願期間:平成26年1月中旬、入学試験:平成26年2月中旬</p> <p>詳細が決まり次第、次のホームページに更新します。 神戸大学大学院理学研究科HP(入試): http://www.sci.kobe-u.ac.jp/exam/index.htm</p>
<p>■試験内容(予定)</p>	<p>■博士前期(修士)課程 筆記試験:英語および化学(物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学、量子化学のうちから二科目を選択) 口頭試問</p> <p>■博士後期(博士)課程 口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>■化学は文字通り「物質の科学」であり、生命科学から物質科学まで極めて広範囲の分野の根幹を担います。化学専攻では、分子の構造・特性をとらえ物質の諸性質が発現する機構・原理を解明する基礎分子物性化学と、有用な機能や性質を持った物質の新合成法を創出する物質創製化学を二大柱としています。これらの基礎的各分野の一貫した教育により、世界水準の研究者の養成を行うとともに、社会的要請の高い問題発掘・解決能力を持つ高度な企業研究者の養成を目指すための教育研究を行います。</p> <p>■化学専攻は、物理化学・有機化学・無機化学の3つの講座から構成されています。物理化学講座は孤立分子・クラスター・固体表面の研究、有機化学講座は有機化合物の開発と合成および生命化学の研究、無機化学講座は溶液や固体がしめす物性の分子論的理解をめざした研究を展開しています。各講座は以下の9つの教育研究分野から構成されています。</p> <p>物理化学講座:分子動力学、物性物理化学、反応物理化学 無機化学講座:固体化学、溶液化学、状態解析化学 有機化学講座:有機反応化学、有機分子機能、生命分子化学</p> <p>■神戸大学大学院理学研究科では、それぞれの専門分野において幅広い知識をもつとともに、問題解決能力と学際的視点をもった創造性豊かな人材を養成することを目指しています。このため、自然への好奇心に富み探究に情熱をもつ人、科学に対して高い学習意欲とそのための堅実な基礎学力をもつ人、論理的な思考能力に優れた人、さらには、社会で科学知識をさまざまな形で活用したい人などを受け入れます。</p>
<p>■大学院オープンラボの開催:</p>	<p>第1回:5月11日(土) 13:00より 第2回:6月22日(土) 13:00より 場所:神戸大学理学部 内容(1)全体説明(2)各研究室見学(詳細は以下のホームページをご覧ください。)</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院理学研究科化学専攻 津田明彦(Tel & Fax:078-803-5671, E-mail:kimura@gold.kobe-u.ac.jp) 化学専攻ホームページhttp://www.chem.sci.kobe-u.ac.jp/index.html</p>

徳島大学大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻・ 総合科学教育部地域科学専攻

■募集学生	<p>先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻化学機能創生コースおよび総合科学教育部地域科学専攻基盤科学（理系）・環境共生分野 博士前期課程・博士後期課程（一般・社会人・外国人留学生） http://www.tokushima-u.ac.jp/admission/other_info/</p>
■出願期間	<p>【先端技術科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 出願：6月下旬、選考：7月上旬 一般・社会人・外国人留学生・10月入学者対象入試 出願：7月中旬～下旬、選考：8月下旬 早期卒業見込み者対象入試・学部3年次学生対象特別入試 出願：11月中旬、選考：12月上旬</p> <p>【先端技術科学教育部 博士後期課程】 一般・社会人・外国人留学生・10月入学者対象入試 出願：7月中旬～下旬、選考：8月中旬</p> <p>【総合科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試（出願：6月下旬、選考：7月上旬） 一般・社会人・外国人留学生対象入試 Ⅰ期 出願：7月中旬～8月上旬、選考：8月下旬 Ⅱ期 出願：11月下旬、選考：12月下旬</p> <p>【総合科学教育部 博士後期課程】 出願：11月下旬、選考：12月下旬</p>
■試験内容	<p>【先端技術科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 書類審査・面接・口述試験 一般・10月入学者対象入試 筆記試験（数学または物理学・専門科目）・TOEICまたはTOEFLのスコア 社会人・外国人留学生対象入試 筆記試験（専門科目）・面接・TOEICまたはTOEFLのスコア</p> <p>【先端技術科学教育部 博士後期課程】 書類審査・口述試験・筆記試験（英語）</p> <p>【総合科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 口頭試問 Ⅰ期 筆記試験（英語・専門科目（化学））および面接 Ⅱ期 面接・口述試験</p> <p>【総合科学教育部 博士後期課程】 筆記試験（外国語または小論文）、面接および書類審査</p>
■インフォメーション	<p>【先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻】 現代の環境問題を精査してみると、大気圏、地圏、水圏環境などの生命および地球環境の保全、食料、化学物質、廃棄物などの物質循環、生物多様性の保全と同時に、時代とともに変化した生物多様性に適合する新たな生命環境、物質循環を創生する必要があります。このような背景から、従来型の環境保全から、積極的に環境創生に適する学生教育を実施するため、化学応用工学および生物工学の各コースを横断的に融合させて、幅広い分野に関わる環境の問題点に積極的に対応できる人材の養成を目的としています。 化学機能創生コースの博士前期課程では、化学および化学技術に関するいくつかのことを深く研究し、その成果を社会に還元させることにより産業界の要請に応えることのできる学生を求めています。博士後期課程では、化学および化学技術に関する新しい原理、方法、現象等の探求を通じてその成果をさらに高度に発展させることに興味を持ち、将来、国際的、学際的な研究プロジェクトの中核となることをめざす学生を求めています。</p> <p>【総合科学教育部地域科学専攻基盤科学（理系）・環境共生分野】 21世紀の社会に求められている持続可能な共生社会を構築するため、基礎的学問分野の融合・総合が不可欠であることを深く理解し、基盤化学や環境共生化学の立場から地域が抱える諸問題を理解し、持続可能な社会の実現・発展に向けて地域社会に貢献できる人材を養成しています。 博士前期・後期課程を通し、基盤科学（理系）分野では基盤化学、また環境共生分野では環境共生化学から地域社会をリードできる学生を求めています。</p>
■問合せ先	<p>出願時期や試験内容等に変更される場合があります。募集要項で確認してください。</p> <p>【先端技術科学教育部】 徳島大学工学部学務係 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 電話 088-656-7315～7317</p> <p>【総合科学教育部】 徳島大学総合科学部学務係 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1 電話 088-656-7108</p>

愛媛大学大学院 理工学研究科 物質生命工学専攻応用化学コース

<p>■募集学生</p>	<p>愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻応用化学コース 平成26年度博士前期・後期課程学生募集（一般選抜） （博士後期課程では応用化学コースではなく物質生命工学専攻の枠で募集します。） なお、本年6月に募集要項が発表される予定です。本記事との不一致がある場合は募集要項のほうが正確な情報ですので、必ず募集要項をお確かめください。 他に、社会人特別選抜試験等があります。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■博士前期、後期共通 出願期間：7月下旬 試験日：8月下旬頃 合格発表：9月上旬頃 注意！：前期課程については、出願時に平成23年4月以降に発行されたTOEICの成績証明書が必要です。また、後期課程については、出願の1ヶ月程度前までに指導教員と連絡を取ってください。 第2次学生募集（1月出願、2月試験）を行う場合は12月上旬頃に募集要項を発表します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■博士前期課程 1日目 筆記試験（専門基礎科目） 具体的な範囲は募集要項に記載されます。 2日目 筆記試験（専門科目）および面接 専門科目の筆記試験では、無機・分析化学、物理化学、有機化学、高分子化学、生物化学、化学工学の6科目から各2題（計12題）出題されます。そのうち、試験場で2題を選択して解答します。具体的な範囲は募集要項を御覧ください。 ■博士後期課程 面接（口述試験を含む）及び書類審査の結果を総合して選抜します。</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>応用化学講座は、3つの分野から成り立っています。</p> <p>反応化学分野 固相及び包接体結晶中の分子の挙動や分子認識機構の解明とそれを利用する高選択的合成反応の研究、生理活性物質の合成とその合成に関連する反応、試剤の開発並びに新しい構造をもつ高分子合成とその機能性の研究を行っています。</p> <p>物性科学分野 新規な機能性物質の合成、開発及びそれらの機能性発現機構並びに応用について研究を行っています。</p> <p>生物工学分野 生命現象を化学反応として捉え、そのメカニズム解明の基礎的研究から、生物機能の有効利用技術と化学装置の開発にまで至る幅広い研究を行っています。</p> <p>なお、応用化学講座の教育研究には、プロテオサイエンスセンター・城北ステーション（旧無細胞生命科学工学研究センター）所属の教員が参加しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試ガイダンスの予定はありません。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>■入試に関する問合せ先 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部教育支援課工学部チーム TEL 089-927-9697 ■応用化学コース website http://www.ehime-u.ac.jp/~achem/index.html</p>

広島大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>大学院で高度な化学の専門的知識や技法を学ぶために必要な基礎学力を有し、絶えず自己啓発努力を重ね、積極的に新しい分野を開拓していく意欲に富む学生を、学部教育を受けた分野にとらわれず広く受け入れます。</p>
<p>■試験日及び出願期間</p> <p>(予定ですので、ホームページで御確認ください)</p>	<p>○博士課程前期 (平成26年4月入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試：(試験日) 平成25年7月1日(月) (出願期間) 平成25年6月17日(月)～6月21日(金) ・一般選抜：(試験日) 平成25年8月22日(木)・23日(金) (出願期間) 平成25年7月26日(金)～8月2日(金) <p>○博士課程後期 (平成25年10月入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜、社会人特別選抜： (試験日) 平成25年8月22日(木)・23日(金) (出願期間) 平成25年7月26日(金)～8月2日(金) <p>(平成26年4月入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜、社会人特別選抜： (試験日) 平成26年2月12日(水)～2月18日(火) (出願期間) 平成26年1月27日(月)～1月31日(金)
<p>■試験内容</p>	<p>○博士課程前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試：面接試験 ・一般選抜：外国語(英語)、専門科目(化学) <p>○博士課程後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜、社会人特別選抜：口述試験
<p>■概要</p>	<p>当専攻は、基礎化学の全分野を網羅するように11の研究グループを擁しています。これらの研究グループは教育・研究の活性化と円滑化を図るために、分子構造化学大講座と分子反応化学大講座に大別され、それぞれ、化学物質を構造と反応の両面からとらえ、互いに連携を保ちつつ独自の研究活動を行っています。それぞれの大講座には、対象とする物質あるいは研究手法によって、物理化学・無機化学・有機化学の系列があり、最新の物理的・化学的手段によって活発な研究が行われています。これらの研究には、物理学・物性学と密接に関連する分野や生物学や地学に関する分野も含まれており、基礎科学の研究を推進することにより高度な研究者および技術者を養成し、社会の要請に応えることに努めています。現在、化学工業、石油、医薬品、電子工業、金属、繊維、製紙、セラミックス、電力、ガス等化学に関するあらゆる業界と大学・官公庁等の研究機関に人材を送り込んでいます。本専攻の学生(博士課程前期・後期)は、基礎科目、専門科目に関する講義およびセミナーを受講するとともに、主に所属研究グループの教員による研究指導を受けます。</p> <p>○化学専攻ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ http://home.hiroshima-u.ac.jp/chemsci/index.html <p>○博士課程前期入学試験過去問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ http://home.hiroshima-u.ac.jp/chemsci/admission/previous_info.html
<p>■問合先</p>	<p>○理学研究科学生支援グループ(大学院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話：082-424-7317/Fax：082-424-2426 ・ E-mail：ri-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp <p>○平成25年度専攻長 水田 勉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話：082-424-7427 ・ E-mail：mizuta@sci.hiroshima-u.ac.jp

九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群（応用化学）

<p>■募集学生</p>	<p>九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群（応用化学） （物質創造工学専攻／材料物性工学専攻／化学システム工学専攻） 平成26年4月入学 修士課程（一般）、博士後期課程（一般、社会人） 平成25年10月入学 博士後期課程（一般、社会人）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■平成26年4月入学： 修士課程（一般） 出願：平成25年6月27日(木)～7月5日(金)(予定) 試験：平成25年8月19日(月)～20日(火) 博士後期課程（一般） 夏季出願：平成25年7月16日(火)～22日(月)（予定） 夏季試験：平成25年8月26日(月) （一般、社会人） 春季出願：平成26年1月中旬（予定） 春季試験：平成26年2月下旬（予定）</p> <p>■平成25年10月入学： 博士後期課程（一般、社会人） 出願：平成25年7月16日(火)～22日(月)（予定） 試験：平成25年8月26日</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程（一般選抜）：筆記試験（専門科目）及び面接を行う。専門科目は「機能物質化学系科目」、「分子システム工学系科目」のいずれかを受験する。英語資格試験（機能物質化学系科目はTOEFLのみ、分子システム工学系科目はTOEFLあるいはTOEIC）のスコア証明書の提出を要する。</p> <p>■博士後期課程（一般選抜）：専攻科目及び修士学位論文（修士課程終了見込みの者は研究経過報告書）について筆記又は口頭試問を行う。</p> <p>■博士後期課程（社会人特別選抜）：これまでの研究成果および入学後の研究計画等に関して口頭試問を行う。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div>	<p>物質創造工学専攻 本専攻では新しい機能性有機物質の開発、原子・分子レベルからの高機能セラミックスの設計、従来にない高度な機能を持つ触媒や光・電子機能分子材料の開発、超分子化学、分子の自己組織化に基づくナノ材料化学などを進めています。さらに、有機化学と無機化学、さらには生命分子科学の融合化・複合化により、分子システム科学を基盤とする新しいサイエンスとテクノロジーを開拓しています。</p> <p>材料物性工学専攻 本専攻では無機、高分子、有機、金属、バイオ、半導体及びそれらのナノ粒子、ハイブリッド材料などを研究教育の対象とし、これら機能材料の物理的、化学的、生物的、力学的特性をナノ領域からマクロ領域にわたる定量的な評価・制御に関する研究教育を行っています。次世代の太陽電池や燃料電池、排ガス浄化触媒、革新電池の開発を始めとする新奇的なエネルギー転換や環境関連材料化学の研究教育を行なっています。</p> <p>化学システム工学専攻 本専攻では新しい化学・物理現象、新規物質、生体生命の新しい機構などを発見し体系化することを追求するとともに、原子分子レベルから、生体情報レベルまでの複雑なシステムを総合的に解析、高度化、創造するための研究教育を行います。新機能を有する物質の発見と機能発現の開発、原子分子レベルで物質を測定して新しい性質を見出す計測システムの開発、化学情報の変換システムの設計、などの研究教育を行っています。</p> <p>上記3専攻の化学系研究教育に携わる教員は応用化学部門（研究組織）に所属しています。本部門の研究は、人類の繁栄に役立ち、環境を守り、生命に学び応用する化学に焦点を当てています。産業の基盤となる化学工業を支える基礎研究に加え、応用展開に結びつくような研究も活発に行っています。本部門は先端化学の卓越した研究拠点（COE）として国際的にも良く知られています。国内の他大学や研究所、企業との連携、国際共同研究、海外連携も活発になされています。応用化学部門に所属する研究室については下記HPをご覧ください。 応用化学部門HP：http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~appchem/</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学工学部等教務課教務係 Tel：092-802-2724 大学院入試関連HP：http://www.eng.kyushu-u.ac.jpより、入試情報ページを参照</p>

九州大学大学院理学府化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>(1) 平成26年度 理学府修士課程学生募集（一般選抜および自己推薦方式による選抜） (2) 平成26年度 理学府修士課程学生募集（社会人特別選抜） (3) 平成26年度 理学府博士後期課程学生募集（一般選抜） (4) 平成26年度 理学府博士後期課程学生募集（社会人特別選抜10月入学） (5) 平成26年度 理学府博士後期課程学生募集（社会人特別選抜4月入学） (6) 平成26年度 理学府修士課程／博士後期課程学生募集（外国人留学生特別選抜）</p>
<p>■年間予定</p>	<p>修士課程学生募集の日程 (1) 一般選抜および自己推薦方式による選抜 出願期間：平成25年7月上旬～中旬 自己推薦方式による選抜の口頭試問：平成25年7月下旬～8月上旬 一般選抜試験の学力検査および口頭試問：平成25年8月下旬 (2) 社会人特別選抜 出願期間：平成25年7月上旬～中旬 口頭試問：平成25年7月下旬～8月上旬 (6) 外国人留学生特別選抜 出願期間：平成25年12月中旬 学力検査および口頭試問：平成26年1月下旬～2月上旬</p> <p>博士後期課程学生募集の日程 (3) 一般選抜 出願期間：平成26年1月上旬～中旬 口頭試問：平成26年1月下旬～2月上旬 (4) 社会人特別選抜10月入学 出願期間：平成25年7月上旬～中旬 口頭試問（必要に応じて筆記試験）：平成25年8月下旬～9月上旬 (5) 社会人特別選抜4月入学 出願期間：平成26年1月上旬～中旬 口頭試問（必要に応じて筆記試験）：平成26年1月下旬～2月上旬 (6) 外国人留学生特別選抜 出願期間：平成25年12月中旬 口頭試問：平成26年1月下旬～2月上旬</p>
<p>■試験内容</p>	<p>・修士課程学生募集の試験内容 「一般選抜」では英語（TOEICの成績）と化学（無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、構造化学、生物化学の中から任意に3科目を選択）に関する筆記試験および口頭試問により合否を判定します。従って、受験時にTOEICの成績証明書が必要です。 また、一般選抜入試志願者の中で希望する者に対して、筆記試験を免除し口頭試問によって合否を判定する「自己推薦方式による選抜」を実施します。出願書類によって本選抜試験の対象者を決定します。本選抜試験の結果、筆記試験を免除されなかった者も、上記の一般選抜試験を別途手続きすることなく受験できますが、この場合筆記試験受験時にTOEICの成績証明書が必要です。 社会人特別選抜や外国人留学生特別選抜では、志望分野に関連する化学や英語に関する口頭試問などによって合否を判定します。</p> <p>・博士後期課程学生募集の試験内容 修士論文あるいはこれの相当するものを口演発表させ、それを中心として専門分野や関連分野に関する口頭試問で合否を判定します。社会人特別選抜では、必要に応じて英語および専門化学に関する筆記試験を行います。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>九州大学大学院理学府化学専攻では、原子から小分子、複雑な分子、高分子、さらに生体を構成する巨大分子に及ぶ様々な階層の物質構成単位や原子・分子集合体に関して、元素の特性と分子構築の原理、化学反応と機能発現の機構、ならびに分子の設計と合成法などについて教育を行っています。最先端の理論および実験手法を用いることで、独創的な研究を遂行する能力を身につけ、将来、化学の研究、教育、技術開発および生産の分野で活躍できる専門家を育成すると同時に、倫理観に基づき真に人類社会に貢献できる人材の育成を目指しています。 このような観点から、「化学の分野で将来、指導的役割を果たす研究者、教育者、あるいは技術者として人類社会に貢献したい」という強い熱意と適性をもつ学生を募集します。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号 九州大学理学部等事務部学生係 TEL 092-642-2529, 2531（ダイヤルイン）http://www.scc.kyushu-u.ac.jp</p>

長崎大学大学院工学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>長崎大学大学院工学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合工学専攻 博士前期課程（化学・物質工学コース） 推薦入試、一般入試、外国人留学生入試 ●グリーンシステム創成科学専攻 博士課程（5年一貫制） 推薦入試、一般入試、外国人留学生入試
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●総合工学専攻 博士前期課程（化学・物質工学コース） 推薦入試：平成25年6月上旬～中旬、一般入試：平成25年7月下旬～8月上旬 外国人留学生入試：平成25年12月上旬～中旬 ●グリーンシステム創成科学専攻 博士課程（5年一貫制） 推薦入試：平成25年6月上旬～中旬、一般入試：平成25年7月中旬～下旬 外国人留学生入試：平成25年11月上旬
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●総合工学専攻 博士前期課程（化学・物質工学コース） 推薦入試：試験日 平成25年7月上旬；試験科目 口述試験 一般入試：試験日 平成25年8月中旬～下旬；試験科目 基礎科目、専門科目、英語（TOEIC又はTOEFL成績証明書の利用可） 外国人留学生入試：試験日 平成25年12月下旬；試験科目 面接及び口述試験 ●グリーンシステム創成科学専攻 博士課程（5年一貫制） 推薦入試：試験日 平成25年7月上旬；試験科目 口述試験 一般入試：試験日 平成25年7月下旬；試験科目 選択科目、英語（TOEIC又はTOEFL成績証明書の利用可）、面接 外国人留学生入試：試験日 平成25年11月下旬；試験科目 面接及び口述試験
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●総合工学専攻 博士前期課程（化学・物質工学コース） 近年のナノテクノロジーやバイオテクノロジーの急速な進展に伴い、これらの先端的かつ学際的な領域でも活躍できる幅広い知識を身につけた人材養成への期待も高まっており、さらに社会のグローバル化への対応も不可欠です。本専攻（化学・物質工学コース）では、このような社会的ニーズに対応し、人類に有用な新しい物質・薬品・材料を創製することや、環境にやさしいエネルギー変換技術などを開発するための基礎知識と専門知識ならびに国際性を身につけ、未来を開拓できる研究者を養成します。先端的な化学・生物工学・材料工学の領域での高度な専門知識はもちろん、学際的な領域でも活躍できる幅広い知識と課題設定・解決能力をも身につけた人材の養成を行っています。 ●グリーンシステム創成科学専攻 博士課程（5年一貫制） 本専攻は、地球温暖化等の地球規模のクライシスに対応するため、グリーンエネルギーの発生・有効利用の領域に特化し、領域全体を俯瞰できる高度基礎知識に裏打ちされた先導的研究を展開でき、国際的に活躍できる研究者を養成しています。本専攻では、次世代エネルギーシステム創成コースと先端機能物質創製コースを設けており、次世代エネルギーシステム創成コースでは、エネルギーの発生・有効利用、それに関連した新機能デバイス、新システムの分野で先導的研究を、先端機能物質創製コースでは、エネルギーに関連した物質創製分野の先導的研究を展開しています。本専攻では、応用物理学、機械工学、電気電子工学、化学、材料工学等のいずれかの分野で高い学士力を有し、特定の分野の知識・理解にとどまらず、広範な分野にわたるグリーンシステム科学に関する知識を吸収し、理解しようとする姿勢とその能力を有するとともに、将来国際的アカデミアで活躍する研究者となるために必要な課題発見・探求能力、研究計画・マネジメント能力等に関する基本的な素養及び適性を有する学生を求めています。なお、当専攻では、在学期間中、授業料相当額以上の経済的援助を行い、学業・研究に集中できる環境を提供します。
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>本学ホームページを参照下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合工学専攻 博士前期課程（化学・物質工学コース） http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/3-5-2.html ●グリーンシステム創成科学専攻 博士課程（5年一貫制） http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/3-5-4.html
<p>■問合先</p>	<p>〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学工学部支援課大学院係 TEL 095-819-2491/FAX 095-819-2488 http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/index.html</p>

熊本大学大学院自然科学研究科

■募集学生



熊本大学大学院自然科学研究科

物質生命化学専攻 博士前期課程（修士課程）

推薦入試、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試

産業創造工学専攻 物質生命化学講座 博士後期課程（博士課程）

一般入試、社会人入試（平成25年10月入学を含む）

■出願期間（年間予定）

●**物質生命化学専攻 博士前期課程（修士課程）**

推薦入試 平成25年6月4日(火)～6月7日(金)

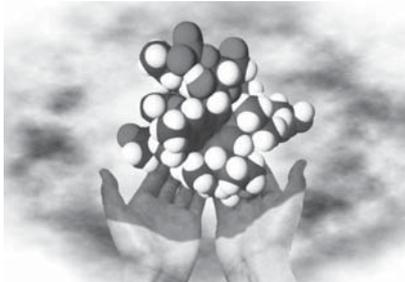
一般入試・社会人入試 平成25年7月24日(水)～7月26日(金)

●**産業創造工学専攻 物質生命化学講座 博士後期課程（博士課程）**

一般入試・社会人入試（1次募集）平成25年7月24日(水)～7月26日(金)

一般入試・社会人入試（2次募集）平成26年1月6日(月)～1月8日(水)

■試験内容



●**物質生命化学専攻 博士前期課程（修士課程）**

推薦入試 試験日 平成25年7月6日(土)

試験科目 口述試験

一般入試 試験日 平成25年8月22日(木)

試験科目 専門科目（化学）、英語（TOEICまたはTOEFLのスコア提出）

社会人入試 試験日 平成25年8月22日(木)

試験科目 口述試験

●**業創造工学専攻 物質生命化学講座 博士後期課程（博士課程）**

一般入試・社会人入試（1次募集）試験日 平成25年8月21日(水)

試験科目 口述試験

一般入試・社会人入試（2次募集）試験日 平成26年1月22日(水)

試験科目 口述試験

■インフォメーション



●**物質生命化学専攻の目指す教育・研究**

現在、そして未来の社会の発展は、化学者が社会のニーズを的確に把握し、その種となる新材料・新技術を提供することにかかっています。熊本大学では、エネルギー、環境、生命の3分野への応用を念頭に置いて、社会発展に直結する「物質科学」の研究と教育を行っています。これらの活動では、物質科学・生命科学と異分野との融合や基礎と応用を有機的につなぐための自由自在な視点や複眼的視点が重要です。「人々の幸福、産業の発展、さらには国や地域の発展に、化学を通じて貢献したい！」熊本大学は、そんな大志をもつ皆さんの創造性や独創性を引き出し、貴重な経験をしていただく格好の舞台となるでしょう。

豊かな歴史と文化をもつ中核都市・熊本。広大で多種多様な自然にも囲まれ、機能的で国際色豊かなキャンパスで過ごす経験は、学生の皆さんにとって格別のものでしょうか。たくさんの方々が熊本大学で物質科学の面白さを学び、充実感を感じ、そして一流の研究者・技術者として国際社会へと羽ばたいていただくことを、私たちは強く願っています。

●**最先端研究プロジェクトの推進**

- | | | |
|---------------|-----------------------|------------|
| ◆有機エレクトロニクス材料 | ◆光機能性ナノ材料 | ◆液晶・表示材料 |
| ◆Bio燃料電池用酵素電極 | ◆高分子材料ナノ構造制御 | ◆発光ナノシート材料 |
| ◆超分子機能材料 | ◆有機・無機ハイブリッド | ◆光応答性材料 |
| ◆貴金属ミニマム化触媒 | ◆理論計算による分子機能解析と分子デザイン | ◆環境浄化触媒 |
| ◆環境微生物 | ◆ケミカルリサイクル技術 | ◆超臨界流体化学 |
| ◆高感度バイオセンサ | ◆迅速バイオマス変換技術 | ◆ナノカーボン電極 |
| ◆バイオコンジュゲート | ◆キラリ認識分子素子 | ◆バイオテクノロジー |
| ◆医療用センサ・デバイス | ◆遺伝情報解析分子素子 | |

●**国際連携・企業連携のための学生支援**

総合科学技術共同教育センター（GJEC）

国際共同教育部門 海外大学院研究連携の推進・外国人招聘講師による講義
学生の海外派遣支援・国際学会参加支援

国内共同教育部門 産学官連携共同研究の推進・国内招聘講師による講義

■大学院入試ガイダンスの開催

本学ホームページを参照下さい。（募集要綱等、ダウンロードできます）
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuin/shizenkagaku>

■問合せ先

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39-1
熊本大学 自然科学系事務ユニット 大学院教務担当
TEL 096-342-3013
熊本大学 大学院自然科学研究科 物質生命化学専攻 事務室
TEL 096-342-3654
<http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/index-J.html>

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 科学技術研究科 科学技術専攻

■募集学生	2013年度9月及び2014年度9月入学 科学技術研究科 科学技術専攻 博士課程学生募集 (5年一貫制博士課程のみ)
■出願期間	<p>沖縄科学技術大学院大学 (OIST) では入学願書を随時受け付けています。書類選考を通過された方は、本学で開催される入学者を選抜する入試ワークショップに参加していただきます。</p> <p>*日本入国ビザを必要とする方は出願締切日が異なります。</p> <p>2013年7月開催の入試ワークショップ(7月9日～11日)へ参加を希望する場合： 日本入国ビザを必要とする方：2013年4月15日 日本入国ビザを必要としない方：2013年5月31日</p> <p>2014年2月開催の入試ワークショップ(2月下旬予定)への参加を希望する場合： 日本入国ビザを必要とする方：2013年11月30日 日本入国ビザを必要としない方：2013年12月31日</p> <p>詳細はホームページ (http://www.oist.jp) をご覧ください。</p>
■出願書類	<ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書及び在学証明書または卒業 (卒業見込) 証明書 ・小論文 (英語400語以内) ・パスポートのコピー ・推薦状2通以上 ・TOEFLもしくはIELTSのスコア <p>上記の書類を本学ホームページ上のオンライン出願サイトよりご提出下さい。</p>
■選考プロセス	<p>出願者から提出された書類はOIST入学者選抜委員会にて厳正に審査され、書類選考を通過された方は、本学で開催される入試ワークショップに招待されます。入試ワークショップは3日間にわたり、筆記試験及び面接、キャンパスツアーや在学生との交流等が行われます。ワークショップ終了後、入学者選抜委員会による厳正な審議が行われ、最終的な可否通知を行います。</p> <p>ワークショップへの参加費用はOIST負担となります。</p>
■インフォメーション	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>沖縄科学技術大学院大学 (OIST) は沖縄県恩納村に位置する5年一貫制の博士課程を置く大学院大学で、神経科学、分子・細胞・発生生物学、数学・計算科学、環境・生態学、物理学・化学の5分野に大別される研究を行っています。2012年9月には、単一の研究科と専攻 (科学技術研究科科学技術専攻) を提供する5年一貫制の博士課程が開設され、34名を第一期生として迎えました。大学院の基本コンセプトとして、教員及び学生の半数以上を外国人とし、学内の公用語は英語となっています。実際に、49名の教員のうち外国人教員が33名、34名の学生も18の国・地域出身と、大変国際色豊かな大学院となっています。また、OISTで設置している博士課程は学際的なものであり、各々の分野の壁を越えた共同研究や交流が推奨されています。</p> <p>OISTでは年間約20名程度の学生を受け入れ、全ての学生に年間240万円程度の経済支援があります。また、キャンパス内学生宿舎の助成制度、パソコン貸与のほか、国内・国際会議出席の旅費等、学生支援制度も充実しています。これは、国際競争力を持った世界最高水準の研究教育を行なうため、海外の主要大学や研究機関に倣い設定しているものです。</p> <p>国内にいながら、まるで海外の博士課程に在学しているかのような環境で、博士号取得を目指しませんか。OIST博士課程についてのさらに詳しい内容を知りたい方はホームページをご覧ください。</p> </div> </div>
■大学院入試ガイダンスの開催	<p>沖縄科学技術大学院大学 (OIST) では、関東・関西地区をはじめ全国での学校説明会を予定しています。日程や会場などの詳細を随時更新していますので、OISTホームページ (http://www.oist.jp) にてご確認ください。</p>
■問い合わせ先	<p>〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1 沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 学生支援セクション TEL : 098-966-2271 FAX : 098-966-1065 E-mail : study@oist.jp ホームページ : http://www.oist.jp</p>